

平成 19 年 度

大分県中心市街地等消費者動向調査
報告書

平成 20 年 3 月

大 分 県

目 次

I 調査の目的・方法など	1
1 調査の目的など	1
2 アンケート調査の方法	1
(1) 調査実施期間	1
(2) 調査対象者	1
(3) 調査方法・回収状況	1
3 アンケート調査の内容	1
4 前回調査との主な変更点	2
5 居住地及び買物出向先市町村名の表示について	2
II 調査結果の概要	4
1 大分県の消費動向の特徴	4
2 消費行動の変化	5
3 市町村合併の影響	5
4 福岡都市圏等への購買力の流出状況	5
III 調査結果	6
1 回答者の属性（問1）	6
2 商品別出向状況（問2）	11
(1) 最寄品についての買物先出向状況	12
(2) 買回品についての買物先出向状況	21
(3) 専門品についての買物先出向状況	31
(4) 贈答品についての買物先出向状況	41
(5) 地元購入率の推移	51
(6) 現市町村から中心旧市町村への買物出向状況	52
3 商品購入時に重視する点（問3）	57
(1) 生鮮食品	57
(2) 日用生活品	58
(3) 衣料品	59

4	買い物をする時間帯（問4）	60
	（1）平日	60
	（2）休日	61
5	利用している深夜営業、24時間営業店舗の実態（問5）	62
	（1）深夜営業、24時間営業店舗の利用程度	62
	（2）どのような店舗を利用するか	63
6	買い物の利便性（問6）	64
	（1）近隣店舗の有無	64
	（2）近隣に店舗がない場合の買い物方法	65
	（3）あれば利用したいサービス	67
7	中心市街地の商業施設・商店街の利用状況（問7）	69
	（1）中心部の商店街の買い物利用頻度	69
	（2）中心部の大型商業施設の買い物利用頻度	71
	（3）中心部の商店街や商業施設を利用しない理由	73
	（4）中心部の商店街や商業施設への要望	74
8	通販、インターネット等無店舗販売の利用状況（問8）	75
	（1）利用経験のある無店舗販売の種類	75
	（2）無店舗販売での購入商品	76
	（3）無店舗販売利用理由	77
9	県外での消費行動（問9）	78
	（1）県外への買い物出向の有無	78
	（2）県外への買い物出向先	79
	（3）県外への買い物出向頻度	80
	（4）県外への買い物出向時の移動手段	81
	（5）県外での購入商品	82
	（6）県外での買い物理由	83

資料 アンケート調査票

I 調査の目的・方法など

1 調査の目的など

この調査は、県内消費者の日常生活必需品を購入する行動範囲、中心市街地や市町村の中心部に立地する商業地域の利用状況、通信販売やインターネットなど新しい商品購入方法の利用状況、県外における消費行動など消費行動を分析し、中小小売商業施策の基礎資料の収集を目的とする。集計作業は（株）西日本リサーチ・センターが行なった。

2 アンケート調査の方法

(1) 調査実施期間

平成 19 年 11 月

(2) 調査対象者

大分県内 58 市町村に居住している 20 歳以上の女性 5,017 人を調査対象とした（表 I-1）。調査対象者（回答者）については、商工会議所・商工会の協力を得て抽出した。

(3) 調査方法・回収状況

調査方法はアンケート調査で、各市町村の商工会議所・商工会が、対象者に調査票を配布し、直接回収する方法と、郵送により回収する方法の 2 通りを併用した。調査票を配布した 5,017 人のうち、3,468 人から有効回収を得た。有効回収率は 69.1%である（表 I-1）。

3 アンケート調査の内容

アンケート調査の内容は、回答者の属性に関する問（問 1）のほか、商品種類別の商品購入場所（問 2）、商品を購入する際に重視する点（問 3）、消費行動の時間帯（問 4）、深夜営業・24 時間営業店舗の利用状況（問 5）、回答者が住んでいる地域の購買の利便性（問 6）、中心商店街、商業施設の利用状況（問 7）、通販、インターネットショッピング等の利用状況（問 8）、県外での買物出向の状況（問 9）である（アンケート調査票参照）。

4 前回調査との主な変更点

①買物をする時間帯（問４）

前回調査では、回答者が希望する店舗の開店時間帯を質問していたが、今回は対象者が主に買い物をしている時間帯を回答する設問に変更し、消費行動の実態から消費者が望んでいる開店時間帯を把握することとした。

②深夜営業・24時間営業店舗の利用状況（問５）

近年深夜営業・24時間営業の店舗の業態が多様化したことから、利用頻度を質問する問のほかに、利用する店舗を質問する問を追加した。

③日常の買物の利便性（問６）

郊外への大型商業施設の立地が進む地域がある一方で、中心部の商店街や旧町村部等で店舗の閉店・撤退が相次いでいる実態があることから、回答者の住居の近隣に買い物ができる店舗があるが、ない場合の買い物行動、希望するサービスを質問する問を設けた。

④中心市街地の商店街・商業施設（問７）

中心市街地の商店街・商業施設に対する要望を質問する問の他に、利用頻度を質問する問を追加した。

⑤県外での買物行動（問９）

前回調査では高速道路を利用した買物行動を調査していたが、高速道路を利用する場合は、県外で買物する機会が多いため、県外での買物行動を把握する設問に変更した。

5 居住地及び買物出向先市町村名の表示について

前回調査以降、市町村合併が進展し、市町村は大幅に減少したが、前回調査との比較を重視する観点から今回調査は旧市町村の区域を調査対象とした。そのため報告書中の住所地及び買物出向先の市町村名の表示は、一部を除いて旧市町村名で表示している。

(表 I - 1) 市町村別対象者数と有効回収状況表

現市町村名	旧市町村名	配布数	有効回収数	有効回収率
大分市	大分市	640	307	48.0%
	野津原町	85	45	52.9%
	佐賀関町	95	45	47.4%
別府市		300	232	77.3%
中津市	中津市	180	93	51.7%
	三光村	55	16	29.1%
	本耶馬溪町	55	39	70.9%
	耶馬溪町	57	35	61.4%
	山国町	55	53	96.4%
日田市	日田市	171	171	100.0%
	前津江村	30	9	30.0%
	中津江村	30	14	46.7%
	上津江村	30	14	46.7%
	大山町	55	51	92.7%
	天瀬町	63	63	100.0%
佐伯市	佐伯市	160	110	68.8%
	上浦町	57	46	80.7%
	弥生町	60	46	76.7%
	本匠村	30	22	73.3%
	宇目町	55	47	85.5%
	直川村	56	53	94.6%
	鶴見町	55	38	69.1%
	米水津村	55	30	54.5%
	蒲江町	60	50	83.3%
臼杵市	臼杵市	140	108	77.1%
	野津町	60	52	86.7%
津久見市		110	110	100.0%
竹田市	竹田市	100	85	85.0%
	荻町	59	59	100.0%
	久住町	55	47	85.5%
	直入町	55	31	56.4%
豊後高田市	豊後高田市	100	68	68.0%
	真玉町	55	39	70.9%
	香々地町	55	28	50.9%

現市町村名	旧市町村名	配布数	有効回収数	有効回収率
杵築市	杵築市	100	52	52.0%
	大田村	30	18	60.0%
	山香町	60	14	23.3%
宇佐市	宇佐市	160	142	88.8%
	院内町	55	32	58.2%
	安心院町	60	53	88.3%
豊後大野市	三重町	100	60	60.0%
	清川村	55	48	87.3%
	緒方町	60	44	73.3%
	朝地町	55	12	21.8%
	大野町	55	49	89.1%
	千歳村	55	16	29.1%
由布市	犬飼町	55	40	72.7%
	挾間町	97	72	74.2%
	庄内町	60	58	96.7%
国東市	湯布院町	65	45	69.2%
	国見町	55	49	89.1%
	国東町	100	47	47.0%
	武蔵町	55	20	36.4%
姫島村	安岐町	60	53	88.3%
		57	57	100.0%
日出町		130	129	99.2%
九重町		60	55	91.7%
玖珠町		100	42	42.0%
住所未回答			5	
合計		5,017	3,468	69.1%

Ⅱ 調査結果の概要

1 大分県の消費動向の特徴

地元購入率ランキングは下表のとおりであるが、大分市は最寄品から贈答品に至るまで90%以上の地元購入率を維持している。また、日田市では地域の核都市として最寄品では1位、他の3商品ではいずれも2位に入り、地元購入率が高くなっている。同様に中津市、別府市、佐伯市、三重町も各商品ともに50%を超える高い地元購入率となっている。

(表Ⅱ-1) 地元購入率ランキング

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位	第7位
最寄品	日田市 (92.3%)	三重町 (92.2%)	別府市 (91.6%)	大分市 (90.3%)	佐伯市 (88.6%)	宇佐市 (88.4%)	玖珠町 (88.0%)
買回品	大分市 (92.4%)	日田市 (65.7%)	三重町 (60.4%)	別府市 (60.3%)	佐伯市 (55.4%)	玖珠町 (54.7%)	挾間町 (53.4%)
専門品	大分市 (91.8%)	日田市 (78.9%)	別府市、中津市 (各 68.1%)		三重町 (60.3%)	佐伯市 (58.3%)	玖珠町 (56.9%)
贈答品	大分市 (95.2%)	日田市 (74.7%)	別府市、佐伯市 (各 65.1%)		玖珠町 (62.5%)	三重町 (62.1%)	宇佐市 (61.1%)

購買力の出向状況ならびに商圈の形成状況は(図Ⅲ-2-1、3・4、7・8、9・10)、大分市、別府市、日田市、中津市、佐伯市および三重町などで地元購入率が高く、周辺市町村を包含した商圈を形成している。

宇佐市、豊後高田市、竹田市、杵築市、臼杵市なども周辺市町村からの購買力の流入が観測され商圈を形成しているが、買回品や専門品において地元購入率が低くこの部分の購買力の流出がみられる。また、郊外型大型店舗が立地している挾間町、三光村などでも周辺市町村からの購買力の流入が確認される。玖珠町では九重町からの購買力の大きな流入がみられ、この2町において商圈が成立していることが確認される。

※商圈 今回調査では、中心となる市町村に10%以上出向している市町村。

2 消費行動の変化

深夜営業（22時以降も開業している店）や24時間営業の店の利用状況をみると、過半数の人が『利用する』と回答しており、特に20歳代では8割以上の若年層（83.4%が利用）や会社員・公務員（66.4%が利用）などを中心として利用が定着している（図Ⅲ-5-1）。また、平日における買物の時間帯についても「15時～18時」（35.1%）と並んで、「18時～21時」（34.9%）の時間帯が多くなっており、夜型買物の定着を示す結果となっている（図Ⅲ-4-1）。

買物の24時間化は深夜営業店舗の利用のみならず、無店舗販売の中にもあらわれており、今回の調査においても利用経験のある無店舗販売の種類として「インターネットショッピング」（32.8%）をあげるものがほぼ3人に1人というレベルに達し、前回調査（15.2%）から2位に増えている（図Ⅲ-8-1）。とりわけ20歳代、30歳代の若年層では2人に1人が「インターネットショッピング」を経験しており、60歳代以上でさえ、ほぼ10人に1人が経験している（表Ⅲ-8-1）。「インターネットショッピング」に代表される無店舗販売を利用する理由としては、「買物に出かける手間が省けるから」（45.0%）や「注文が簡単だから」（38.2%）などの買物における省時間化志向の一端がうかがえる回答が目立っている（図Ⅲ-8-3）。

20歳代、30歳代の若年層を中心に新業態といえる深夜営業店舗やインターネットショッピングが目立つ反面、従来の業態店舗が多く含まれる中心部の商店街での買物については、3人に1人（36.7%）が「ほとんど利用しない」か「利用しない」と回答（20歳代、30歳代では2人に1人が回答）しており、若年層の商店街ばなれを示す結果となっている（図Ⅲ-7-1）。中心部の商店街や大型商業施設を利用しない最大の理由は「郊外の大型店の方が便利である」（38.4%）（図Ⅲ-7-3）からであり、中心部の商店街や大型商業施設への要望では、「駐車場や駐輪場を完備する」（38.6%）に次いで、「不足している業種を増やし店舗にバラエティをもたせる」（27.4%）と「営業時間を延長する」（24.8%）といった新業態（インターネット販売や深夜営業店舗）の強みが回答されており、これらの要望に対する取り組みの必要性を示唆している（図Ⅲ-7-4）。

3 市町村合併の影響

今回調査結果と前回調査結果の買物出向状況の比較において、商圈構造の特段の変化は認められず、市町村合併が消費者の行動に直接的な変化をもたらした形跡は特になかった。

4 福岡都市圏等への購買力の流出状況

この1年間に買物目的に県外（九州内）へ出かけたことがある人は36.4%（3人に1人強）であり、この割合は、20歳代（66.0%）、30歳代（44.7%）など若年層ほど高い（図Ⅲ-9-1）。

県外（九州内）に買物が目的で出かけたことがある人について出向先をみると、福岡市（64.7%）、北九州市（11.7%）、久留米市（7.6%）など福岡県への買物出向率が84.0%と大半を占め、熊本市が7.2%、延岡市が4.0%となっている（図Ⅲ-9-2）。

県外（九州内）への買物出向頻度を出向先別にみると、『月に1回以上』という高頻度層が福岡市で19.0%、北九州市で24.3%、久留米市で49.0%、熊本市で29.7%、延岡市で29.4%となっている（表Ⅲ-9-3）。

県外（九州内）への買物出向時の移動手段については、いずれの買物出向先も自家用車によるものが大半を占め、福岡市への出向では高速道路の利用が3分の1を占め、福岡市と北九州市への買物出向時ではJRの利用も1割強みられる（表Ⅲ-9-4）。

Ⅲ 調査結果

1 回答者の属性(問1)

本調査で有効回答を得た 3,468 人の属性は以下の通りである。

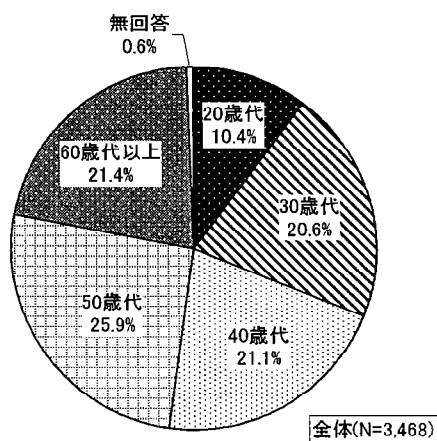
年齢をみると、「20 歳代」が 10.4%、「30 歳代」が 20.6%、「40 歳代」が 21.1%、「50 歳代」が 25.9%、「60 歳代以上」が 21.4%である。

家族数は、「5 人以上」が 26.0%と最も高い。次いで「4 人」が 24.0%、「3 人」が 23.1%、「2 人」が 19.4%、「1 人」が 5.3%の順となっている。

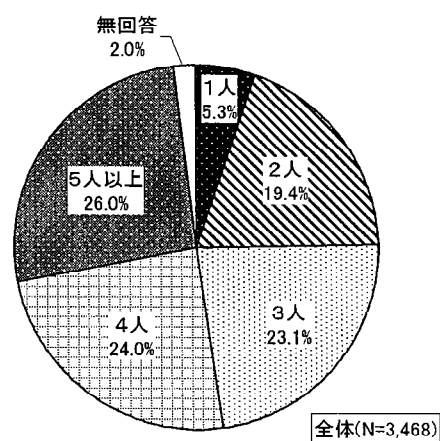
職業をみると、「会社員・公務員など」が 36.8%と最も高い。次いで「自営業」が 25.7%、「パート・アルバイト」が 17.5%、「農林水産業」が 1.8%の順となっている。

ふだん買い物で利用している移動手段についてみると、「自家用車」が 85.7%と群を抜いて高く、ほとんどの人が利用している。

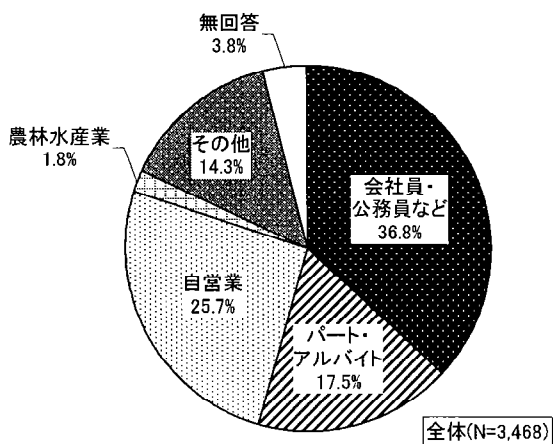
図Ⅲ-1-1 年齢



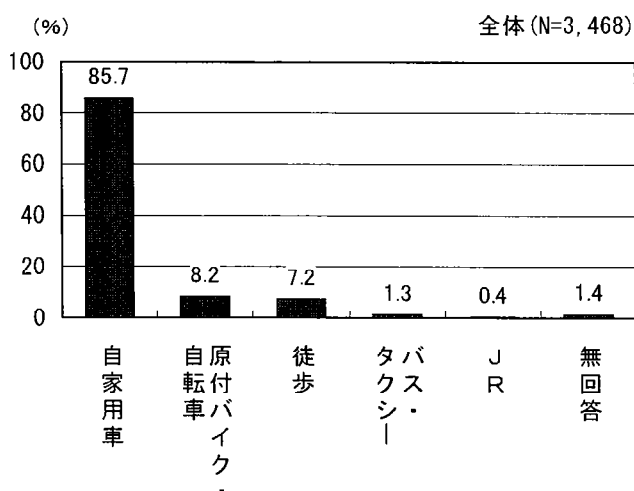
図Ⅲ-1-2 家族数



図Ⅲ-1-3 職業



図Ⅲ-1-4 移動手段



(表Ⅲ-1-1)市町村別年齢構成

(数値:%)

	サンプル数	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代以上	無回答	
全体	3,468	10.4	20.6	21.1	25.9	21.4	0.6	
居住市町村別(旧市町村)	大分市	307	10.7	22.8	26.1	23.1	16.9	0.3
	別府市	232	22.4	22.8	15.1	17.7	21.6	0.4
	中津市	93	12.9	16.1	25.8	37.6	7.5	-
	日田市	171	11.1	21.6	21.6	18.1	27.5	-
	佐伯市	110	20.0	34.5	16.4	14.5	14.5	-
	臼杵市	108	18.5	25.0	25.0	30.6	0.9	-
	津久見市	110	6.4	22.7	26.4	20.9	23.6	-
	竹田市	85	10.6	27.1	27.1	22.4	11.8	1.2
	豊後高田市	68	13.2	29.4	22.1	16.2	19.1	-
	杵築市	52	5.8	19.2	21.2	23.1	30.8	-
	宇佐市	142	7.7	13.4	19.7	32.4	26.8	-
	大田村	18	11.1	11.1	27.8	22.2	27.8	-
	真玉町	39	5.1	30.8	10.3	30.8	23.1	-
	香々地町	28	3.6	14.3	42.9	32.1	3.6	3.6
	国見町	49	4.1	12.2	12.2	40.8	28.6	2.0
	姫島村	57	19.3	22.8	14.0	26.3	17.5	-
	国東町	47	2.1	4.3	14.9	27.7	51.1	-
	武蔵町	20	15.0	20.0	25.0	30.0	10.0	-
	安岐町	53	11.3	30.2	20.8	15.1	22.6	-
	日出町	129	7.0	53.5	28.7	2.3	7.8	0.8
	山香町	14	7.1	7.1	7.1	35.7	42.9	-
	野津原町	45	6.7	8.9	13.3	31.1	40.0	-
	挾間町	72	16.7	23.6	13.9	23.6	22.2	-
	庄内町	58	1.7	34.5	60.3	3.4	-	-
	湯布院町	45	2.2	13.3	17.8	20.0	44.4	2.2
	佐賀関町	45	8.9	22.2	17.8	40.0	11.1	-
	上浦町	46	8.7	17.4	26.1	32.6	15.2	-
	弥生町	46	15.2	23.9	17.4	28.3	13.0	2.2
	本匠村	22	18.2	4.5	13.6	36.4	18.2	9.1
	宇目町	47	10.6	17.0	21.3	25.5	23.4	2.1
	直川村	53	5.7	9.4	26.4	50.9	7.5	-
	鶴見町	38	2.6	10.5	18.4	34.2	34.2	-
	米水津村	30	16.7	13.3	16.7	33.3	20.0	-
	蒲江町	50	12.0	24.0	10.0	26.0	26.0	2.0
	野津町	52	11.5	25.0	17.3	38.5	7.7	-
	三重町	60	8.3	3.3	16.7	31.7	40.0	-
	清川村	48	10.4	10.4	6.3	33.3	39.6	-
	緒方町	44	20.5	20.5	15.9	20.5	20.5	2.3
	朝地町	12	-	25.0	66.7	8.3	-	-
	大野町	49	6.1	6.1	14.3	38.8	34.7	-
	千歳村	16	6.3	18.8	25.0	25.0	25.0	-
	犬飼町	40	10.0	25.0	32.5	30.0	2.5	-
	萩町	59	6.8	16.9	27.1	25.4	22.0	1.7
	久住町	47	2.1	21.3	12.8	31.9	31.9	-
	直入町	31	3.2	19.4	22.6	32.3	19.4	3.2
	九重町	55	3.6	10.9	16.4	30.9	34.5	3.6
玖珠町	42	2.4	9.5	19.0	50.0	19.0	-	
前津江村	9	11.1	22.2	22.2	22.2	22.2	-	
中津江村	14	-	7.1	14.3	28.6	42.9	7.1	
上津江村	14	-	28.6	14.3	28.6	28.6	-	
大山町	51	17.6	11.8	19.6	15.7	35.3	-	
天瀬町	63	12.7	14.3	9.5	22.2	39.7	1.6	
三光村	16	12.5	25.0	12.5	37.5	12.5	-	
本耶馬溪町	39	2.6	28.2	43.6	20.5	5.1	-	
耶馬溪町	35	5.7	2.9	5.7	48.6	37.1	-	
山国町	53	5.7	-	17.0	43.4	34.0	-	
院内町	32	3.1	28.1	25.0	34.4	9.4	-	
安心院町	53	3.8	9.4	18.9	34.0	34.0	-	

(表Ⅲ-1-2)市町村別家族数構成

(数値:%)

	サンプル数	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答	
全体	3,468	5.3	19.4	23.1	24.0	26.0	2.0	
居住市町村別 (旧市町村)	大分市	307	6.2	18.2	22.5	26.4	25.1	1.6
	別府市	232	9.9	18.1	28.0	22.4	19.8	1.7
	中津市	93	1.1	22.6	25.8	29.0	17.2	4.3
	日田市	171	5.8	17.0	25.1	24.6	25.1	2.3
	佐伯市	110	5.5	21.8	29.1	21.8	20.0	1.8
	臼杵市	108	7.4	19.4	27.8	25.0	19.4	0.9
	津久見市	110	4.5	22.7	26.4	30.9	15.5	-
	竹田市	85	3.5	25.9	30.6	22.4	16.5	1.2
	豊後高田市	68	5.9	25.0	19.1	26.5	20.6	2.9
	杵築市	52	9.6	17.3	26.9	23.1	21.2	1.9
	宇佐市	142	4.2	30.3	24.6	24.6	14.8	1.4
	大田村	18	-	5.6	33.3	33.3	22.2	5.6
	真玉町	39	5.1	15.4	33.3	17.9	25.6	2.6
	香々地町	28	3.6	14.3	25.0	10.7	46.4	-
	国見町	49	2.0	36.7	24.5	10.2	22.4	4.1
	姫島村	57	1.8	19.3	33.3	19.3	26.3	-
	国東町	47	6.4	27.7	25.5	14.9	21.3	4.3
	武蔵町	20	5.0	30.0	5.0	30.0	25.0	5.0
	安岐町	53	17.0	17.0	13.2	30.2	22.6	-
	日出町	129	1.6	7.0	14.7	35.7	40.3	0.8
	山香町	14	-	28.6	35.7	14.3	21.4	-
	野津原町	45	8.9	13.3	28.9	22.2	22.2	4.4
	挾間町	72	9.7	12.5	19.4	36.1	19.4	2.8
	庄内町	58	-	1.7	5.2	24.1	69.0	-
	湯布院町	45	6.7	31.1	22.2	15.6	24.4	-
	佐賀関町	45	2.2	15.6	22.2	24.4	35.6	-
	上浦町	46	10.9	15.2	32.6	26.1	13.0	2.2
	弥生町	46	-	13.0	17.4	41.3	26.1	2.2
	本匠村	22	13.6	9.1	22.7	4.5	36.4	13.6
	宇目町	47	-	21.3	21.3	19.1	31.9	6.4
	直川村	53	1.9	17.0	22.6	18.9	35.8	3.8
	鶴見町	38	5.3	28.9	23.7	21.1	21.1	-
	米水津村	30	13.3	16.7	33.3	16.7	20.0	-
	蒲江町	50	6.0	18.0	14.0	16.0	40.0	6.0
	野津町	52	1.9	9.6	36.5	32.7	19.2	-
	三重町	60	1.7	30.0	21.7	15.0	30.0	1.7
	清川村	48	4.2	20.8	18.8	31.3	20.8	4.2
	緒方町	44	9.1	18.2	18.2	27.3	22.7	4.5
	朝地町	12	-	-	-	41.7	58.3	-
	大野町	49	2.0	14.3	12.2	30.6	36.7	4.1
	千歳村	16	6.3	6.3	37.5	18.8	31.3	-
	犬飼町	40	2.5	17.5	22.5	25.0	32.5	-
	萩町	59	-	22.0	25.4	18.6	32.2	1.7
久住町	47	8.5	27.7	17.0	23.4	21.3	2.1	
直入町	31	9.7	19.4	19.4	9.7	38.7	3.2	
九重町	55	3.6	25.5	18.2	23.6	25.5	3.6	
玖珠町	42	4.8	14.3	19.0	14.3	45.2	2.4	
前津江村	9	-	33.3	11.1	33.3	22.2	-	
中津江村	14	-	28.6	21.4	35.7	14.3	-	
上津江村	14	-	28.6	35.7	14.3	14.3	7.1	
大山町	51	21.6	25.5	17.6	11.8	23.5	-	
天瀬町	63	-	14.3	20.6	19.0	44.4	1.6	
三光村	16	-	12.5	25.0	37.5	25.0	-	
本耶馬溪町	39	-	5.1	15.4	33.3	46.2	-	
耶馬溪町	35	2.9	17.1	25.7	22.9	28.6	2.9	
山国町	53	1.9	30.2	13.2	24.5	26.4	3.8	
院内町	32	6.3	18.8	21.9	18.8	34.4	-	
安心院町	53	9.4	28.3	26.4	13.2	20.8	1.9	

(表Ⅲ-1-3)市町村別職業構成

(数値:%)

	サンプル数	会社員・公務員など	パート・アルバイト	自営業	農林水産業	その他	無回答	
全体	3,468	36.8	17.5	25.7	1.8	14.3	3.8	
居住市町村別(旧市町村)	大分市	307	47.9	19.5	16.6	0.3	12.1	3.6
	別府市	232	37.9	16.8	15.5	-	23.7	6.0
	中津市	93	72.0	4.3	15.1	-	7.5	1.1
	日田市	171	32.7	26.3	13.5	0.6	23.4	3.5
	佐伯市	110	66.4	9.1	10.0	-	10.0	4.5
	臼杵市	108	43.5	52.8	-	-	2.8	0.9
	津久見市	110	35.5	15.5	18.2	-	26.4	4.5
	竹田市	85	43.5	16.5	15.3	1.2	15.3	8.2
	豊後高田市	68	69.1	7.4	2.9	-	19.1	1.5
	杵築市	52	28.8	7.7	53.8	-	3.8	5.8
	宇佐市	142	23.9	23.9	13.4	4.2	31.0	3.5
	大田村	18	50.0	22.2	16.7	-	5.6	5.6
	真玉町	39	41.0	12.8	25.6	-	17.9	2.6
	香々地町	28	57.1	17.9	25.0	-	-	-
	国見町	49	20.4	16.3	42.9	2.0	14.3	4.1
	姫島村	57	21.1	8.8	66.7	-	3.5	-
	国東町	47	21.3	4.3	74.5	-	-	-
	武蔵町	20	40.0	25.0	30.0	-	5.0	-
	安岐町	53	39.6	15.1	22.6	11.3	11.3	-
	日出町	129	32.6	36.4	8.5	1.6	14.0	7.0
	山香町	14	35.7	14.3	50.0	-	-	-
	野津原町	45	15.6	8.9	44.4	-	15.6	15.6
	挾間町	72	38.9	13.9	18.1	4.2	20.8	4.2
	庄内町	58	34.5	46.6	8.6	3.4	3.4	3.4
	湯布院町	45	11.1	20.0	28.9	4.4	31.1	4.4
	佐賀閑町	45	42.2	31.1	8.9	-	13.3	4.4
	上浦町	46	30.4	21.7	28.3	6.5	10.9	2.2
	弥生町	46	39.1	6.5	28.3	-	21.7	4.3
	本匠村	22	54.5	13.6	9.1	-	9.1	13.6
	宇目町	47	31.9	38.3	8.5	-	19.1	2.1
	直川村	53	32.1	26.4	18.9	-	20.8	1.9
	鶴見町	38	26.3	15.8	44.7	2.6	5.3	5.3
	米水津村	30	43.3	16.7	23.3	3.3	10.0	3.3
	蒲江町	50	22.0	12.0	10.0	4.0	48.0	4.0
	野津町	52	38.5	26.9	21.2	-	11.5	1.9
	三重町	60	18.3	6.7	55.0	-	18.3	1.7
	清川村	48	18.8	10.4	60.4	4.2	-	6.3
	緒方町	44	50.0	4.5	29.5	4.5	6.8	4.5
	朝地町	12	33.3	41.7	-	8.3	8.3	8.3
	大野町	49	30.6	16.3	14.3	4.1	28.6	6.1
	千歳村	16	31.3	12.5	25.0	6.3	25.0	-
	犬飼町	40	62.5	17.5	5.0	-	15.0	-
	荻町	59	35.6	10.2	33.9	-	20.3	-
久住町	47	27.7	8.5	40.4	-	14.9	8.5	
直入町	31	54.8	3.2	29.0	-	9.7	3.2	
九重町	55	21.8	10.9	50.9	3.6	9.1	3.6	
玖珠町	42	14.3	4.8	71.4	2.4	4.8	2.4	
前津江村	9	-	-	100.0	-	-	-	
中津江村	14	28.6	7.1	42.9	7.1	14.3	-	
上津江村	14	28.6	14.3	50.0	7.1	-	-	
大山町	51	27.5	3.9	41.2	25.5	-	2.0	
天瀬町	63	9.5	-	85.7	-	3.2	1.6	
三光村	16	56.3	6.3	31.3	-	6.3	-	
本耶馬溪町	39	56.4	10.3	25.6	-	7.7	-	
耶馬溪町	35	20.0	5.7	65.7	-	5.7	2.9	
山園町	53	18.9	9.4	50.9	3.8	11.3	5.7	
院内町	32	34.4	31.3	28.1	3.1	-	3.1	
安心院町	53	37.7	5.7	45.3	1.9	-	9.4	

(表Ⅲ-1-4)市町村別にみた買い物での移手段

(数値:%)

	サンプル数	自家用車	原付バイク・自転車	徒歩	バス・タクシー	JR	無回答	
全体	3,468	85.7	8.2	7.2	1.3	0.4	1.4	
居住市町村別(旧市町村)	大分市	307	84.4	11.7	6.2	2.6	0.3	1.3
	別府市	232	74.1	9.5	15.9	6.9	1.7	0.9
	中津市	93	91.4	8.6	1.1	-	-	-
	日田市	171	80.1	17.5	7.0	1.2	-	-
	佐伯市	110	91.8	9.1	3.6	-	-	-
	臼杵市	108	76.9	23.1	2.8	-	-	-
	津久見市	110	78.2	18.2	10.0	-	-	1.8
	竹田市	85	85.9	3.5	8.2	3.5	-	1.2
	豊後高田市	68	97.1	2.9	-	-	-	1.5
	杵築市	52	82.7	1.9	19.2	1.9	-	1.9
	宇佐市	142	85.2	13.4	3.5	-	-	1.4
	大田村	18	100.0	-	-	-	-	-
	真玉町	39	89.7	2.6	7.7	-	-	5.1
	香々地町	28	100.0	-	-	-	-	-
	国見町	49	85.7	6.1	10.2	-	-	2.0
	姫島村	57	49.1	33.3	15.8	-	-	3.5
	国東町	47	85.1	4.3	14.9	4.3	-	-
	武蔵町	20	90.0	5.0	-	-	-	5.0
	安岐町	53	77.4	18.9	-	1.9	-	1.9
	日出町	129	92.2	2.3	5.4	-	0.8	0.8
	山香町	14	100.0	-	-	-	-	-
	野津原町	45	82.2	6.7	8.9	2.2	-	2.2
	挾間町	72	84.7	4.2	12.5	1.4	1.4	1.4
	庄内町	58	94.8	-	-	-	1.7	3.4
	湯布院町	45	71.1	17.8	20.0	-	-	2.2
	佐賀関町	45	86.7	11.1	4.4	2.2	-	-
	上浦町	46	84.8	4.3	6.5	2.2	2.2	-
	弥生町	46	93.5	-	6.5	-	-	4.3
	本匠村	22	86.4	-	4.5	-	-	9.1
	宇目町	47	83.0	8.5	6.4	-	2.1	-
	直川村	53	92.5	-	7.5	-	-	-
	鶴見町	38	86.8	7.9	10.5	-	-	-
	米水津村	30	93.3	3.3	3.3	-	-	-
	蒲江町	50	82.0	8.0	2.0	6.0	-	6.0
	野津町	52	86.5	5.8	7.7	-	-	-
	三重町	60	75.0	6.7	25.0	-	-	-
	清川村	48	93.8	-	2.1	-	4.2	2.1
	緒方町	44	88.6	13.6	-	-	-	2.3
	朝地町	12	100.0	-	-	-	-	-
	大野町	49	81.6	6.1	8.2	-	-	4.1
	千歳村	16	93.8	-	6.3	-	-	-
	犬飼町	40	97.5	2.5	-	-	-	-
	荻町	59	91.5	1.7	8.5	-	1.7	1.7
久住町	47	89.4	2.1	14.9	-	-	-	
直入町	31	90.3	-	9.7	-	-	3.2	
九重町	55	89.1	3.6	9.1	-	-	1.8	
玖珠町	42	85.7	7.1	14.3	-	-	-	
前津江村	9	100.0	-	-	-	-	-	
中津江村	14	100.0	-	-	-	-	-	
上津江村	14	100.0	-	-	-	-	-	
大山町	51	86.3	11.8	3.9	5.9	-	-	
天瀬町	63	98.4	-	1.6	-	-	1.6	
三光村	16	100.0	-	-	-	-	-	
本耶馬溪町	39	100.0	-	-	-	-	-	
耶馬溪町	35	88.6	-	11.4	-	-	5.7	
山国町	53	94.3	1.9	7.5	-	-	3.8	
院内町	32	96.9	3.1	-	-	-	-	
安心院町	53	83.0	7.5	5.7	3.8	-	5.7	

2 商品別出向状況(問2)

商品別の出向状況を分析するにあたって、主な買物場所について4つまで記入してもらうこととし、調査で設定した7商品を、下記に示す4商品群に集約した。

【集約の方法】

①最寄品

最寄品は手近に、頻繁に購入され、1回の購入単価が比較的小額で、かつ早く消費される商品であり、身近な店舗（地元の店舗）で購入されることの多い商品である。一般的には食料品や日用雑貨などに代表される。

本調査では、「食料品（生鮮食料品・菓子類・飲料・米・ビン缶詰・調味料など）」と「日用雑貨品（金物荒物・陶器・台所用品・日用品・医薬・化粧品など）」の2商品を合計したものである。

②買回品

買回品は、スタイル、デザイン等を重視して商品の選択を行うものであり、消費者が気に入ったものが見つかるまで探すことが多い商品である。一般的には婦人服、紳士服などの衣服や装身具等に代表される。

本調査では、「日用衣料品（下着・肌着・靴下、ふだん着など）」、「婦人服・こども服・紳士服（ふだん着を除く）」、「身回品（靴・かばん・帽子・服飾品など）」の3商品を合計したものである。

③専門品

専門品は、長期間使用し、単価も高価であるため、消費者は購入に際しその特性、性能、品質、デザイン等を吟味して購入することが多い商品である。一般的には家庭電気製品等の耐久消費財に代表される。

本調査では、「専門品（家電製品・家具・インテリア・貴金属・時計・スポーツレジャー用品など）」である。

④贈答品

本調査では、「贈答用品（中元・年末用品・記念品など）」である。

(1) 最寄品についての買物先出向状況

①最寄品についての買物先出向状況をみると、以下のような主な商圏が形成されている。

商 圏	中心となる市町	含まれる市町村 (中心となる市町に 10%以上出向している市町村)
大分商圏	大分市(90.3%)	佐賀関町(60.9%)、野津原町(53.2%)、犬飼町(30.2%)、直入町(29.6%)、挾間町(22.6%)、朝地町(15.9%) 千歳村(15.8%)
別府商圏	別府市(91.6%)	日出町(10.1%)
臼杵商圏	臼杵市(84.1%)	野津町(30.5%)、津久見市(24.9%)
佐伯商圏	佐伯市(88.6%)	米水津村(61.2%)、上浦町(60.3%)、鶴見町(59.5%)、弥生町(57.2%)、蒲江町(53.5%)、直川村(53.1%)、本匠村(50.7%)、宇目町(15.4%)
三重商圏	三重町(92.2%)	千歳村(65.8%)、清川村(59.6%)、宇目町(47.6%)、犬飼町(43.6%)、大野町(39.4%)、緒方町(32.3%)、野津町(19.2%)、朝地町(18.2%)
竹田商圏	竹田市(86.5%)	萩町(55.4%)、久住町(47.4%)、朝地町(45.5%)、緒方町(23.6%)、直入町(22.4%)
中津商圏	中津市(73.7%)	三光村(47.4%)、本耶馬溪町(36.5%)、耶馬溪町(30.1%)
宇佐商圏	宇佐市(88.4%)	院内町(41.0%)、安心院町(34.1%)
豊後高田商圏	豊後高田市 (74.0%)	真玉町(51.2%)、香々地町(43.8%)、大田村(19.0%)、国見町(18.1%)
杵築商圏	杵築市(83.6%)	大田村(31.7%)、安岐町(17.6%)、山香村(15.2%)
国東商圏	国東町(67.7%)	武蔵町(19.7%)、国見町(17.2%)
日田商圏	日田市(92.3%)	天瀬町(91.5%)、大山町(59.3%)、前津江村(51.7%)、山国村(46.3%)、中津江村(37.3%)、上津江村(31.9%)
玖珠商圏	玖珠町(88.0%)	九重町(56.6%)

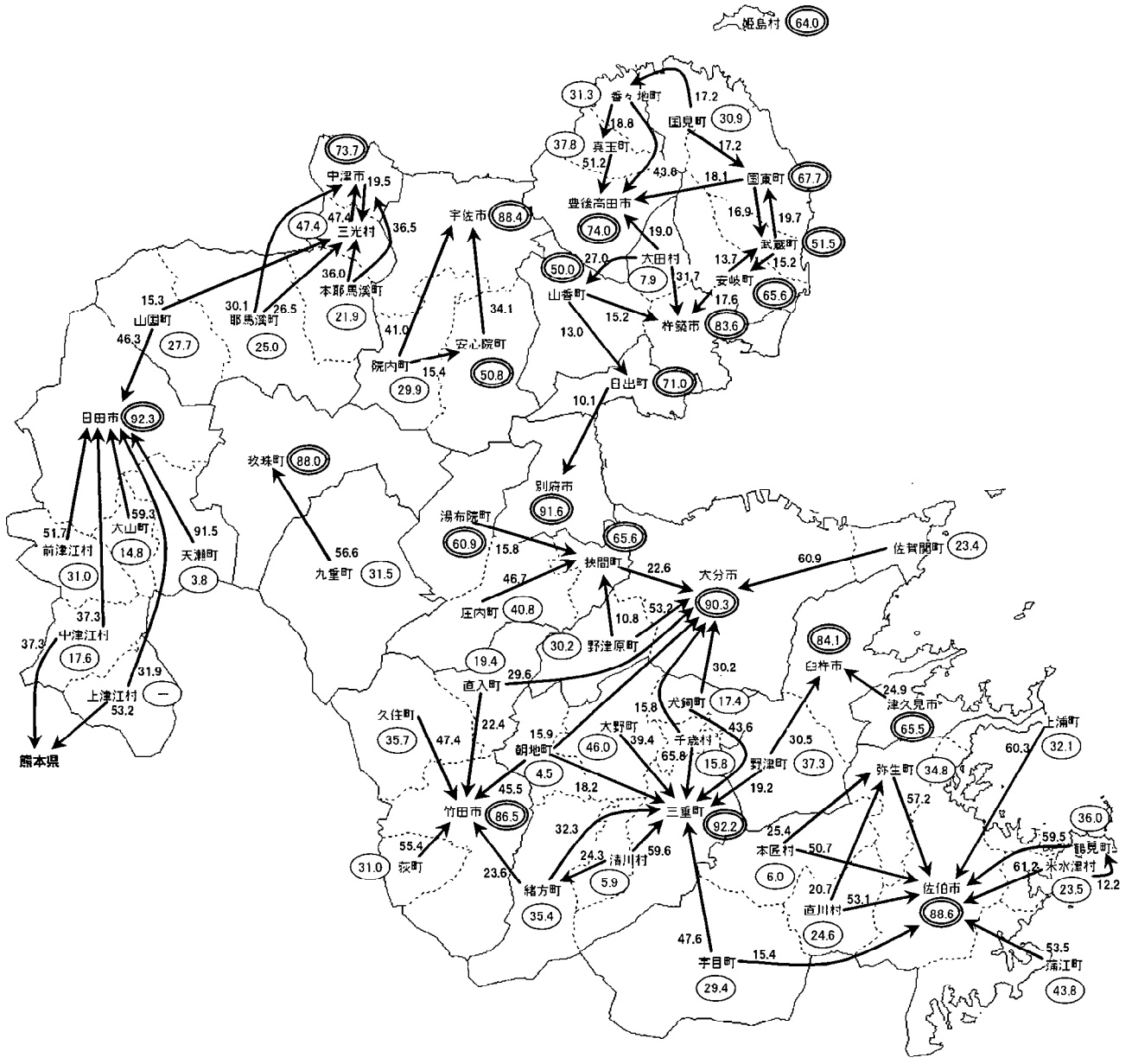
(注)複数の商圏に含まれる市町村もある。

②前回の地元購入率との比較をみると、増加が目立つ地域として、姫島村 (33.3%→64.0%、30.7ポイント増)、真玉町 (16.3%→37.8%、21.5ポイント増)、山香町 (32.5%→50.0%、17.5ポイント増)、上浦町 (15.2%→32.1%、16.9ポイント増)、野津町 (27.8%→43.8%、16.0ポイント増)、鶴見町 (20.1%→36.0%、15.9ポイント増) があげられる (図Ⅲ-2-2)。

③最寄品の地元購入率が 10%を下回っているのは、前回は 7 町村であったが、今回は 6 町村となっている。

(図Ⅲ-2-1)最寄品の出向マップ

○内は地元購入率
 (○)は50%以上



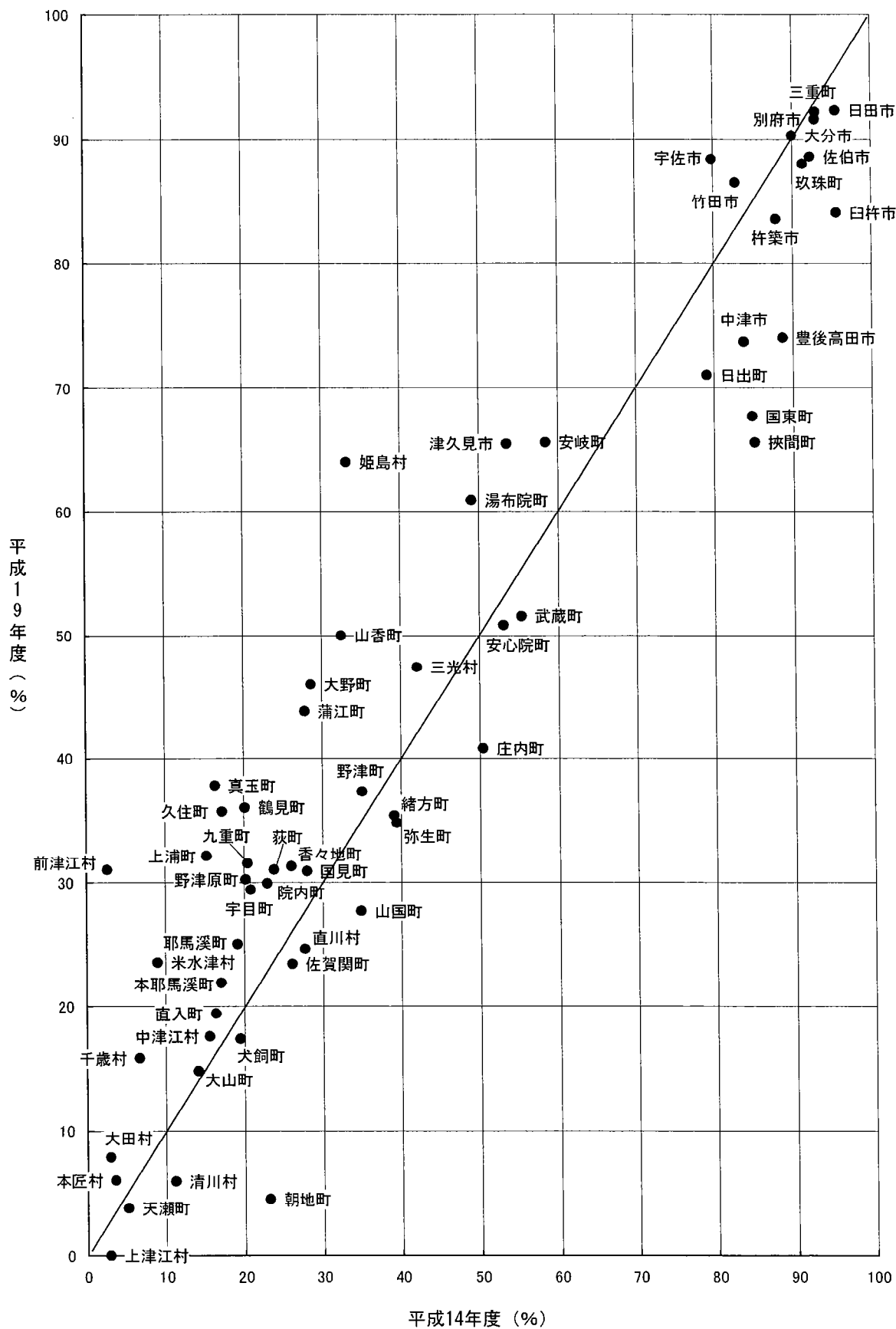
(表Ⅲ-2-1)市町村別にみた流出入先市町村(最寄品-その1)

【流入市町村-10%以上】										地元購入率	【流出市町村-10%以上】							
佐賀関町	野津原町	犬飼町	直入町	挾間町	朝地町	千歳村	大分市					90.3						
60.9	53.2	30.2	29.6	22.6	15.9	15.8	日出町					91.6						
							10.1	別府市					91.6					
							三光村	本耶馬溪町	耶馬溪町	中津市	三光村					19.5		
							47.4	36.5	30.1	73.7								
							天瀬町	大山町	前津江村	山国町	中津江村	上津江村	日田市					
							91.5	59.3	51.7	46.3	37.3	31.9	92.3					
米水津村	上浦町	鶴見町	弥生町	蒲江町	直川村	本匠村	宇目町	佐伯市					88.6					
61.2	60.3	59.5	57.2	53.5	53.1	50.7	15.4	88.6										
							野津町	津久見市	臼杵市					84.1				
							30.5	24.9	84.1									
							津久見市	杵築市					24.9					
							65.5	24.9										
							荻町	久住町	朝地町	緒方町	直入町	竹田市					86.5	
							55.4	47.4	45.5	23.6	22.4	86.5						
							真玉町	香々地町	大田村	国見町	豊後高田市					74.0		
							51.2	43.8	19.0	18.1	74.0							
							大田村	安岐町	山香町	杵築市					83.6			
							31.7	17.6	15.2	83.6								
							院内町	安心院町	宇佐市					88.4				
							41.0	34.1	88.4									
							大田村	杵築市	山香町	豊後高田市					19.0			
							7.9	31.7	27.0	19.0								
							香々地町	真玉町	豊後高田市									
							18.8	37.8	51.2									
							国見町	香々地町	豊後高田市	真玉町					18.8			
							17.2	31.3	43.8	18.8								
							国見町	豊後高田市	香々地町	国東町					17.2			
							30.9	18.1	17.2	17.2								
							姫島村											
							64.0											
							武蔵町	国見町	国東町	武蔵町					16.9			
							19.7	17.2	67.7	16.9								
							国東町	安岐町	武蔵町	国東町	安岐町					15.2		
							16.9	13.7	51.5	19.7	15.2							
							武蔵町	安岐町	杵築市	武蔵町					13.7			
							15.2	65.6	17.6	13.7								
							山香町	日出町	別府市									
							13.0	71.0	10.1									
							大田村	山香町	杵築市	日出町					13.0			
							27.0	50.0	15.2	13.0								
							野津原町	大分市	挾間町					10.8				
							30.2	53.2	10.8									
庄内町	湯布院町	野津原町	挾間町	大分市					22.6									
46.7	15.8	10.8	65.6	22.6														
							庄内町	挾間町					46.7					
							40.8	46.7										
							湯布院町	挾間町					15.8					
							60.9	15.8										
							佐賀関町	大分市					60.9					
							23.4	60.9										
							上浦町	佐伯市					60.3					
							32.1	60.3										
							本匠村	直川村	弥生町	佐伯市					57.2			
							25.4	20.7	34.8	57.2								

(表Ⅲ-2-1)市町村別にみた流出入先市町村(最寄品-その2)

【流入市町村-10%以上】								地元購入率	【流出市町村-10%以上】				
								本匠村	佐伯市	弥生町	無店舗販売		
								6.0	50.7	25.4	11.9		
								宇目町	三重町	佐伯市			
								29.4	47.6	15.4			
								直川村	佐伯市	弥生町			
								24.6	53.1	20.7			
								米水津村	鶴見町	佐伯市			
								12.2	36.0	59.5			
								米水津村	佐伯市	鶴見町			
								23.5	61.2	12.2			
								蒲江町	佐伯市				
								43.8	53.5				
								野津町	臼杵市	三重町			
								37.3	30.5	19.2			
千歳村	清川村	宇目町	犬飼町	大野町	緒方町	野津町	朝地町	三重町					
65.8	59.6	47.6	43.6	39.4	32.3	19.2	18.2	92.2					
								清川村	三重町	緒方町			
								5.9	59.6	24.3			
								清川村	緒方町	三重町	竹田市		
								24.3	35.4	32.3	23.6		
								朝地町	竹田市	三重町	大分市		
								4.5	45.5	18.2	15.9		
								大野町	三重町				
								46.0	39.4				
								千歳村	三重町	大分市			
								15.8	65.8	15.8			
								犬飼町	三重町	大分市			
								17.4	43.6	30.2			
								荻町	竹田市				
								31.0	55.4				
								久住町	竹田市				
								35.7	47.4				
								直入町	大分市	竹田市			
								19.4	29.6	22.4			
								九重町	玖珠町				
								31.5	56.6				
								九重町	玖珠町				
								56.6	88.0				
								前津江村	日田市				
								31.0	51.7				
								中津江村	熊本県	日田市			
								17.6	37.3	37.3			
								上津江村	熊本県	日田市			
								-	53.2	31.9			
								大山町	日田市				
								14.8	59.3				
								天瀬町	日田市				
								3.8	91.5				
本耶馬溪町	耶馬溪町	中津市	山国町					三光村	中津市				
36.0	26.5	19.5	15.3					47.4	47.4				
								本耶馬溪町	中津市	三光村			
								21.9	36.5	36.0			
								耶馬溪町	中津市	三光村			
								25.0	30.1	26.5			
								山国町	日田市	三光村			
								27.7	46.3	15.3			
								院内町	宇佐市	安心院町			
								29.9	41.0	15.4			
								院内町	安心院町	宇佐市			
								15.4	50.8	34.1			

(図Ⅲ-2-2)最寄品の地元購入率の推移



(表Ⅲ-2-2)商品別の地元購入率

出向先 居住 市町村 (旧)	食 料 品	日 用 雑 貨 品
全体	57.2	51.7
大分市	89.4	91.2
別府市	93.0	90.2
中津市	75.4	72.0
日田市	90.5	94.1
佐伯市	89.2	88.0
臼杵市	85.2	82.9
津久見市	70.7	60.7
竹田市	86.2	86.8
豊後高田市	70.2	78.3
杵築市	83.6	83.6
宇佐市	90.3	86.5
大田村	8.6	7.1
真玉町	47.9	24.1
香々地町	35.4	25.5
国見町	35.1	25.6
姫島村	73.1	55.4
国東町	68.9	66.7
武蔵町	52.8	50.0
安岐町	79.0	53.6
日出町	72.3	69.7
山香町	60.9	39.1
野津原町	39.5	17.2
挾間町	65.0	66.3
庄内町	52.0	27.4
湯布院町	63.2	58.5
佐賀関町	30.1	14.5
上浦町	36.5	26.3
弥生町	47.5	17.2
本匠村	7.1	4.0
宇目町	39.8	15.0
直川村	31.8	13.0
鶴見町	47.0	20.0
米水津村	31.1	10.8
蒲江町	45.3	42.2

(数値:%)

出向先 居住 市町村 (旧)	食 料 品	日 用 雑 貨 品
野津町	47.3	26.7
三重町	89.8	94.7
清川村	9.1	1.7
緒方町	46.4	23.4
朝地町	9.1	-
大野町	50.0	41.5
千歳村	30.0	-
犬飼町	26.5	6.1
荻町	36.1	25.3
久住町	44.9	23.1
直入町	24.6	12.2
九重町	38.4	24.3
玖珠町	90.2	85.7
前津江村	31.3	30.8
中津江村	15.4	20.0
上津江村	-	-
大山町	18.1	11.1
天瀬町	7.5	-
三光村	46.7	48.1
本耶馬溪町	25.5	17.5
耶馬溪町	35.5	11.7
山国町	32.3	22.6
院内町	35.4	23.1
安心院町	50.5	51.2

(2) 買回品についての買物先出向状況

①買回品についての買物先出向状況をみると、以下のような主な商圏が形成されている。

商 圏	中心となる市町	含まれる市町村（中心となる市町に 10%以上出向している市町村）
大分商圏	大分市(92.4%)	中津市・日田市・宇佐市・蒲江町・前津江村・中津江村・上津江村・大山町・天瀬町・三光村・本耶馬溪町・耶馬溪町・山国町・院内町を除く市町村
別府商圏	別府市(60.3%)	日出町(23.1%)杵築市(17.8%)、国東町(16.8%)、安岐町(16.2%)、山香町(14.7%)、湯布院町(14.1%)、大田村(12.9%)、武蔵町(10.8%)
臼杵商圏	臼杵市(36.5%)	津久見市(16.3%)、野津町(14.6%)
佐伯商圏	佐伯市(55.4%)	蒲江町(80.1%)、米水津村(69.7%)、鶴見町(66.2%)、上浦町(61.1%)、直川村(56.4%)、弥生町(48.7%)、本匠村(48.0%)、宇目町(25.4%)、津久見市(15.7%)
三重商圏	三重町(60.4%)	清川村(55.4%)、千歳村(48.2%)、大野町(40.2%)、宇目町(34.7%)、犬飼町(31.4%)、緒方町(27.5%)、朝地町(21.7%)、野津町(16.3%)
竹田商圏	竹田市(33.7%)	久住町(35.4%)、荻町(32.8%)、朝地町(27.5%)、緒方町(22.3%)、直入町(18.2%)
中津商圏	中津市(50.7%)	本耶馬溪町(41.6%)、三光村(38.8%)、耶馬溪町(38.0%)、院内町(22.7%)、豊後高田市(15.9%)、山国町(15.0%)、香々地町(14.7%)、宇佐市(14.6%)、安心院町(14.0%)、姫島村(12.7%)、真玉町(12.4%)
宇佐商圏	宇佐市(52.7%)	院内町(28.6%)、安心院町(20.5%)
豊後高田商圏	豊後高田市 (31.1%)	真玉町(36.1%)、香々地町(28.2%)、国見町(24.1%)、大田村(21.5%)
杵築商圏	杵築市(40.9%)	安岐町(34.6%)、大田村(25.8%)、武蔵町(16.7%)、山香町(14.7%)
日田商圏	日田市(65.7%)	天瀬町(78.9%)、大山町(46.5%)、前津江村(40.0%)、上津江村(35.5%)、中津江村(35.0%)、山国町(33.9%)、玖珠町(10.1%)
玖珠商圏	玖珠町(54.7%)	九重町(50.2%)

(注)複数の商圏に含まれる市町村もある。

②買回品の地元購入率が 50%を上回っているのは、大分市 (92.4%)、日田市 (65.7%)、三重町 (60.4%)、別府市 (60.3%)、佐伯市 (55.4%)、玖珠町 (54.7%)、挾間町 (53.4%)、宇佐市 (52.7%)、中津市 (50.7%) の 5 市 3 町となっており、前回から 2 町増加している。

③前回の地元購入率との比較でみると、増加が目立つ地域として、宇佐市 (29.1%→52.7%、23.6 ポイント増)、姫島村 (9.0%→28.3%、19.3 ポイント増)、湯布院町 (8.4%→25.4%、17.0 ポイント増) があげられる (図Ⅲ-2-5・6)。

④県外への出向をみると、福岡県へは前津江村 (48.0%)、中津江村 (21.7%)、日田市 (20.6%)、上津江村 (19.4%)、大山町 (18.0%)、天瀬町 (11.1%)、中津市 (10.2%)、熊本県へは上津江村 (43.5%)、中津江村 (33.3%) からの出向率が高くなっている。

(図Ⅲ-2-4)買回品の出向マップ(その2 大分市への出向)



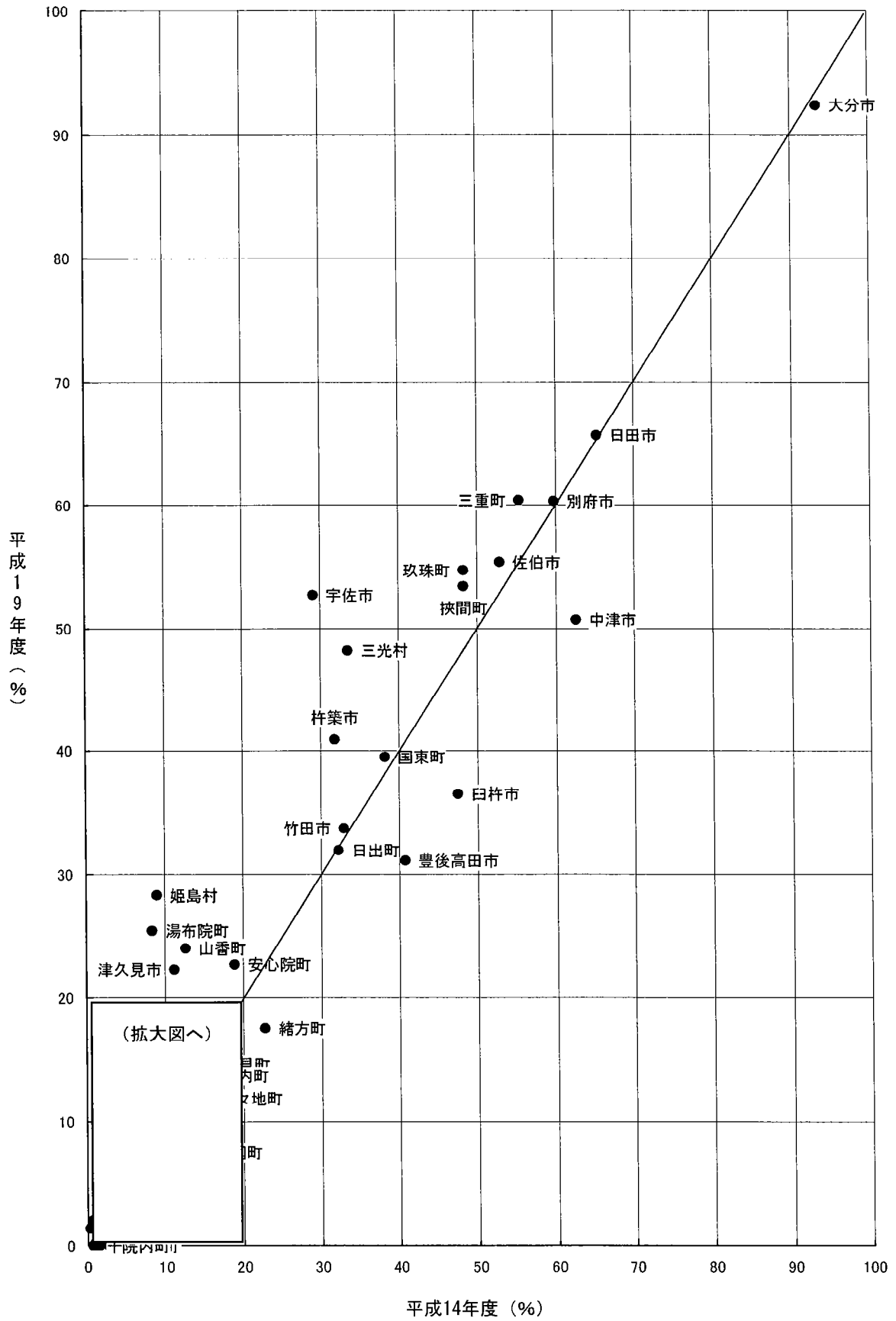
(表Ⅲ-2-4)市町村別にみた流出入先市町村(買回品-その1)

【流入市町村-10%以上】										地元購入率	【流出市町村-10%以上】									
(図Ⅲ-2-4)買回品の出向マップ(その2 大分市への出向)を参照										大分市										
										92.4										
										別府市	大分市									
										60.3	35.1									
本耶馬溪町	三光村	耶馬溪町	院内町	豊後高田市	山国町	香々地町	宇佐市	安心院町	姪島村	真玉町	中津市	三光村	福岡県							
41.6	38.8	38.0	22.7	15.9	15.0	14.7	14.6	14.0	12.7	12.4	50.7	29.8	10.2							
										天瀬町	大山町	前津江村	上津江村	中津江村	山国町	玖珠町	日田市	福岡県		
										78.9	46.5	40.0	35.5	35.0	33.9	10.1	65.7	20.6		
										蒲江町	米水津村	鶴見町	上浦町	直川村	弥生町	本匠村	宇目町	津久見市	佐伯市	大分市
										80.1	69.7	66.2	61.1	56.4	48.7	48.0	25.4	15.7	55.4	38.4
																	16.3	14.6	36.5	53.0
																	22.3	42.0	16.3	15.7
										久住町	萩町	朝地町	緒方町	直入町	竹田市	大分市				
										35.4	32.8	27.5	22.3	18.2	33.7	46.3				
										真玉町	香々地町	国見町	大田村	豊後高田市	大分市	中津市	三光村			
										36.1	28.2	24.1	21.5	31.1	17.0	15.9	15.4			
										安岐町	大田村	武威町	山香町	杵築市	大分市	別府市				
										34.6	25.8	16.7	14.7	40.9	28.1	17.8				
										院内町	安心院町	宇佐市	三光村	中津市						
										28.6	20.5	52.7	17.6	14.6						
										大田村	杵築市	豊後高田市	大分市	別府市	山香町					
										-	25.8	21.5	15.1	12.9	10.8					
										真玉町	豊後高田市	大分市	三光村	中津市						
										5.0	36.1	17.8	13.9	12.4						
										香々地町	豊後高田市	大分市	中津市	三光村						
										11.7	28.2	19.0	14.7	11.0						
										国見町	豊後高田市	国東町	大分市							
										14.6	24.1	13.1	12.0							
										姪島村	大分市	中津市								
										28.3	22.8	12.7								
										武威町	国見町	国東町	大分市	別府市						
										14.7	13.1	39.5	22.2	16.8						
										武蔵町	大分市	杵築市	国東町	別府市						
										12.7	31.4	16.7	14.7	10.8						
										安岐町	杵築市	大分市	別府市							
										17.3	34.6	18.3	16.2							
										山香町	日出町	大分市	別府市							
										13.3	31.9	29.5	23.1							
										大田村	山香町	杵築市	別府市	大分市	日出町					
										10.8	24.0	14.7	14.7	13.3	13.3					
										野津原町	大分市	挾間町								
										2.1	80.7	13.1								
										庄内町	湯布院町	野津原町	朝地町	挾間町	大分市					
										49.2	20.0	13.1	13.0	53.4	37.7					
										庄内町	挾間町	大分市								
										12.8	49.2	36.8								
										湯布院町	大分市	挾間町	別府市							
										25.4	36.1	20.0	14.1							
										佐賀関町	大分市									
										3.0	89.5									
										上浦町	佐伯市	大分市								
										16.7	61.1	20.4								
										弥生町	佐伯市	大分市								
										4.3	48.7	34.8								

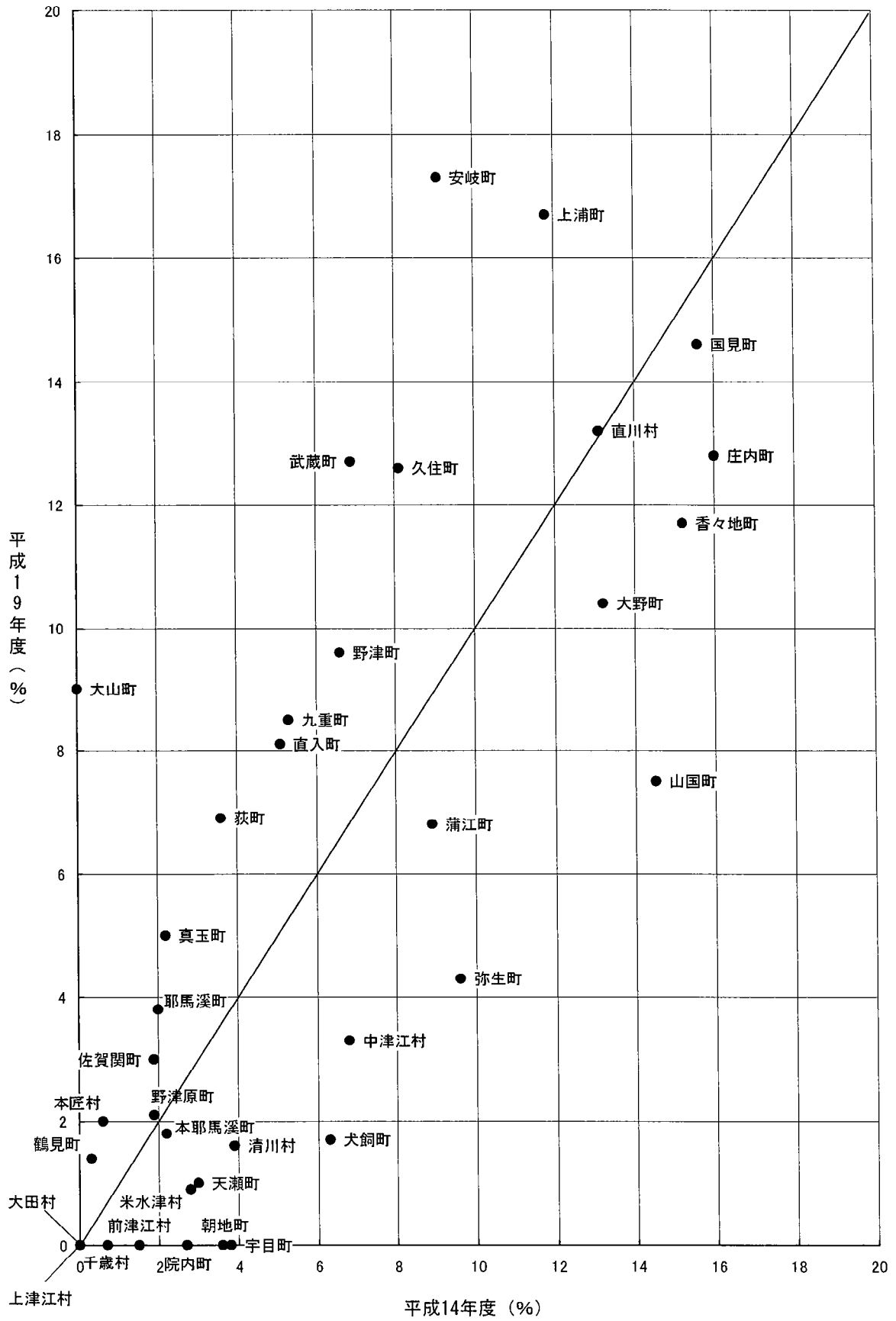
(表Ⅲ-2-4)市町村別にみた流出入先市町村(買回品-その2)

【流入市町村-10%以上】								地元購入率	【流出市町村-10%以上】						
								本匠村	佐伯市	大分市					
								2.0	48.0	34.0					
								宇目町	三重町	大分市	佐伯市				
								-	34.7	26.0	25.4				
								直川村	佐伯市	大分市					
								13.2	56.4	19.5					
								鶴見町	佐伯市	大分市					
								1.4	66.2	24.5					
								米水津村	佐伯市	大分市					
								0.9	69.7	27.5					
								瀧江町	佐伯市						
								6.8	80.1						
								野津町	大分市	三重町	臼杵市				
								9.6	47.1	16.3	14.6				
清川村	千歳村	大野町	宇目町	犬飼町	緒方町	朝地町	野津町	三重町	大分市						
55.4	48.2	40.2	34.7	31.4	27.5	21.7	16.3	60.4	37.6						
								清川村	三重町	大分市	緒方町				
								1.6	55.4	22.3	10.3				
								清川村	緒方町	大分市	三重町	竹田市			
								10.3	17.5	32.7	27.5	22.3			
								朝地町	大分市	竹田市	三重町	扶間町			
								-	31.9	27.5	21.7	13.0			
								大野町	三重町	大分市					
								10.4	40.2	38.4					
								千歳村	三重町	大分市					
								-	48.2	42.9					
								犬飼町	大分市	三重町					
								1.7	55.8	31.4					
								萩町	大分市	竹田市					
								6.9	40.1	32.8					
								久住町	竹田市	大分市					
								12.6	35.4	32.0					
								直入町	大分市	竹田市					
								8.1	58.6	18.2					
								九重町	玖珠町	大分市					
								8.5	50.2	19.9					
								九重町	玖珠町	大分市	日田市				
								50.2	54.7	12.6	10.1				
								前津江村	福岡県	日田市					
								-	48.0	40.0					
								中津江村	日田市	熊本県	福岡県				
								3.3	35.0	33.3	21.7				
								上津江村	熊本県	日田市	福岡県				
								-	43.5	35.5	19.4				
								大山町	日田市	福岡県					
								9.0	46.5	18.0					
								天瀬町	日田市	福岡県					
								1.0	78.9	11.1					
本耶馬溪町	耶馬溪町	山国町	中津市	院内町	宇佐市	豊後高田市	真玉町	安心院町	香々地町	三光村	中津市				
45.7	45.6	31.5	29.8	25.9	17.6	15.4	13.9	13.7	11.0	48.2	38.8				
								本耶馬溪町	三光村	中津市					
								1.8	45.7	41.6					
								耶馬溪町	三光村	中津市					
								3.8	45.6	38.0					
								山国町	日田市	三光村	中津市				
								7.5	33.9	31.5	15.0				
								院内町	宇佐市	三光村	中津市				
								-	28.6	25.9	22.7				
								安心院町	宇佐市	大分市	中津市	三光村			
								22.7	20.5	17.6	14.0	13.7			

(図Ⅲ-2-5)買回品の地元購入率の推移(その1)



(図Ⅲ-2-6)買回品の地元購入率の推移(その2 拡大図)



(表Ⅲ-2-5)商品別の地元購入率

出向先 居住 市町村 (旧)	日用 衣料品	も 婦 服 人 ・ 服 紳 ・ こ 士 服 ど	身 回 品
全体	36.7	29.4	27.3
大分市	91.1	92.5	93.7
別府市	69.2	56.8	55.0
中津市	57.0	47.6	47.4
日田市	73.5	60.9	62.4
佐伯市	63.6	53.3	48.8
臼杵市	45.8	33.6	29.1
津久見市	28.0	21.7	16.2
竹田市	51.2	28.6	20.7
豊後高田市	41.7	28.0	23.4
杵築市	54.7	35.2	34.2
宇佐市	65.3	48.2	45.4
大田村	-	-	-
真玉町	10.2	4.1	1.4
香々地町	14.3	11.1	9.4
国見町	17.3	12.8	13.4
姫島村	33.8	28.4	22.4
国東町	60.3	32.4	24.1
武蔵町	14.3	12.5	11.4
安岐町	28.6	16.4	5.0
日出町	41.4	27.6	25.9
山香町	28.6	29.2	13.0
野津原町	2.0	2.0	2.2
挾間町	58.9	50.5	50.0
庄内町	18.0	13.0	7.1
湯布院町	33.3	22.1	19.4
佐賀関町	6.0	2.3	-
上浦町	26.3	13.0	9.8
弥生町	7.8	3.1	1.7
本匠村	2.9	2.9	-
宇目町	-	-	-
直川村	22.6	12.3	1.6
鶴見町	2.4	-	2.1
米水津村	2.8	-	-
蒲江町	11.5	5.2	3.5

(数値:%)

出向先 居住 市町村 (旧)	日用 衣料品	も 婦 服 人 ・ 服 紳 ・ こ 士 服 ど	身 回 品
野津町	13.8	10.0	4.1
三重町	69.1	59.4	52.3
清川村	1.6	1.5	1.8
緒方町	23.0	19.2	9.4
朝地町	-	-	-
大野町	13.8	10.2	6.4
千歳村	-	-	-
犬飼町	3.2	1.7	-
荻町	9.6	7.3	2.8
久住町	17.9	8.3	10.4
直入町	8.3	9.1	6.7
九重町	10.4	8.6	6.3
玖珠町	70.2	50.0	46.6
前津江村	-	-	-
中津江村	5.0	4.8	-
上津江村	-	-	-
大山町	9.0	8.8	9.2
天瀬町	-	1.5	1.5
三光村	48.1	48.3	48.3
本耶馬溪町	2.5	1.4	1.4
耶馬溪町	5.6	3.8	1.9
山国町	11.5	7.1	3.6
院内町	-	-	-
安心院町	27.4	22.1	18.2

(3) 専門品についての買物先出向状況

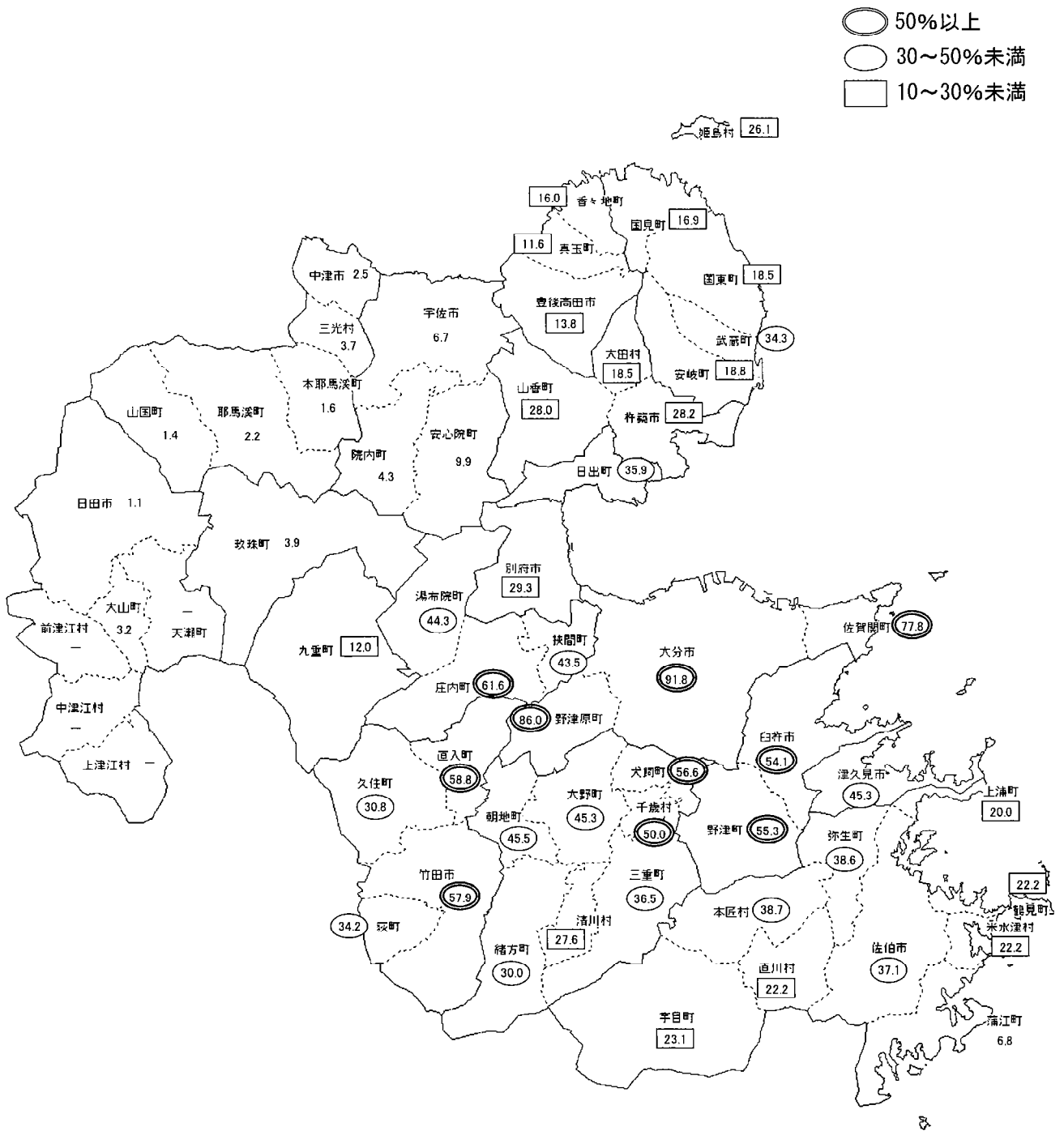
①専門品についての買物先出向状況をみると、以下のような主な商圏が形成されている。

商 圏	中心となる市町	含まれる市町村（中心となる市町に10%以上出向している市町村）
大分商圏	大分市(91.8%)	中津市・日田市・宇佐市・蒲江町・玖珠町・前津江村・中津江村・上津江村・大山町・天瀬町・三光村・本耶馬溪町・耶馬溪町・山国町・院内町・安心院町を除く市町村
別府商圏	別府市(68.1%)	日出町(35.4%)、大田村(29.6%)、安岐町(26.1%)、武蔵町(25.7%)、湯布院町(23.0%)、国東町(21.5%)、山香町(20.0%)、杵築市(15.5%)、佐賀関町(11.1%)
臼杵商圏	臼杵市(40.7%)	津久見市(17.4%)、野津町(15.8%)
佐伯商圏	佐伯市(58.3%)	蒲江町(81.4%)、米水津村(72.2%)、鶴見町(71.1%)、直川村(66.7%)、上浦町(52.7%)、弥生町(52.6%)、本匠村(51.6%)、宇目町(21.2%)
三重商圏	三重町(60.3%)	清川村(56.9%)、千歳村(44.4%)、宇目町(38.5%)、大野町(32.1%)、犬飼町(26.4%)、緒方町(23.3%)
竹田商圏	竹田市(33.3%)	荻町(34.2%)、久住町(33.8%)、緒方町(30.0%)、朝地町(27.3%)、直入町(20.6%)
中津商圏	中津市(68.1%)	本耶馬溪町(56.3%)、耶馬溪町(51.1%)、三光村(44.4%)、豊後高田市(26.0%)、宇佐市(24.4%)、院内町(21.7%)、香々地町(20.0%)、真玉町(18.8%)、山国町(18.1%)、安心院町(17.6%)、姫島村(15.9%)、国見町(15.7%)
宇佐商圏	宇佐市(54.3%)	院内町(60.9%)、安心院町(33.0%)、豊後高田市(24.4%)、香々地町(24.0%)、真玉町(18.8%)、国見町(18.1%)
豊後高田商圏	豊後高田市 (21.1%)	真玉町(29.0%)、香々地町(16.0%)
杵築商圏	杵築市(50.7%)	安岐町(20.3%)、大田村(18.5%)、武蔵町(14.3%)、国東町(10.8%)
日田商圏	日田市(78.9%)	天瀬町(86.2%)、前津江村(70.0%)、上津江村(61.1%)、山国町(55.6%)、大山町(52.4%)、中津江村(50.0%)、玖珠町(19.6%)、久重町(18.7%)

(注)複数の商圏に含まれる市町村もある。

②前回の地元購入率との比較でみると、増加が目立つ地域として、湯布院町(7.3%→24.6%、17.3ポイント増)、三光村(31.4%→48.1%、16.7ポイント増)、玖珠町(40.6%→56.9%、16.3ポイント増)、安心院町(13.3%→28.6%、15.3ポイント増)があげられる(図Ⅲ-2-9・10)。

(図Ⅲ-2-8) 専門品の出向マップ(その2 大分市への出向)



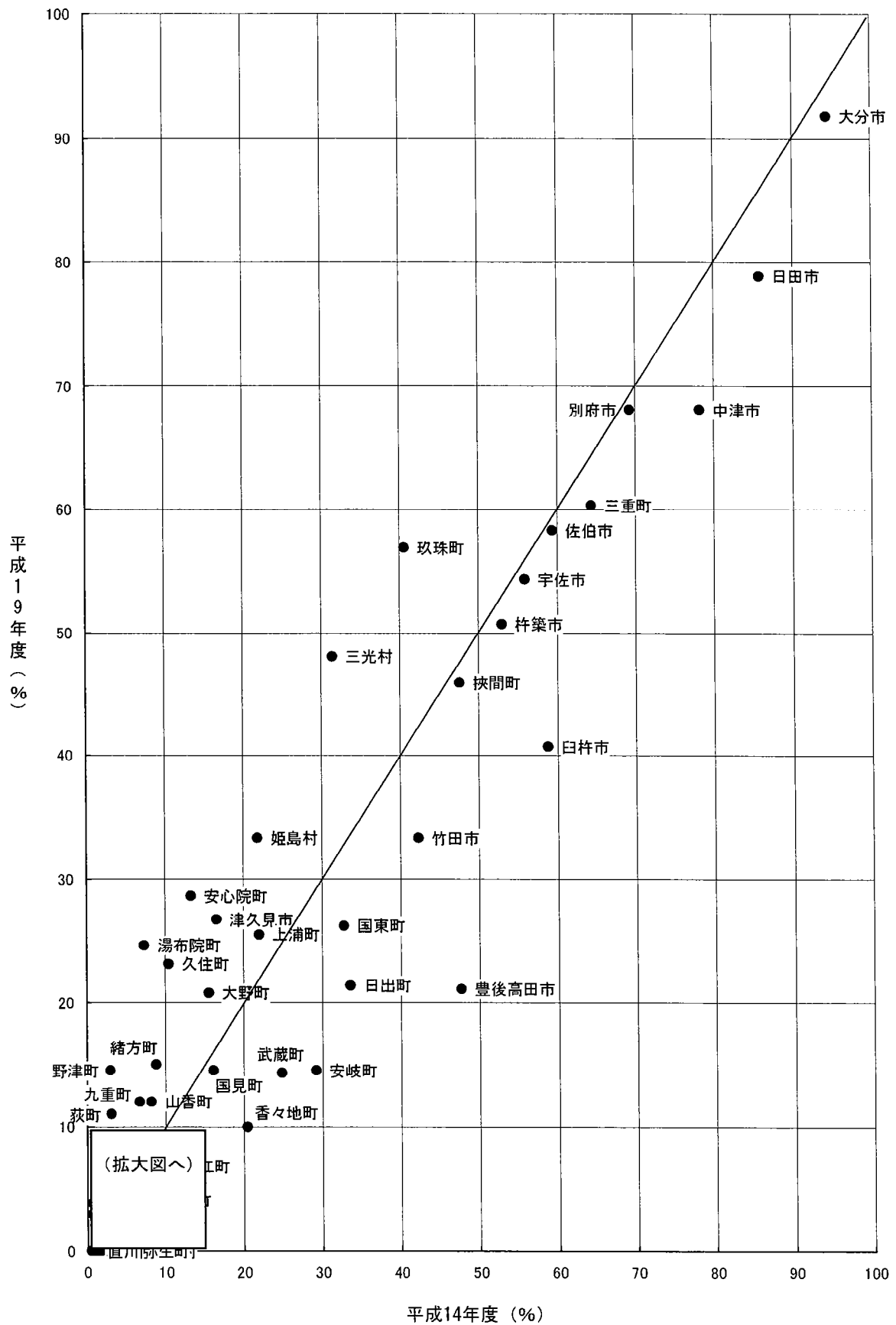
(表Ⅲ-2-7)市町村別にみた流出入先市町村(専門品-その1)

【流入市町村-10%以上】											地元購入率	【流出市町村-10%以上】												
(図Ⅲ-2-8)専門品の出向マップ(その2 大分市への出向を参照)											大分市													
											91.8	別府市	大分市											
											68.1	68.1	29.3											
本耶馬溪町	耶馬溪町	三光村	豊後高田市	宇佐市	院内町	香々地町	真玉町	山国町	安心院町	姫島村	国見町	中津市	三光村											
56.3	51.1	44.4	26.0	24.4	21.7	20.0	18.8	18.1	17.6	15.9	15.7	68.1	16.8											
											86.2	70.0	61.1	55.6	52.4	50.0	19.6	18.7	78.9	13.7				
											81.4	72.2	71.1	66.7	52.7	52.6	51.6	21.2	58.3	37.1				
																	17.4	15.8	40.7	54.1				
																			26.7	45.3	17.4			
																			33.3	57.9				
																			21.1	26.0	24.4	13.8		
																			50.7	28.2	15.5			
																			54.3	24.4	10.4			
																			3.7	29.6	18.5	18.5		
																			0.7	29.0	18.8	18.8	11.6	
																			10.0	24.0	20.0	16.0	16.0	
																			14.5	18.1	16.9	15.7		
																			33.3	26.1	15.9			
																			26.2	21.5	18.5	13.8	10.8	
																			14.5	13.8	14.3	34.3	25.7	14.3
																			14.5	26.1	20.3	18.8	14.5	
																			12.0	21.4	35.9	35.4		
																			12.0	28.0	20.0	12.0		
																			4.7	86.0				
																			32.9	45.9	43.5			
																			4.1	61.6	32.9			
																			24.6	44.3	23.0			
																			6.7	77.8	11.1			
																			25.5	52.7	20.0			
																			-	52.6	38.6			

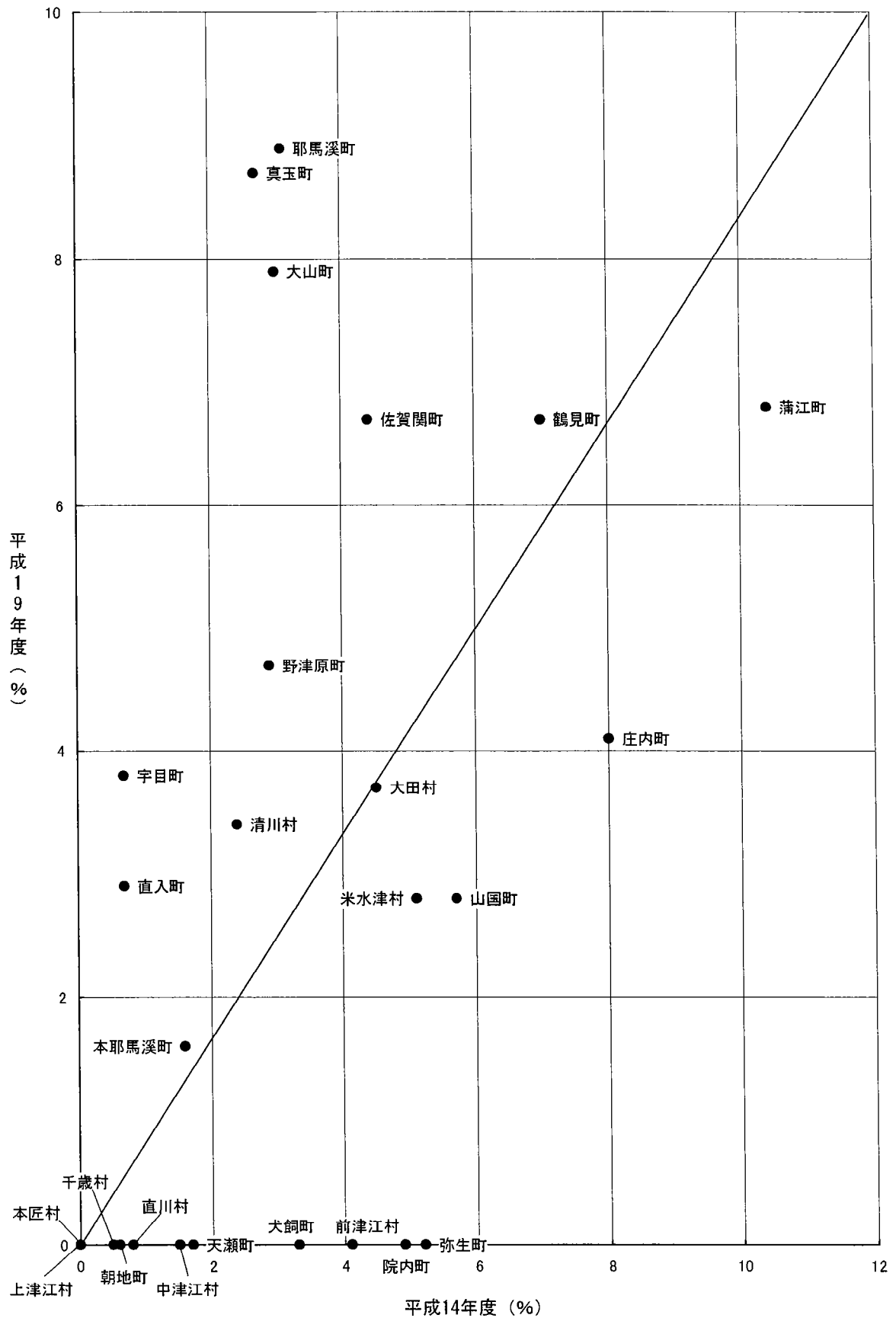
(表Ⅲ-2-7)市町村別にみた流出入先市町村(専門品-その2)

【流入市町村-10%以上】							地元購入率	【流出市町村-10%以上】				
							本匠村	佐伯市	大分市			
							-	51.6	38.7			
							宇目町	三重町	大分市	佐伯市		
							3.8	38.5	23.1	21.2		
							直川村	佐伯市	大分市			
							-	66.7	22.2			
							鶴見町	佐伯市	大分市			
							6.7	71.1	22.2			
							米水津村	佐伯市	大分市			
							2.8	72.2	22.2			
							蒲江町	佐伯市				
							6.8	81.4				
							野津町	大分市	臼杵市			
							14.5	55.3	15.8			
清川村	千歳村	宇目町	大野町	犬飼町	緒方町		三重町	大分市				
56.9	44.4	38.5	32.1	26.4	23.3		60.3	36.5				
							清川村	三重町	大分市			
							3.4	56.9	27.6			
							緒方町	大分市	竹田市	三重町		
							15.0	30.0	30.0	23.3		
							朝地町	大分市	竹田市			
							-	45.5	27.3			
							大野町	大分市	三重町			
							20.8	45.3	32.1			
							千歳村	大分市	三重町			
							-	50.0	44.4			
							犬飼町	大分市	三重町			
							-	56.6	26.4			
							荻町	大分市	竹田市			
							11.0	34.2	34.2			
							久住町	竹田市	大分市			
							23.1	33.8	30.8			
							直入町	大分市	竹田市			
							2.9	58.8	20.6			
							九重町	玖珠町	日田市	大分市		
							12.0	42.7	18.7	12.0		
							九重町	玖珠町	日田市	無店舗販売		
							42.7	56.9	19.6	13.7		
							前津江村	日田市	福岡県	無店舗販売		
							-	70.0	20.0	10.0		
							中津江村	日田市	福岡県	熊本県		
							-	50.0	31.8	18.2		
							上津江村	日田市	熊本県			
							-	61.1	33.3			
							大山町	日田市	福岡県			
							7.9	52.4	17.5			
							天瀬町	日田市				
							-	86.2				
本耶馬溪町	耶馬溪町	中津市	山国町	院内町	宇佐市		三光村	中津市				
31.3	28.9	16.8	13.9	10.9	10.4		48.1	44.4				
							本耶馬溪町	中津市	三光村			
							1.6	56.3	31.3			
							耶馬溪町	中津市	三光村			
							8.9	51.1	28.9			
							山国町	日田市	中津市	三光村		
							2.8	55.6	18.1	13.9		
							院内町	宇佐市	中津市	三光村		
							-	60.9	21.7	10.9		
							安心院町	宇佐市	中津市			
							28.6	33.0	17.6			

(図Ⅲ-2-9) 専門品の地元購入率の推移(その1)



(図Ⅲ-2-10) 専門品の地元購入率の推移(その2 拡大図)



(4) 贈答品についての買物先出向状況

①贈答品についての買物先出向状況をみると、以下のような主な商圈が形成されている。

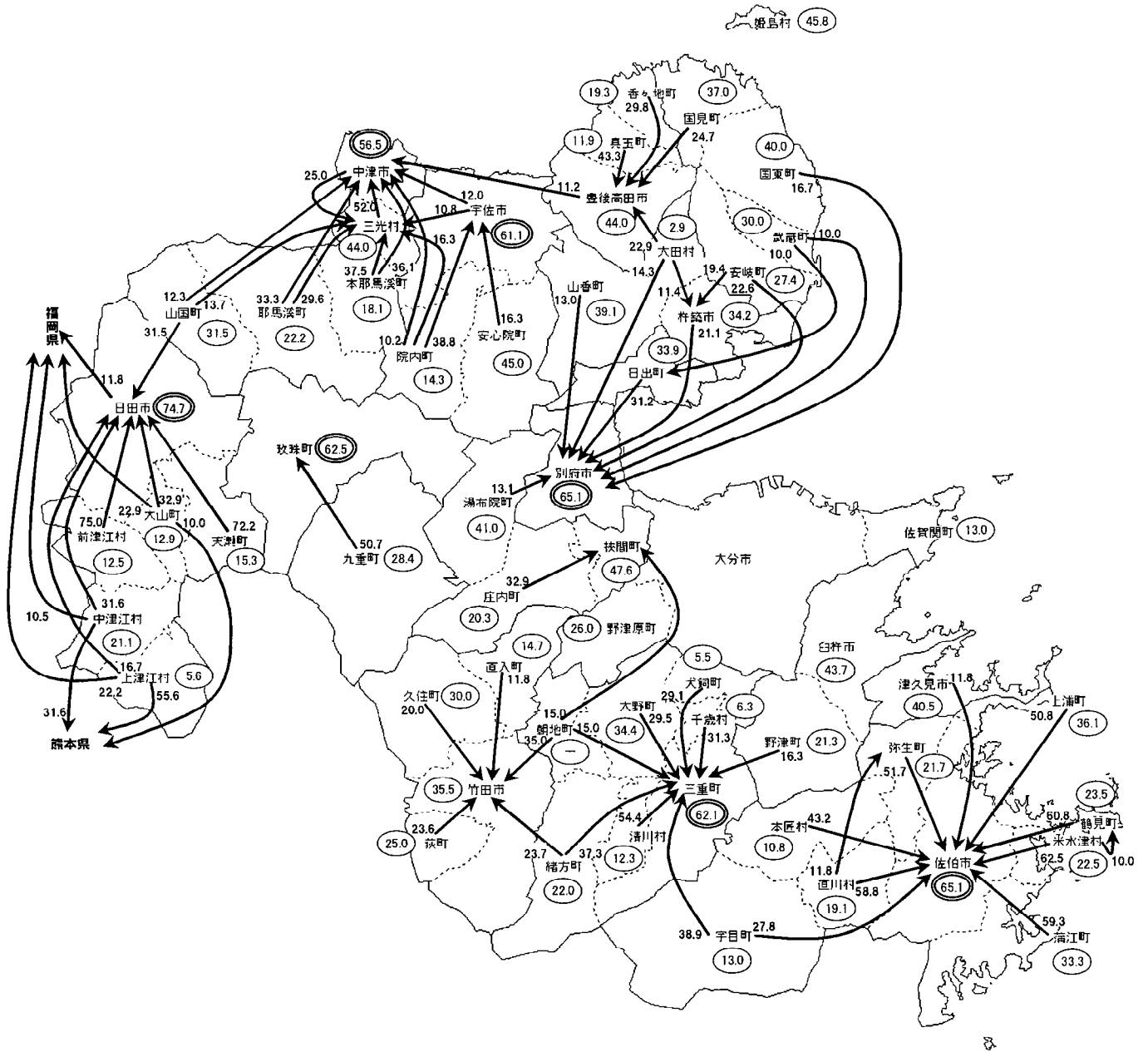
商 圏	中心となる市町	含まれる市町村 (中心となる市町に 10%以上出向している市町村)
大分商圈	大分市(95.2%)	中津市・日田市・宇佐市・宇目町・直川村・米水津村・蒲江町・中津江村・上津江村・大山町・天瀬町・三光村・本耶馬溪町・耶馬溪町・山国町・院内町を除く市町村
別府商圈	別府市(65.1%)	日出町(31.2%)、安岐町(22.6%)、杵築市(21.1%)、国東町(16.7%)、大田村(14.3%)、湯布院町(13.1%)、山香町(13.0%)、武蔵町(10.0%)、
佐伯商圈	佐伯市(65.1%)	米水津村(62.5%)、鶴見町(60.8%)、蒲江町(59.3%)、直川村(58.8%)、弥生町(51.7%)、上浦町(50.8%)、本匠村(43.2%)、宇目町(27.8%)、津久見市(11.8%)
三重商圈	三重町(62.1%)	清川村(54.4%)、宇目町(38.9%)、緒方町(37.3%)、千歳村(31.3%)、大野町(29.5%)、犬飼町(29.1%)、野津町(16.3%)、朝地町(15.0%)
竹田商圈	竹田市(35.5%)	朝地町(35.0%)、久住町(20.0%)、緒方町(23.7%)、荻町(23.6%)、直入町(11.8%)
中津商圈	中津市(56.5%)	三光村(52.0%)、本耶馬溪町(36.1%)、耶馬溪町(33.3%)、山国町(12.3%)、宇佐市(12.0%)、豊後高田市(11.2%)、院内町(10.2%)、
宇佐商圈	宇佐市(61.1%)	院内町(38.8%)、安心院町(16.3%)、
豊後高田商圈	豊後高田市 (44.0%)	真玉町(43.3%)、香々地町(29.8%)、大田村(22.9%)、国見町(24.7%)
日田商圈	日田市(74.7%)	前津江村(75.0%)、天瀬町(72.2%)、大山町(32.9%)、中津江村(31.6%)、山国町(31.5%)、上津江村(16.7%)、
玖珠商圈	玖珠町(62.5%)	九重町(50.7%)

(注)複数の商圈に含まれる市町村もある。

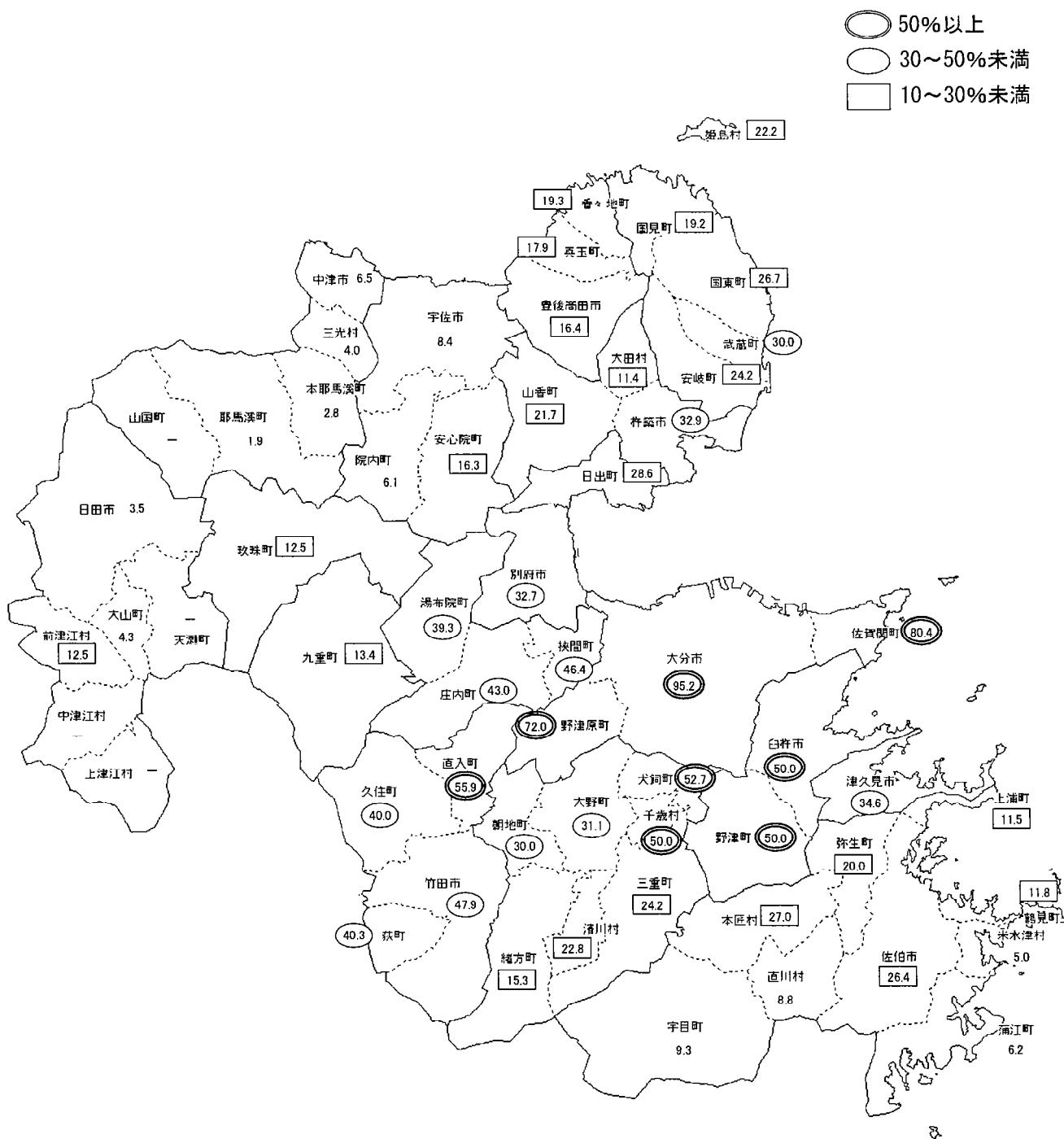
②前回の地元購入率との比較でみると、増加が目立つ地域として、宇佐市 (47.4%→61.1%、13.7ポイント増)、大野町 (23.2%→34.4%、11.2ポイント増)、姫島村 (35.3%→45.8%、10.5ポイント増) があげられる (図Ⅲ-2-13・14)。

(図Ⅲ-2-11)贈答品の出向マップ(その1 大分市への出向を除く)

○内は地元購入率
 (○は50%以上)



(図Ⅲ-2-12)贈答品の出向マップ(その2 大分市への出向)



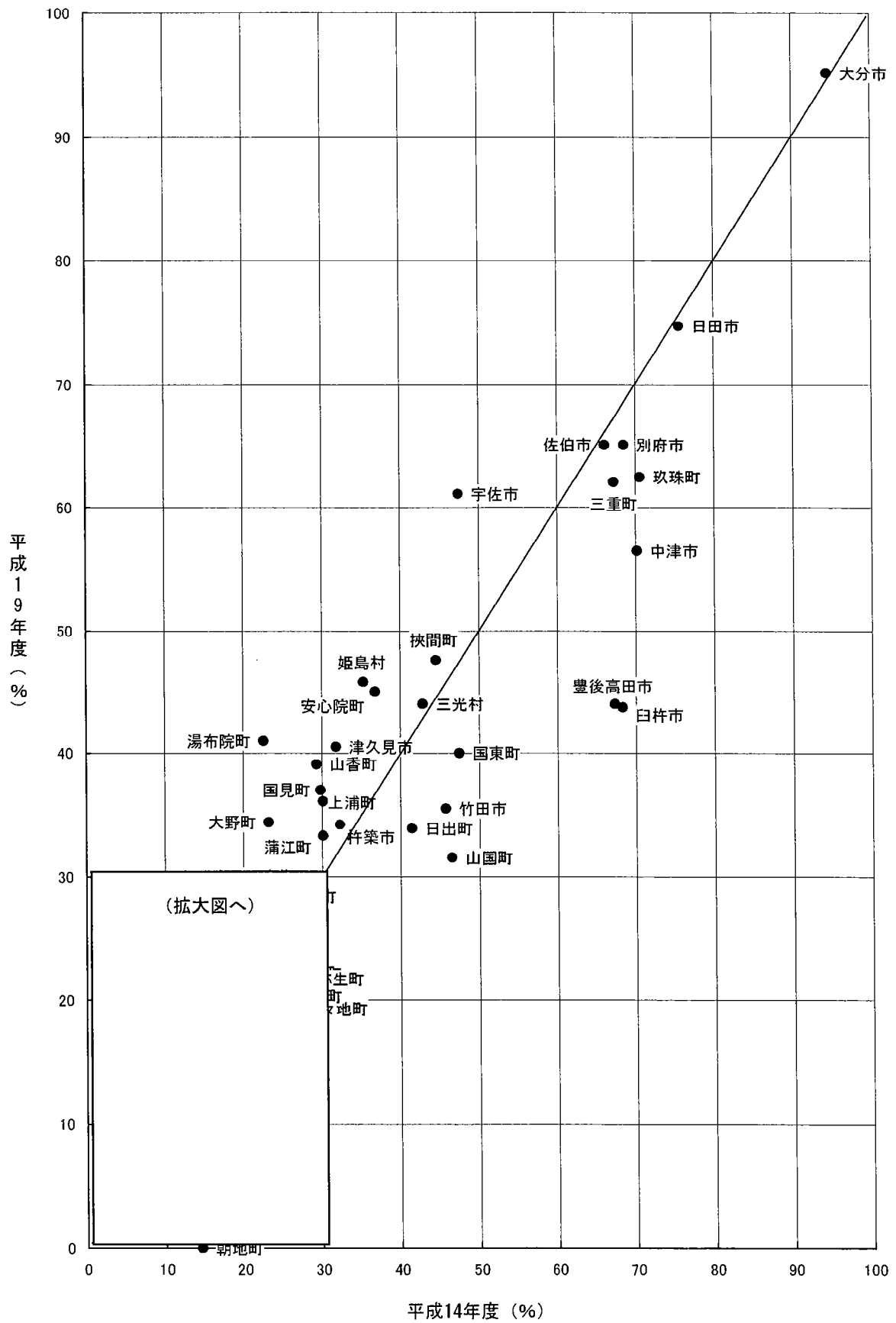
(表Ⅲ-2-9)市町村別にみた流出入先市町村(贈答品-その1)

【流入市町村-10%以上】										地元購入率	【流出市町村-10%以上】				
(図Ⅲ-2-12)贈答品の出向マップ(その2 大分市への出向)を参照										大分市					
日出町	安岐町	杵築市	国東町	大田村	湯布院町	山香町	武蔵町	別府市	大分市	95.2	別府市	大分市			
31.2	22.6	21.1	16.7	14.3	13.1	13.0	10.0	65.1	32.7	65.1	32.7				
	三光村	本耶馬溪町	耶馬溪町	山国町	宇佐市	豊後高田市	院内町	56.5	25.0	56.5	25.0	中津市	三光村		
		前津江村	天瀬町	大山町	中津江村	山国町	上津江村	74.7	11.8	74.7	11.8	日田市	福岡県		
			75.0	72.2	32.9	31.6	31.5	16.7	65.1	26.4	65.1	26.4	佐伯市	大分市	
米水津村	鶴見町	蒲江町	直川村	弥生町	上浦町	本匠村	宇目町	津久見市	43.7	50.0	43.7	50.0	臼杵市	大分市	
62.5	60.8	59.3	58.8	51.7	50.8	43.2	27.8	11.8	40.5	34.6	40.5	34.6	津久見市	大分市	佐伯市
									35.5	47.9	35.5	47.9	竹田市	大分市	
				朝地町	緒方町	萩町	久住町	直入町	44.0	16.4	44.0	16.4	豊後高田市	大分市	中津市
				35.0	23.7	23.6	20.0	11.8	34.2	32.9	34.2	32.9	杵築市	大分市	別府市
					真玉町	香々地町	国見町	大田村	61.1	12.0	61.1	12.0	宇佐市	中津市	三光村
					43.3	29.8	24.7	22.9	29.9	14.3	29.9	14.3	大田村	豊後高田市	別府市
							安岐町	大田村	29.9	11.4	29.9	11.4	真玉町	豊後高田市	大分市
							19.4	11.4	19.3	19.3	19.3	19.3	院内町	安心院町	宇佐市
							38.8	16.3	37.0	24.7	37.0	24.7	大田村	豊後高田市	大分市
									45.8	22.2	45.8	22.2	真玉町	豊後高田市	大分市
									40.0	26.7	40.0	26.7	香々地町	豊後高田市	大分市
									30.0	30.0	30.0	30.0	国見町	豊後高田市	大分市
									27.4	24.2	27.4	24.2	姫島村	大分市	
									10.0	33.9	10.0	33.9	国東町	大分市	別府市
									39.1	21.7	39.1	21.7	武蔵町	大分市	別府市
									26.0	72.0	26.0	72.0	安岐町	大分市	別府市
									47.6	46.4	47.6	46.4	日出町	別府市	大分市
									20.3	43.0	20.3	43.0	山香町	大分市	別府市
									41.0	39.3	41.0	39.3	野津原町	大分市	
									13.0	80.4	13.0	80.4	庄内町	大分市	挾間町
									36.1	50.8	36.1	50.8	湯布院町	大分市	別府市
									11.8	21.7	11.8	21.7	佐賀関町	大分市	
										51.7		51.7	上浦町	佐伯市	大分市
										11.5		11.5	直川村	弥生町	佐伯市
										20.0		20.0			大分市

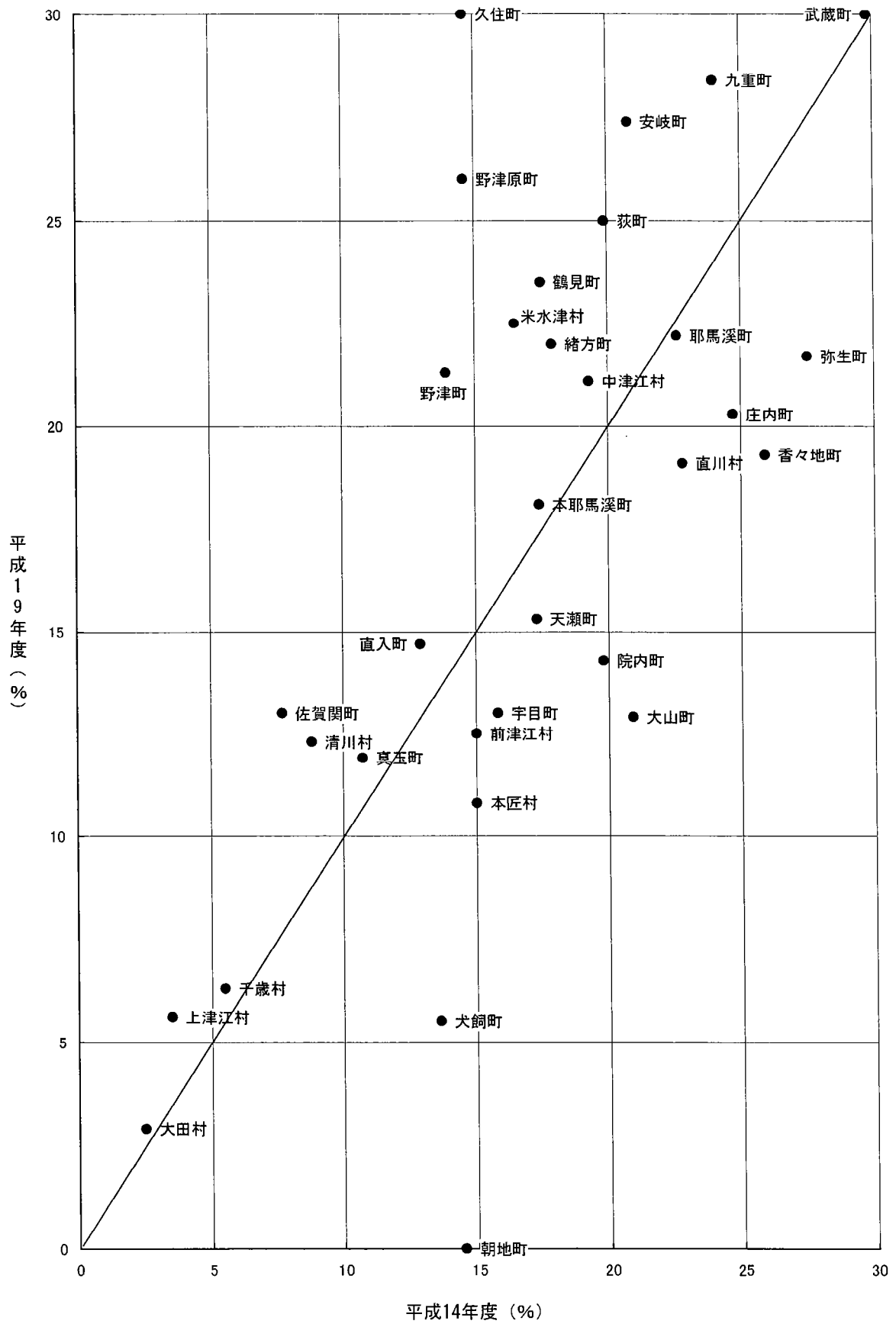
(表Ⅲ-2-9)市町村別にみた流出入先市町村(贈答品-その2)

【流入市町村-10%以上】								地元購入率	【流出市町村-10%以上】						
								本匠村	佐伯市	大分市	無店舗販売				
								10.8	43.2	27.0	10.8				
								宇目町	三重町	佐伯市					
								13.0	38.9	27.8					
								直川村	佐伯市	弥生町					
								19.1	58.8	11.8					
								米水津村	鶴見町	佐伯市	大分市				
								10.0	23.5	60.8	11.8				
								米水津村	佐伯市	鶴見町					
								22.5	62.5	10.0					
								蒲江町	佐伯市						
								33.3	59.3						
								野津町	大分市	三重町					
								21.3	50.0	16.3					
清川村	宇目町	緒方町	千歳村	大野町	犬飼町	野津町	朝地町	三重町	大分市						
54.4	38.9	37.3	31.3	29.5	29.1	16.3	15.0	62.1	24.2						
								清川村	三重町	大分市					
								12.3	54.4	22.8					
								緒方町	三重町	竹田市	大分市				
								22.0	37.3	23.7	15.3				
								朝地町	竹田市	大分市	狭間町	三重町			
								-	35.0	30.0	15.0	15.0			
								大野町	大分市	三重町					
								34.4	31.1	29.5					
								千歳村	大分市	三重町					
								6.3	50.0	31.3					
								犬飼町	大分市	三重町					
								5.5	52.7	29.1					
								荻町	大分市	竹田市					
								25.0	40.3	23.6					
								久住町	大分市	竹田市					
								30.0	40.0	20.0					
								直入町	大分市	竹田市					
								14.7	55.9	11.8					
								九重町	玖珠町	大分市					
								28.4	50.7	13.4					
								九重町	玖珠町	大分市	無店舗販売				
								50.7	62.5	12.5	10.0				
								前津江村	日田市	大分市					
								12.5	75.0	12.5					
								中津江村	日田市	熊本県	福岡県				
								21.1	31.6	31.6	10.5				
								上津江村	熊本県	福岡県	日田市				
								5.6	55.6	22.2	16.7				
								大山町	日田市	福岡県	熊本県				
								12.9	32.9	22.9	10.0				
								天瀬町	日田市						
								15.3	72.2						
本耶馬溪町	耶馬溪町	中津市	院内町	山国町	宇佐市			三光村	中津市						
37.5	29.6	25.0	16.3	13.7	10.8			44.0	52.0						
								本耶馬溪町	三光村	中津市					
								18.1	37.5	36.1					
								耶馬溪町	中津市	三光村					
								22.2	33.3	29.6					
								山国町	日田市	三光村	中津市				
								31.5	31.5	13.7	12.3				
								院内町	宇佐市	三光村	中津市				
								14.3	38.8	16.3	10.2				
								安心院町	宇佐市	大分市					
								45.0	16.3	16.3					

(図Ⅲ-2-13)贈答品の地元購入率の推移(その1)



(図Ⅲ-2-14)贈答品の地元購入率の推移(その2 拡大図)



(5) 地元購入率の推移

(表Ⅲ-2-11) 地元購入率の推移

(数値:%)

	最寄品			買回品			専門品			贈答品	
	平成9年度	平成14年度	平成19年度	平成9年度	平成14年度	平成19年度	平成9年度	平成14年度	平成19年度	平成14年度	平成19年度
大分市	99.3	90.0	90.3	98.6	93.4	92.4	98.6	94.4	91.8	94.6	95.2
別府市	93.6	92.9	91.6	79.1	59.8	60.3	86.4	69.3	68.1	68.5	65.1
中津市	85.0	83.8	73.7	80.7	62.6	50.7	85.9	78.2	68.1	70.2	56.5
日田市	95.6	95.5	92.3	93.9	65.3	65.7	95.3	85.8	78.9	75.6	74.7
佐伯市	93.2	92.3	88.6	80.1	52.9	55.4	91.8	59.4	58.3	66.1	65.1
臼杵市	93.3	95.6	84.1	56.3	47.5	36.5	70.4	58.8	40.7	68.3	43.7
津久見市	73.4	53.6	65.5	35.4	11.2	22.3	56.3	16.5	26.7	31.8	40.5
竹田市	74.0	82.8	86.5	44.6	32.9	33.7	52.1	42.3	33.3	45.7	35.5
豊後高田市	76.1	88.7	74.0	38.4	40.7	31.1	41.5	47.7	21.1	67.3	44.0
杵築市	83.8	87.9	83.6	44.0	31.8	40.9	59.0	53.0	50.7	32.3	34.2
宇佐市	81.7	79.8	88.4	59.0	29.1	52.7	65.8	55.9	54.3	47.4	61.1
大田村	18.6	3.0	7.9	-	-	-	6.9	4.5	3.7	2.5	2.9
真玉町	31.3	16.3	37.8	0.4	2.2	5.0	-	2.7	8.7	10.7	11.9
香々地町	35.6	26.0	31.3	1.0	15.2	11.7	10.8	20.4	10.0	25.9	19.3
国見町	35.8	28.0	30.9	6.4	15.6	14.6	11.5	16.1	14.5	29.8	37.0
姫島村	53.2	33.3	64.0	4.1	9.0	28.3	10.3	21.8	33.3	35.3	45.8
国東町	73.4	84.8	67.7	51.6	38.2	39.5	39.7	32.8	26.2	47.5	40.0
武蔵町	46.7	55.4	51.5	5.0	6.9	12.7	24.2	24.8	14.3	29.8	30.0
安岐町	58.7	58.5	65.6	5.2	9.1	17.3	16.8	29.2	14.5	20.8	27.4
日出町	71.6	79.1	71.0	47.2	32.2	31.9	20.3	33.6	21.4	41.4	33.9
山香町	42.4	32.5	50.0	17.7	12.6	24.0	6.9	8.2	12.0	29.3	39.1
野津原町	13.9	20.2	30.2	-	1.9	2.1	0.4	2.9	4.7	14.6	26.0
挾間町	32.6	85.1	65.6	2.2	48.3	53.4	5.3	47.6	45.9	44.5	47.6
庄内町	55.5	50.4	40.8	9.7	16.0	12.8	4.5	8.0	4.1	24.7	20.3
湯布院町	43.4	49.1	60.9	14.9	8.4	25.4	13.6	7.3	24.6	22.6	41.0
佐賀関町	18.2	26.1	23.4	3.0	1.9	3.0	4.0	4.4	6.7	7.7	13.0
上浦町	18.6	15.2	32.1	4.8	11.8	16.7	5.4	22.0	25.5	30.1	36.1
弥生町	29.0	39.4	34.8	20.0	9.6	4.3	3.6	5.2	-	27.5	21.7
本匠村	10.8	3.6	6.0	-	0.6	2.0	0.8	-	-	15.0	10.8
宇目町	25.5	20.8	29.4	1.1	3.8	-	1.4	0.7	3.8	15.8	13.0
直川村	38.3	27.7	24.6	2.6	13.1	13.2	1.2	0.8	-	22.8	19.1
鶴見町	33.3	20.1	36.0	-	0.3	1.4	1.6	7.0	6.7	17.5	23.5
米水津村	20.1	9.0	23.5	10.3	2.8	0.9	4.3	5.1	2.8	16.5	22.5
蒲江町	34.9	27.8	43.8	1.4	8.9	6.8	2.4	10.4	6.8	30.1	33.3
野津町	43.1	35.1	37.3	11.2	6.6	9.6	6.9	3.0	14.5	13.9	21.3
三重町	91.2	93.0	92.2	53.6	55.4	60.4	69.5	64.4	60.3	67.2	62.1
清川村	9.2	11.2	5.9	1.4	3.9	1.6	-	2.4	3.4	8.8	12.3
緒方町	36.4	39.1	35.4	25.6	22.7	17.5	7.5	8.8	15.0	17.9	22.0
朝地町	34.6	23.1	4.5	2.1	3.6	-	-	0.6	-	14.5	-
大野町	24.6	28.6	46.0	4.3	13.2	10.4	5.7	15.5	20.8	23.2	34.4
千歳村	12.7	6.7	15.8	-	0.7	-	1.4	0.5	-	5.5	6.3
大飼町	20.4	19.4	17.4	4.7	6.3	1.7	4.7	3.3	-	13.6	5.5
荻町	21.9	23.8	31.0	2.9	3.6	6.9	2.8	3.1	11.0	19.9	25.0
久住町	33.7	17.2	35.7	16.3	8.1	12.6	10.1	10.4	23.1	14.6	30.0
直入町	16.7	16.3	19.4	-	5.1	8.1	1.6	0.7	2.9	12.9	14.7
九重町	23.5	20.4	31.5	3.0	5.3	8.5	6.8	6.7	12.0	24.0	28.4
玖珠町	82.1	91.4	88.0	50.5	48.3	54.7	59.9	40.6	56.9	70.6	62.5
前津江村	4.0	2.7	31.0	-	1.5	-	3.0	4.1	-	15.0	12.5
中津江村	14.3	15.5	17.6	-	6.8	3.3	-	1.5	-	19.3	21.1
上津江村	11.1	2.9	-	-	-	-	-	-	-	3.5	5.6
大山町	15.9	14.1	14.8	0.3	-	9.0	1.8	3.0	7.9	20.9	12.9
天瀬町	6.0	5.2	3.8	0.2	3.0	1.0	1.7	1.7	-	17.3	15.3
三光村	36.0	42.1	47.4	31.3	33.5	48.2	23.7	31.4	48.1	42.8	44.0
本耶馬溪町	23.2	17.0	21.9	1.6	2.2	1.8	2.5	1.6	1.6	17.4	18.1
耶馬溪町	17.9	19.1	25.0	1.9	2.0	3.8	1.6	3.1	8.9	22.6	22.2
山国町	21.1	34.9	27.7	2.1	14.5	7.5	3.4	5.7	2.8	46.5	31.5
院内町	17.3	22.9	29.9	1.9	2.7	-	3.8	4.9	-	19.8	14.3
安心院町	69.8	53.1	50.8	22.3	18.9	22.7	25.5	13.3	28.6	36.8	45.0

(6) 現市町村から中心旧市町村への買物出向状況

新たに合併した 12 市について、中心旧市町村への買物出向率をみると、大分市は各商品とも 80%台～90%台、日田市でも 60%台～70%台の高い出向率となっている。また、佐伯市についても各商品とも 55%～58%と安定した出向率を示している。中津市、宇佐市、豊後大野市の場合もほぼ 40%前後～50%の買物出向率となっている。臼杵市、竹田市、豊後高田市、杵築市については、最寄品は 50%台～60%台と高いが、買回品や専門品の買物出向率は 20%台～30%台にとどまっている。

由布市と国東市については、最寄品でも 10%台～20%台と低くなっている。

(表Ⅲ-2-12) 現市町村から中心旧市町村への買物出向状況

(数値: %)

居住地 (現市町村)	中心 旧市町村	最寄品	買回品	専門品	贈答品
大分市 ⇒	旧大分市	80.5	90.7	89.6	90.5
中津市 ⇒	旧中津市	40.6	38.3	50.5	39.1
日田市 ⇒	旧日田市	76.9	60.6	72.5	60.8
佐伯市 ⇒	旧佐伯市	57.7	56.2	58.7	55.2
臼杵市 ⇒	旧臼杵市	61.6	28.4	31.8	29.6
竹田市 ⇒	旧竹田市	57.5	32.1	32.2	26.5
豊後高田市 ⇒	旧豊後高田市	58.9	31.8	22.3	40.4
杵築市 ⇒	旧杵築市	55.8	32.7	35.0	23.1
宇佐市 ⇒	旧宇佐市	63.3	39.5	48.8	45.3
豊後大野市 ⇒	旧三重町	50.2	41.9	38.5	40.7
由布市 ⇒	旧庄内町	17.6	5.1	1.4	7.1
国東市 ⇒	旧国東町	25.7	17.2	8.7	12.0

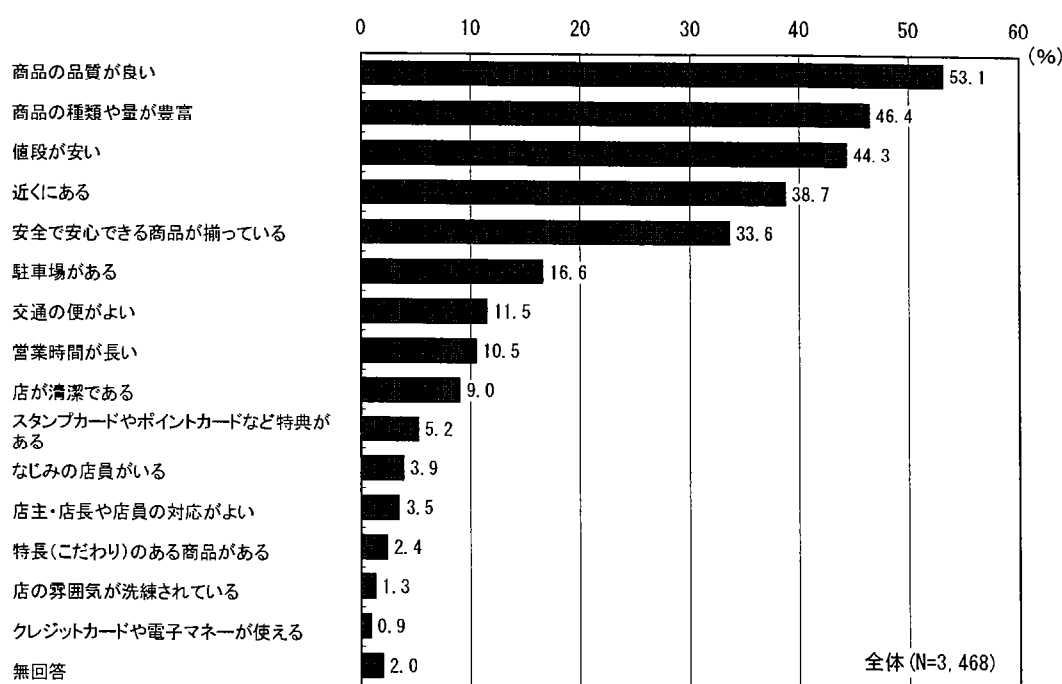
3 商品購入時に重視する点(問3)

(1) 生鮮食品

野菜・果物・鮮魚・精肉などの生鮮食品を購入するとき、どのような点を重視して店を選ぶかについては、「商品の品質が良い」が53.1%と最も高く、次いで「商品の種類や量が豊富」が46.4%、「値段が安い」が44.3%、「近くにある」が38.7%、「安全で安心できる商品が揃っている」が33.6%の順に高くなっており、商品の品質や安全性、価格など商品についての項目を重視する人が多い傾向がみられる。

次に年齢別にみると、20歳代が60.2%、30歳代が58.4%と「値段が安い」が最も高いのに対し、40歳代以上では「商品の品質が良い」が最も高くなっており、年齢が高くなるほど商品の品質を重要視する傾向がみられる。

図Ⅲ-3-1 生鮮食品購入時に重視する点



表Ⅲ-3-1 生鮮食品購入時に重視する点

	サンプル数	(数値:%)																
		商品の品質が良い	商品の種類や量が豊富	値段が安い	近くにある	安全で安心できる商品が揃っている	駐車場がある	交通の便がよい	営業時間が長い	店が清潔である	スタンプカードやポイントカードなど特典がある	なじみの店員がいる	店主・店長や店員の対応がよい	特長(こだわり)のある商品がある	店の雰囲気が洗練されている	クレジットカードや電子マネーが使える	無回答	
全体	3,468	53.1	46.4	44.3	38.7	33.6	16.6	11.5	10.5	9.0	5.2	3.9	3.5	2.4	1.3	0.9	2.0	
年齢別	20歳代	362	42.0	47.2	60.2	40.9	25.4	15.2	11.0	20.2	6.9	2.8	2.2	3.9	2.2	1.7	1.1	1.7
	30歳代	714	53.1	46.1	58.4	38.5	30.4	16.1	11.9	10.8	9.5	5.3	2.5	2.1	1.5	1.7	0.8	0.8
	40歳代	732	55.7	49.6	48.4	37.8	34.3	16.9	12.0	10.5	7.5	4.5	2.7	2.7	2.7	0.8	1.2	1.5
	50歳代	898	56.5	47.7	38.0	37.5	35.4	16.9	11.0	9.2	10.0	6.0	3.9	3.9	2.3	1.3	1.0	2.0
	60歳代以上	742	52.6	42.2	27.0	40.3	37.6	17.5	11.2	7.1	9.7	6.1	7.1	4.6	2.8	1.3	0.4	3.8

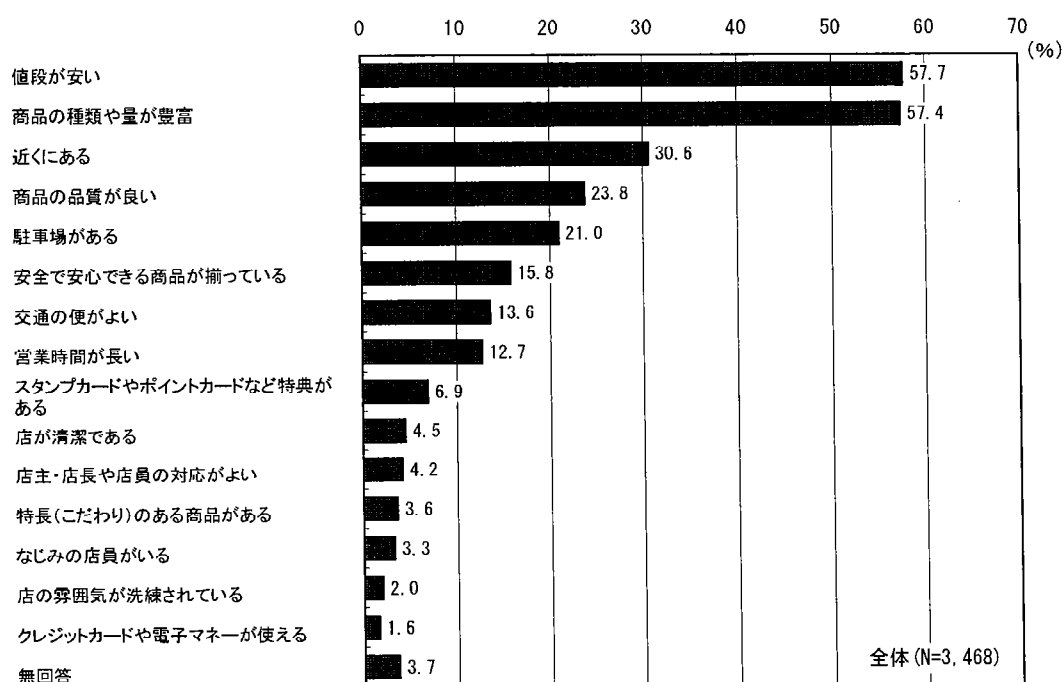
(注) **太字** は全体より5%以上高いもの(「無回答」は除く)。

(2) 日常生活品

生鮮食品以外の食料品、日用雑貨など日常生活品を購入するとき、どのような点を重視して店を選ぶかについては、「値段が安い」が57.7%、「商品の種類や量が豊富」が57.4%とこの2つが群を抜いて高く約6割の人が回答している。

次に年齢別にみると、20歳代が70.7%、30歳代が72.4%、40歳代が66.5%と「値段が安い」が最も高くなっているのに対し、50歳代58.7%、60歳代は46.5%と「商品の種類や量が豊富」が最も高くなっている。また、60歳代は他の年代と比べて「安全で安心できる商品が揃っている」が22.0%と高くなっている。

図Ⅲ-3-2 日常生活用品購入時に重視する点



表Ⅲ-3-2 日常生活用品購入時に重視する点

(数値:%)

	サンプル数	値段が安い	商品の種類や量が豊富	近くにある	商品の品質が良い	駐車場がある	安全で安心できる商品が揃っている	交通の便がよい	営業時間が長い	スタンプカードやポイントカードなど特典がある	店が清潔である	店主・店長や店員の対応がよい	特長(こだわり)のある商品がある	なじみの店員がいる	店の雰囲気が洗練されている	クレジットカードや電子マネーが使える	無回答	
全体	3,468	57.7	57.4	30.6	23.8	21.0	15.8	13.6	12.7	6.9	4.5	4.2	3.6	3.3	2.0	1.6	3.7	
年齢別	20歳代	362	70.7	60.2	29.6	23.2	19.3	12.4	12.4	16.0	6.9	4.4	3.6	4.7	1.9	3.9	1.4	2.5
	30歳代	714	72.4	62.9	31.5	19.3	22.1	9.9	14.7	12.7	7.7	4.2	2.8	3.8	2.1	2.4	2.2	1.1
	40歳代	732	66.5	60.5	28.4	25.1	21.6	14.8	13.5	16.0	6.0	3.7	5.2	3.7	2.0	0.7	1.5	2.2
	50歳代	898	52.9	58.7	29.2	24.2	22.5	17.6	15.9	12.8	7.1	5.5	3.6	3.7	3.9	1.7	2.0	3.1
	60歳代以上	742	34.4	46.5	34.0	26.5	18.6	22.0	10.2	8.1	6.7	4.6	5.5	2.8	5.7	2.4	0.9	8.8

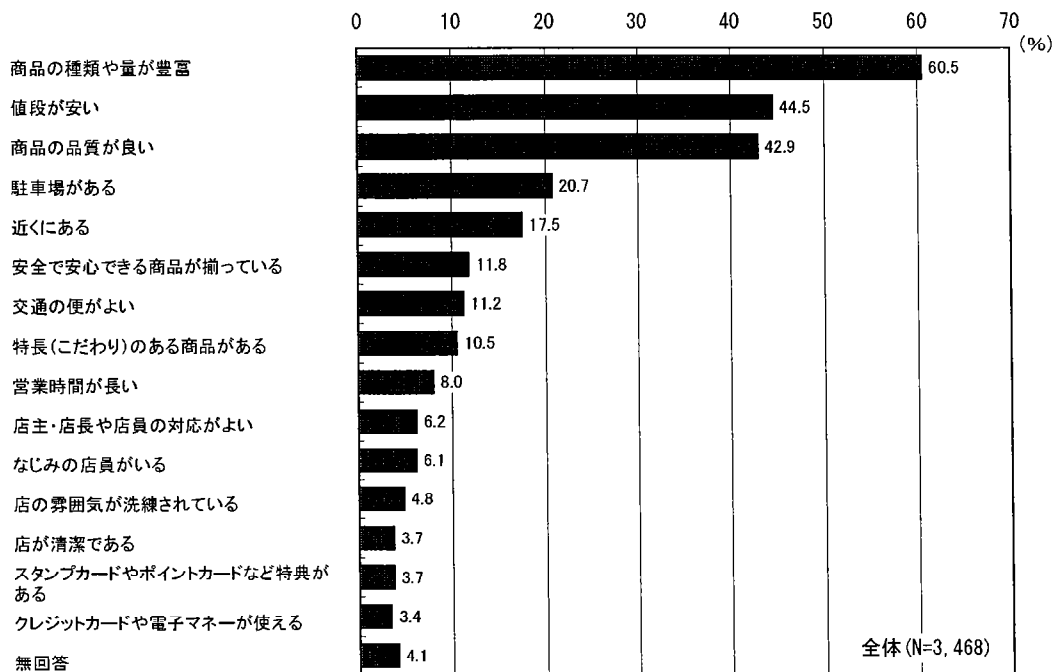
(注) **太字** は全体より5%以上高いもの(「無回答」は除く)。

(3) 衣料品

下着、靴下、普段着などの衣料品を購入するとき、どのような点を重視して店を選ぶかについては、「商品の種類や量が豊富」が60.5%と群を抜いて高く、次いで「値段が安い」が44.5%、「商品の品質が良い」が42.9%の順に高くなっている。

次に年齢別でみると、いずれの年齢層も「商品の種類や量が豊富」が最も高くなっているものの、60歳代以上では46.9%と他の年代よりも低くなっている。また同様に「値段が安い」も28.8%と他の年代と比べて低くなっている。

図Ⅲ-3-3 衣料品購入時に重視する点



表Ⅲ-3-3 衣料品購入時に重視する点

		(数値:%)																
	サンプル数	商品の種類や量が豊富	値段が安い	商品の品質が良い	駐車場がある	近くにある	安全で安心できる商品が揃っている	交通の便が良い	特長(こだわり)のある商品がある	営業時間が長い	店主・店長や店員の対応が良い	なじみの店員がいる	店の雰囲気が洗練されている	店が清潔である	スタンプカードやポイントカードなど特典がある	クレジットカードや電子マネーが使える	無回答	
全	3,468	60.5	44.5	42.9	20.7	17.5	11.8	11.2	10.5	8.0	6.2	6.1	4.8	3.7	3.7	3.4	4.1	
年齢別	20歳代	362	66.0	47.2	48.6	17.4	8.6	9.7	10.8	18.2	9.1	7.7	7.5	6.9	4.7	5.0	3.6	1.7
	30歳代	714	66.0	54.9	40.8	23.2	15.3	7.6	12.0	12.0	6.6	5.5	4.5	6.3	4.8	3.6	3.9	1.5
	40歳代	732	66.1	51.1	44.7	22.8	15.0	10.4	10.8	9.0	10.4	5.5	4.1	3.8	4.0	3.3	4.4	2.6
	50歳代	898	61.1	42.5	43.7	21.4	19.7	13.3	11.5	9.7	8.5	5.1	6.9	4.0	3.2	3.7	3.0	3.5
	60歳代以上	742	46.9	28.8	39.9	17.5	24.0	16.4	10.8	7.8	5.8	8.2	8.0	4.2	2.3	3.8	2.6	9.7

(注) **太字** は全体より5%以上高いもの(「無回答」は除く)。

4 買い物をする時間帯(問4)

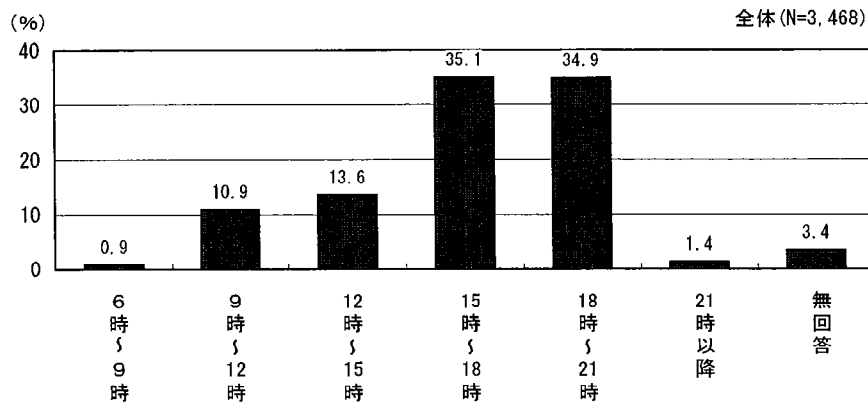
(1) 平日

平日に買い物をする時間帯については、「15時～18時」が35.1%、「18時～21時」が34.9%と、この2つに偏っており、全体の約7割を占めている。

次に年齢別にみると、20歳代から40歳代までは「18時～21時」が最も高く、特に20歳代では64.6%と他の年代を大きく上回っている。「15時～18時」は、50歳代が39.3%、60歳代以上が37.3%と高くなっている。

職業別にみると、「会社員・公務員など」は「18時～21時」が61.6%と最も高く、その他の職業を大きく上回っており、勤務が終了してから買い物をする人が多いためと考えられる。その他の職業はいずれも「15時～18時」が最も高くなっている。

図Ⅲ-4-1 買い物をする時間帯(平日)



表Ⅲ-4-1 買い物をする時間帯(平日)

		サンプル数	6時～9時	9時～12時	12時～15時	15時～18時	18時～21時	21時以降	無回答
全体		3,468	0.9	10.9	13.6	35.1	34.9	1.4	3.4
年齢別	20歳代	362	0.3	1.9	7.7	19.3	64.6	3.0	3.0
	30歳代	714	0.3	7.3	10.1	35.0	42.9	1.4	3.1
	40歳代	732	1.2	8.2	9.8	35.4	40.6	2.3	2.5
	50歳代	898	0.9	10.1	13.0	39.3	31.6	1.0	4.0
	60歳代以上	742	1.3	22.0	24.0	37.3	11.5	0.1	3.8
職業別	会社員・公務員など	1,276	0.8	2.3	4.5	24.3	61.6	2.1	4.5
	パート・アルバイト	608	0.8	8.7	14.3	53.6	20.2	0.8	1.5
	自営業	893	0.7	13.9	19.4	40.6	21.3	1.6	2.6
	農林水産業	62	1.6	27.4	17.7	33.9	12.9	1.6	4.8
	その他	496	1.6	25.6	21.6	30.6	16.7	0.2	3.6

(注) **太字** は全体より5%以上高いもの(「無回答」は除く)。

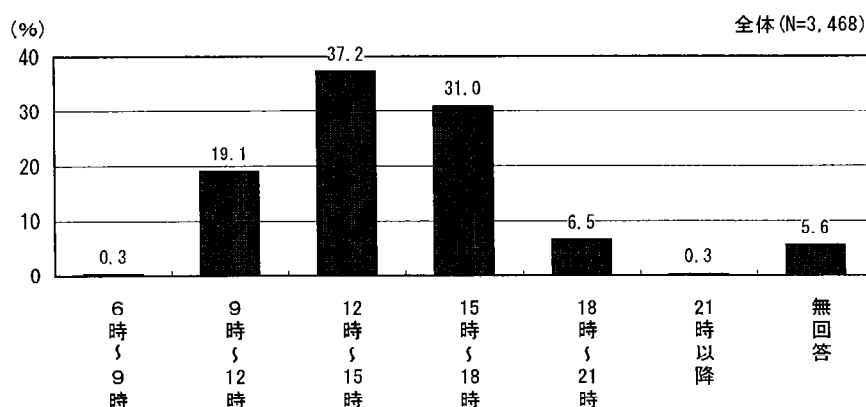
(2) 休日

休日に買い物をする時間帯については、「12時～15時」が37.2%と最も高く、次いで「15時～18時」が31.0%となっており、この2つで全体の7割弱を占めており、平日と比べて全体的に時間帯が早まっている。

次に年齢別にみると、いずれの年代も「12時～15時」が最も高くなっており、特に20歳代では51.4%、30歳代は41.5%と他の年代を上回っている。

職業別にみると、自営業のみ「15時～18時」が34.9%と最も高くなっており、その他の職業はいずれも「12時～15時」が最も高くなっている。

図Ⅲ-4-2 買い物をする時間帯(休日)



表Ⅲ-4-2 買い物をする時間帯(休日)

	サンプル数	6時～9時	9時～12時	12時～15時	15時～18時	18時～21時	21時以降	無回答	
		全体	3,468	0.3	19.1	37.2	31.0	6.5	0.3
年齢別	20歳代	362	0.3	13.0	51.4	24.6	8.0	0.8	1.9
	30歳代	714	0.1	16.0	41.5	33.1	6.6	0.3	2.5
	40歳代	732	-	21.0	35.7	33.7	6.4	0.5	2.6
	50歳代	898	0.6	20.8	35.9	30.4	7.2	0.1	5.0
	60歳代以上	742	0.4	21.4	29.0	30.3	4.9	0.3	13.7
職業別	会社員・公務員など	1,276	0.2	16.8	42.1	32.3	5.7	0.5	2.4
	パート・アルバイト	608	0.2	24.8	37.2	29.6	4.9	0.2	3.1
	自営業	893	0.3	14.9	30.9	34.9	10.0	0.4	8.5
	農林水産業	62	1.6	21.0	29.0	22.6	11.3	-	14.5
	その他	496	0.6	25.4	36.3	26.0	4.2	0.2	7.3

(注) **太字** は全体より5%以上高いもの(「無回答」は除く)。

5 利用している深夜営業、24時間営業店舗の実態(問5)

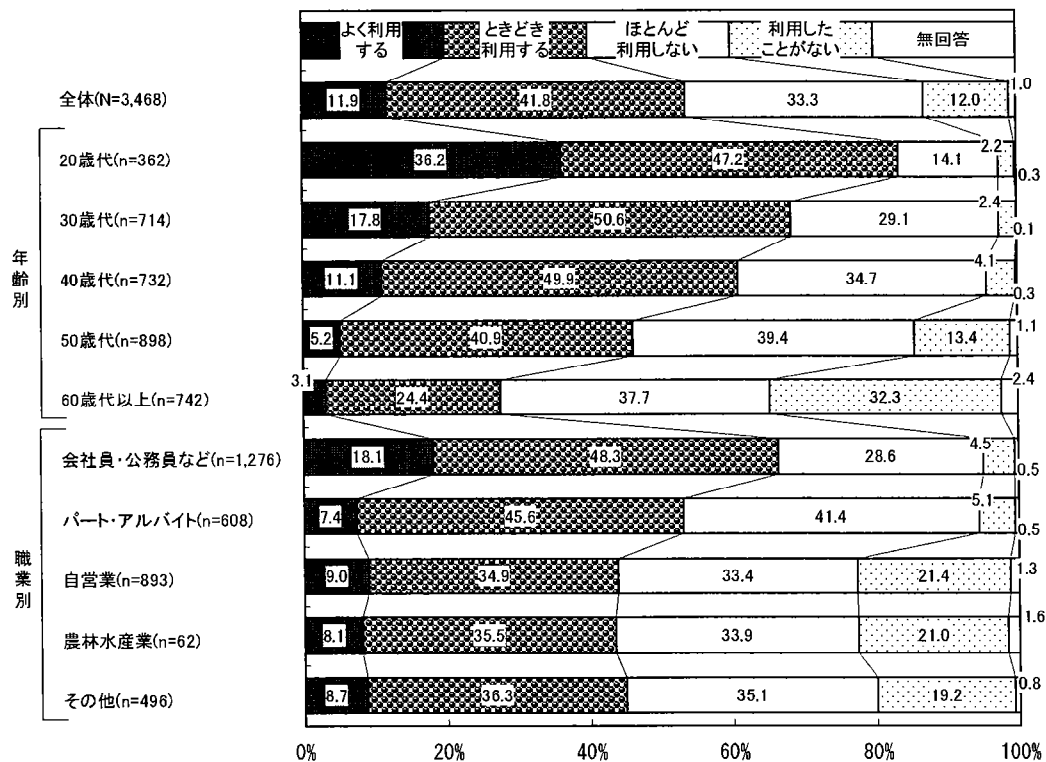
(1) 深夜営業、24時間営業店舗の利用程度

深夜営業(22時以降も開店している店)や24時間営業の店の利用状況を見ると、「よく利用する」が11.9%、「ときどき利用する」が41.8%と、『利用する』と回答した人は全体の半数以上を占めており、2人に1人以上が利用している。

年齢別にみると、『利用する』と回答した人は年齢が低くなるほど多く、特に20歳代では「よく利用する」が36.2%と他の年代を大きく上回っている。

職業別にみると、「会社員・公務員など」で「よく利用する」が18.1%、「ときどき利用する」が48.3%と『利用する』と回答した人が6割以上となっており、他の職業を上回っている。

図Ⅲ-5-1 深夜営業、24時間営業店舗の利用程度



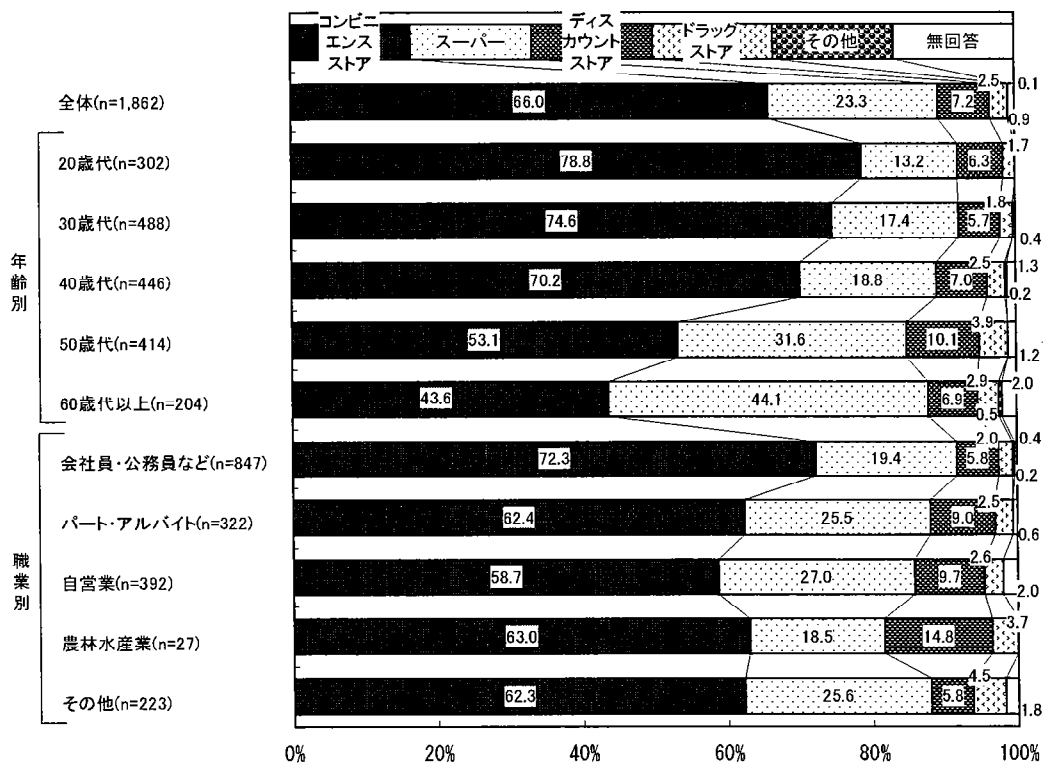
(2) どのような店舗を利用するか

どのような店舗を利用するかについては、「コンビニエンスストア」が66.0%と群を抜いて高く、次いで「スーパー」が23.3%と高くなっている。

年齢別にみると、「コンビニエンスストア」の利用率は年齢が低い人ほど多く、逆に「スーパー」の利用率は年齢が高くなるほど多くなっている。

職業別にみると、いずれの職業も「コンビニエンスストア」の利用率が高いが、中でも「会社員・公務員など」は72.3%と他の職業を大きく上回っている。

図Ⅲ-5-2 深夜営業、24時間営業店舗の利用程度



6 買い物の利便性(問6)

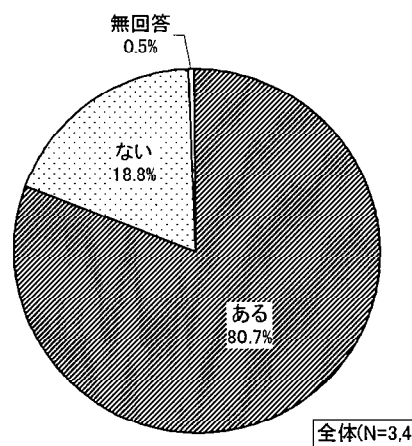
(1) 近隣店舗の有無

日常の買い物をする店が近く(徒歩、車などで10分以内)にあるかどうかは、「ある」が80.7%、「ない」が18.8%と、ほとんどの人が日常の買い物をする店が近くにあると答えている。

表Ⅲ-6-1 近隣店舗の有無

図Ⅲ-6-1 近隣店舗の有無

		(数値:%)			
		サンプル数	ある	ない	無回答
全 体		3,468	80.7	18.8	0.5
大 分 市		307	93.8	5.9	0.3
別 府 市		232	95.3	4.7	-
中 津 市		93	88.2	11.8	-
日 田 市		171	84.2	14.6	1.2
佐 伯 市		110	90.0	10.0	-
臼 杵 市		108	90.7	8.3	0.9
津 久 見 市		110	89.1	10.9	-
竹 田 市		85	76.5	22.4	1.2
豊 後 高 田 市		68	88.2	11.8	-
杵 築 市		52	94.2	5.8	-
宇 佐 市		142	92.3	7.7	-
大 田 村		18	22.2	77.8	-
真 玉 町		39	76.9	23.1	-
香 々 地 町		28	75.0	21.4	3.6
国 見 町		49	89.8	10.2	-
姫 島 村		57	96.5	1.8	1.8
国 東 町		47	76.6	23.4	-
武 蔵 町		20	100.0	-	-
安 岐 町		53	81.1	18.9	-
日 出 町		129	86.0	13.2	0.8
山 香 町		14	85.7	14.3	-
野 津 原 町		45	57.8	42.2	-
挾 間 町		72	91.7	8.3	-
庄 内 町		58	81.0	19.0	-
湯 布 院 町		45	86.7	13.3	-
佐 賀 岡 町		45	64.4	35.6	-
上 浦 町		46	54.3	41.3	4.3
弥 生 町		46	87.0	10.9	2.2
本 匠 村		22	45.5	54.5	-
宇 目 町		47	78.7	21.3	-
直 川 村		53	83.0	17.0	-
鶴 見 町		38	78.9	21.1	-
米 水 津 村		30	70.0	30.0	-
蒲 江 町		50	18.0	80.0	2.0
野 津 町		52	88.5	11.5	-
三 重 町		60	96.7	3.3	-
清 川 村		48	52.1	47.9	-
緒 方 町		44	90.9	2.3	6.8
朝 地 町		12	58.3	41.7	-
大 野 町		49	79.6	18.4	2.0
千 歳 村		16	50.0	43.8	6.3
犬 飼 町		40	72.5	27.5	-
荻 町		59	71.2	28.8	-
久 住 町		47	83.0	17.0	-
直 入 町		31	83.9	16.1	-
九 重 町		55	70.9	29.1	-
玖 珠 町		42	85.7	14.3	-
前 津 江 村		9	22.2	77.8	-
中 津 江 村		14	35.7	64.3	-
上 津 江 村		14	14.3	85.7	-
大 山 町		51	43.1	56.9	-
天 瀬 町		63	19.0	81.0	-
三 光 村		16	87.5	6.3	6.3
本 耶 馬 溪 町		39	56.4	43.6	-
耶 馬 溪 町		35	74.3	22.9	2.9
山 国 町		53	81.1	18.9	-
院 内 町		32	90.6	9.4	-
安 心 院 町		53	90.6	9.4	-



(注) **太字** は全体より5%以上高いもの(「無回答」は除く)。

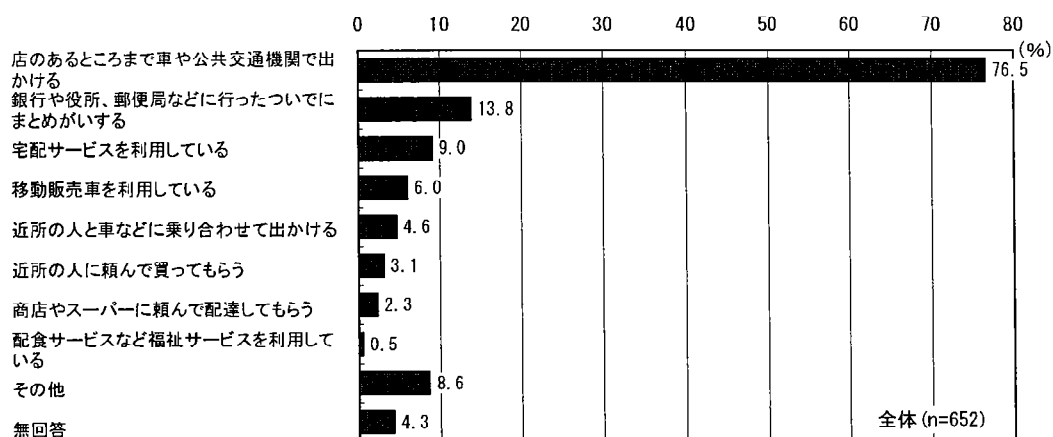
(2) 近隣に店舗がない場合の買い物方法

日常の買い物をする店が近くにない場合、どのようにしているのかについては、「店のあるところまで車や公共交通機関で出かける」が76.5%と群を抜いて多くなっている。

年齢別にみると、60歳代以上で「銀行や役所、郵便局などに行ったついでにまとめがいきる」が21.4%と他の年代を上回っている。

職業別にみると、「自営業」と「農林水産業」で「銀行や役所、郵便局などに行ったついでにまとめがいきる」が25%以上となっており、4人に1人が回答している。

図Ⅲ-6-2 近隣に店舗がない場合の買い物方法



表Ⅲ-6-2 近隣に店舗がない場合の買い物方法

		サンプル数	車のあるところまで公共交通機関で出かける	銀行や役所、郵便局などに行ったついでにまとめがいきる	宅配サービスを利用している	移動販売車を利用している	近所の人と車などに乗り合わせて出かける	近所の人に頼んで買ってもらう	商店やスーパーに頼んで配達してもらう	配食サービスなど福祉サービスを利用している	その他	無回答
全体		652	76.5	13.8	9.0	6.0	4.6	3.1	2.3	0.5	8.6	4.3
年齢別	20歳代	76	89.5	9.2	5.3	3.9	-	-	2.6	1.3	3.9	1.3
	30歳代	119	81.5	10.9	5.0	1.7	-	0.8	0.8	1.7	11.8	3.4
	40歳代	131	79.4	8.4	12.2	7.6	1.5	0.8	2.3	-	9.2	3.1
	50歳代	169	74.0	15.4	13.6	7.1	3.6	4.1	1.2	-	10.7	4.1
	60歳代以上	154	66.2	21.4	6.5	7.8	14.3	7.1	4.5	-	5.8	7.8
職業別	会社員・公務員など	229	80.8	7.0	7.9	2.2	0.9	1.3	1.7	-	11.4	3.9
	パート・アルバイト	102	83.3	7.8	12.7	2.9	1.0	-	1.0	-	8.8	2.0
	自営業	195	72.8	25.1	9.2	9.2	8.2	6.7	3.6	-	4.1	6.2
	農林水産業	20	65.0	25.0	-	15.0	15.0	15.0	5.0	5.0	-	15.0
	その他	87	70.1	11.5	9.2	9.2	6.9	-	1.1	2.3	14.9	1.1

(注) **太字** は全体より5%以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)。

表Ⅲ-6-3 市町村別にみた、近隣に店舗がない場合の買い物方法

(数値:%)

	サンプル数	ける や公 共交 通機 関で 出か	店 の あ る と こ ろ ま で 車	ど め が い す る	銀 行 や 役 所 、 郵 便 局 な ど に 行 っ た つ い で に ま	宅 配 サ ー ビ ス を 利 用 し て い る	移 動 販 売 車 を 利 用 し て い る	近 所 の 人 と 車 な ど に 乗 り 合 わ せ て 出 か け る	近 所 の 人 に 頼 ん で 買 っ て も ら う	商 店 や ス ー パ ー に 頼 ん で 配 達 し て も ら う	配 食 サ ー ビ ス な ど 福 祉 サ ー ビ ス を 利 用 し て い る	そ の 他	無 回 答
全 体	652	76.5	13.8	9.0	6.0	4.6	3.1	2.3	0.5	8.6	4.3		
大 分 市	18	55.6	5.6	11.1	-	5.6	-	-	-	-	-	22.2	5.6
別 府 市	11	90.9	18.2	-	-	-	-	-	-	-	-	9.1	-
中 津 市	11	90.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9.1	-
日 田 市	25	64.0	16.0	16.0	-	4.0	-	-	-	-	-	20.0	4.0
佐 伯 市	11	90.9	-	-	-	-	-	-	-	9.1	-	-	-
臼 杵 市	9	55.6	-	11.1	-	-	-	-	-	11.1	-	33.3	-
津 久 見 市	12	75.0	-	8.3	-	-	-	-	-	-	-	16.7	-
竹 田 市	19	42.1	15.8	21.1	10.5	-	-	-	-	-	-	21.1	-
豊 後 高 田 市	8	100.0	12.5	12.5	-	-	-	-	-	-	-	12.5	-
杵 築 市	3	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宇 佐 市	11	63.6	9.1	18.2	9.1	-	-	-	-	-	-	18.2	-
大 田 村	14	92.9	14.3	7.1	7.1	-	-	-	-	-	-	-	-
真 玉 町	9	55.6	11.1	11.1	-	-	-	-	-	22.2	-	22.2	11.1
香 々 地 町	6	100.0	-	16.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-
国 見 町	5	40.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	40.0	20.0
姫 島 村	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
国 東 町	11	63.6	-	18.2	-	-	-	-	-	9.1	-	18.2	9.1
武 蔵 町	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
安 岐 町	10	90.0	50.0	-	10.0	10.0	20.0	10.0	-	-	-	10.0	-
日 出 町	17	88.2	11.8	17.6	-	5.9	5.9	-	-	-	-	-	-
山 香 町	2	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
野 津 原 町	19	63.2	5.3	10.5	10.5	5.3	-	-	-	-	-	21.1	-
挾 間 町	6	66.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16.7	33.3
庄 内 町	11	81.8	-	9.1	9.1	-	-	-	-	-	-	9.1	-
湯 布 院 町	6	83.3	16.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16.7
佐 賀 関 町	16	100.0	6.3	18.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上 浦 町	19	47.4	26.3	10.5	21.1	-	-	-	-	5.3	-	10.5	21.1
弥 生 町	5	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
本 匠 村	12	83.3	8.3	41.7	8.3	-	-	-	-	-	-	8.3	8.3
宇 目 町	10	50.0	-	10.0	-	-	-	-	-	10.0	-	10.0	30.0
直 川 村	9	88.9	11.1	-	11.1	-	-	-	-	-	-	-	-
鶴 見 町	8	62.5	25.0	-	25.0	-	-	-	-	-	-	12.5	-
米 水 津 村	9	88.9	-	11.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
蒲 江 町	40	85.0	2.5	-	5.0	12.5	-	-	-	-	7.5	5.0	-
野 津 町	6	66.7	16.7	33.3	-	-	-	-	-	-	-	16.7	-
三 重 町	2	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
清 川 村	23	87.0	4.3	-	8.7	17.4	17.4	-	-	-	-	8.7	4.3
緒 方 町	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
朝 地 町	5	80.0	40.0	40.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大 野 町	9	55.6	-	11.1	22.2	11.1	11.1	-	-	-	-	11.1	22.2
千 歳 村	7	100.0	14.3	14.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
犬 飼 町	11	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
荻 町	17	70.6	29.4	5.9	5.9	-	-	-	-	-	-	5.9	5.9
久 住 町	8	75.0	25.0	12.5	12.5	-	-	-	-	-	-	-	-
直 入 町	5	60.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	40.0	-
九 重 町	16	68.8	18.8	31.3	25.0	12.5	-	18.8	-	-	-	-	-
玖 珠 町	6	83.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16.7	-
前 津 江 村	7	85.7	14.3	-	-	-	-	-	-	-	-	14.3	-
中 津 江 村	9	77.8	-	11.1	-	-	-	-	-	-	-	-	22.2
上 津 江 村	12	75.0	-	-	33.3	-	-	8.3	-	-	-	8.3	-
大 山 町	29	86.2	6.9	-	-	3.4	6.9	6.9	-	-	-	-	6.9
天 瀬 町	51	78.4	64.7	3.9	7.8	23.5	19.6	2.0	-	-	-	3.9	-
三 光 村	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
本 耶 馬 溪 町	17	94.1	-	17.6	-	-	-	-	-	-	-	-	5.9
耶 馬 溪 町	8	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山 国 町	10	50.0	20.0	10.0	30.0	-	-	-	-	-	-	10.0	20.0
院 内 町	3	66.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3
安 心 院 町	5	80.0	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) **太字** は全体より5%以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)。

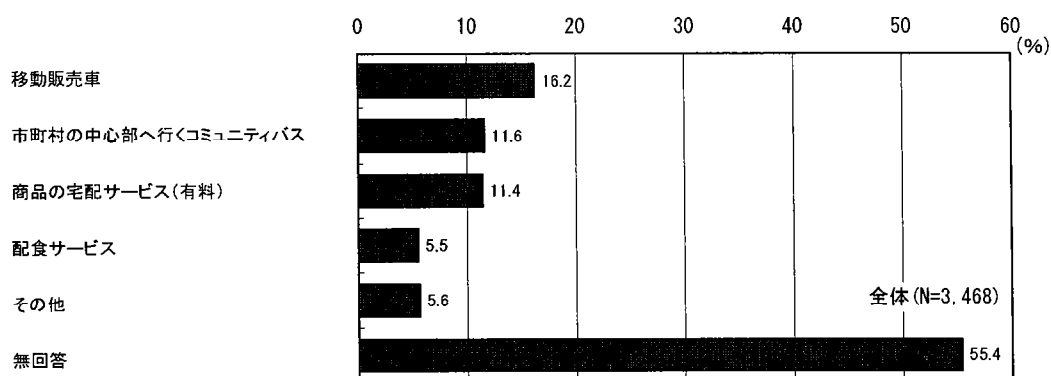
(3) あれば利用したいサービス

どのようなサービスがあったら利用すると思うかについては、「移動販売車」が16.2%と最も高く、次いで「市町村の中心部へ行くコミュニティバス」が11.6%、「商品の宅配サービス(有料)」が11.4%と高く、1割以上となっている。

次に年齢別にみると、「市町村の中心部へ行くコミュニティバス」は60歳代以上が17.9%と他の年代を大きく上回っており、高齢者が移動手段を求めているといえる。

職業別にみると、「移動販売車」は「農林水産業」が33.9%と他の職業を大きく上回っている。

図Ⅲ-6-3 あれば利用したいサービス



表Ⅲ-6-4 あれば利用したいサービス

(数値: %)

	サンプル数	移動販売車	市町村の中心部へ行くコミュニティバス	商品の宅配サービス(有料)	配食サービス	その他	無回答	
全体	3,468	16.2	11.6	11.4	5.5	5.6	55.4	
年齢別	20歳代	362	15.5	11.3	12.7	6.1	7.5	50.8
	30歳代	714	13.6	11.6	12.7	4.8	5.2	57.3
	40歳代	732	14.8	7.4	11.6	4.8	5.2	60.4
	50歳代	898	16.3	9.7	11.6	5.5	5.9	56.2
	60歳代以上	742	20.6	17.9	9.0	6.3	5.4	50.0
職業別	会社員・公務員など	1,276	13.6	9.4	13.2	5.3	4.9	58.2
	パート・アルバイト	608	16.3	10.4	9.9	4.4	6.7	57.1
	自営業	893	18.1	11.8	10.2	5.2	6.7	54.0
	農林水産業	62	33.9	24.2	9.7	11.3	-	35.5
	その他	496	17.7	16.5	11.7	6.7	5.8	49.2

(注) **太字** は全体より5%以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)。

表Ⅲ-6-5 市町村別にみた、あれば利用したいサービス

(数値：%)

	サンプル数	移動販売車	市町村の中心部へ行く コミュニティバス	商品の宅配サービス (有料)	配食サービス	その他	無回答	
全体	3,468	16.2	11.6	11.4	5.5	5.6	55.4	
居住市町村別 (旧市町村)	大分市	307	16.0	13.7	11.7	8.1	2.9	54.7
	別府市	232	12.1	14.2	8.6	5.6	4.3	62.1
	中津市	93	11.8	6.5	12.9	4.3	9.7	55.9
	日田市	171	19.9	11.1	11.1	4.7	6.4	50.9
	佐伯市	110	13.6	10.0	13.6	7.3	3.6	55.5
	臼杵市	108	11.1	8.3	10.2	5.6	3.7	65.7
	津久見市	110	10.9	7.3	12.7	10.0	2.7	60.9
	竹田市	85	4.7	10.6	10.6	4.7	3.5	67.1
	豊後高田市	68	20.6	10.3	19.1	22.1	1.5	38.2
	杵築市	52	21.2	11.5	9.6	5.8	7.7	53.8
	宇佐市	142	16.9	7.0	9.2	3.5	7.7	57.0
	大田村	18	16.7	16.7	11.1	-	-	61.1
	真玉町	39	17.9	12.8	12.8	10.3	10.3	46.2
	香々地町	28	21.4	7.1	17.9	7.1	14.3	42.9
	国見町	49	10.2	6.1	10.2	4.1	6.1	63.3
	姫島村	57	19.3	1.8	15.8	-	8.8	59.6
	国東町	47	25.5	2.1	8.5	-	4.3	59.6
	武蔵町	20	30.0	-	5.0	10.0	5.0	55.0
	安岐町	53	15.1	1.9	17.0	9.4	7.5	54.7
	日出町	129	12.4	12.4	13.2	3.1	7.0	57.4
	山香町	14	21.4	7.1	7.1	14.3	21.4	35.7
	野津原町	45	24.4	8.9	2.2	4.4	8.9	55.6
	挾間町	72	18.1	6.9	23.6	5.6	5.6	47.2
	庄内町	58	19.0	12.1	6.9	3.4	-	70.7
	湯布院町	45	8.9	11.1	8.9	8.9	11.1	55.6
	佐賀関町	45	13.3	22.2	13.3	-	4.4	55.6
	上浦町	46	28.3	6.5	8.7	-	-	60.9
	弥生町	46	10.9	8.7	15.2	2.2	8.7	56.5
	本匠村	22	13.6	18.2	18.2	-	4.5	50.0
	宇目町	47	21.3	6.4	17.0	2.1	12.8	42.6
	直川村	53	17.0	5.7	7.5	1.9	9.4	58.5
	鶴見町	38	15.8	5.3	10.5	7.9	15.8	47.4
	米水津村	30	10.0	3.3	3.3	3.3	6.7	73.3
	蒲江町	50	18.0	54.0	8.0	-	8.0	16.0
	野津町	52	7.7	13.5	7.7	1.9	5.8	67.3
	三重町	60	8.3	8.3	8.3	5.0	3.3	68.3
	清川村	48	14.6	14.6	10.4	6.3	6.3	56.3
	緒方町	44	-	-	9.1	-	6.8	84.1
	朝地町	12	50.0	-	8.3	-	-	50.0
	大野町	49	12.2	16.3	8.2	6.1	2.0	55.1
	千歳村	16	12.5	-	12.5	-	6.3	75.0
	犬飼町	40	10.0	10.0	12.5	-	2.5	65.0
	荻町	59	16.9	5.1	11.9	8.5	1.7	61.0
	久住町	47	27.7	25.5	10.6	8.5	2.1	48.9
	直入町	31	12.9	-	16.1	3.2	12.9	58.1
	九重町	55	23.6	12.7	7.3	7.3	5.5	50.9
	玖珠町	42	9.5	9.5	4.8	2.4	11.9	61.9
前津江村	9	44.4	-	11.1	-	11.1	33.3	
中津江村	14	35.7	21.4	14.3	-	7.1	35.7	
上津江村	14	50.0	7.1	14.3	-	-	35.7	
大山町	51	31.4	49.0	17.6	15.7	2.0	11.8	
天瀬町	63	33.3	44.4	20.6	4.8	1.6	15.9	
三光村	16	6.3	18.8	12.5	12.5	12.5	43.8	
本那馬溪町	39	7.7	5.1	10.3	5.1	7.7	69.2	
耶馬溪町	35	20.0	8.6	8.6	5.7	14.3	48.6	
山国町	53	32.1	3.8	13.2	5.7	3.8	52.8	
院内町	32	9.4	6.3	3.1	3.1	6.3	71.9	
安心院町	53	11.3	7.5	9.4	3.8	3.8	66.0	

(注) **太字** は全体より5%以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)。

7 中心市街地の商業施設・商店街の利用状況(問7)

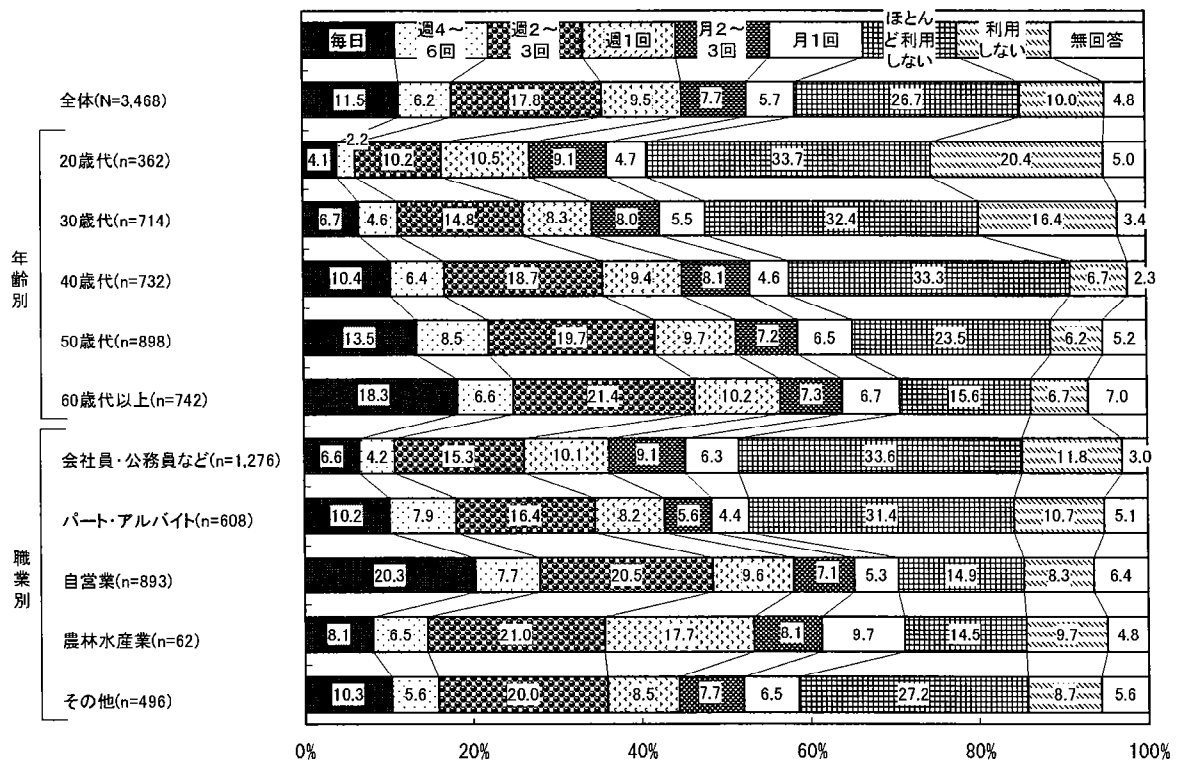
(1) 中心部の商店街の買い物利用頻度

中心部の商店街をどの程度買い物に利用しているかについては、「ほとんど利用しない」が26.7%と最も高く、次いで「週2～3回」が17.8%、「毎日」が11.5%の順に高くなっており、『月1回以上利用する』人は約6割となっている。

年齢別にみると、20歳代から50歳代は「ほとんど利用しない」が最も高いのに対して、60歳代以上では「週2～3回」が21.4%と高くなっている。また『月1回以上利用する』人は年齢が高くなるほど増えており、高年齢になるほど利用者が多いといえる。

職業別にみると、「会社員・公務員など」や「パート・アルバイト」は「ほとんど利用しない」がいずれも3割以上と最も高く、これらの層の利用率が低いと言える。

図Ⅲ-7-1 中心部の商店街の買い物利用頻度



表Ⅲ-7-1 中心部の商店街の買い物利用頻度

(数値:%)

	サンプル数	毎日	週4-6回	週2-3回	週1回	月2-3回	月1回	ほとんど利用しない	利用しない	無回答
全体	3,468	11.5	6.2	17.8	9.5	7.7	5.7	26.7	10.0	4.8
大分市	307	2.0	2.0	7.5	7.8	10.7	11.1	44.6	9.4	4.9
別府市	232	6.0	3.0	9.1	8.2	6.5	5.6	36.6	19.4	5.6
中津市	93	4.3	1.1	10.8	8.6	6.5	11.8	39.8	14.0	3.2
日田市	171	9.4	5.8	17.0	6.4	5.8	5.8	33.9	9.9	5.8
佐伯市	110	10.0	4.5	6.4	7.3	10.9	10.0	32.7	18.2	-
臼杵市	108	4.6	1.9	5.6	2.8	4.6	5.6	48.1	24.1	2.8
津久見市	110	10.9	4.5	7.3	10.0	6.4	5.5	44.5	6.4	4.5
竹田市	85	15.3	4.7	20.0	4.7	3.5	8.2	29.4	12.9	1.2
豊後高田市	68	16.2	5.9	20.6	10.3	14.7	1.5	22.1	7.4	1.5
杵築市	52	13.5	13.5	19.2	11.5	1.9	-	28.8	9.6	1.9
宇佐市	142	15.5	9.9	19.0	6.3	7.0	7.0	31.0	2.8	1.4
大田村	18	-	11.1	27.8	5.6	5.6	5.6	33.3	11.1	-
真玉町	39	12.8	7.7	23.1	-	5.1	5.1	28.2	7.7	10.3
香々地町	28	14.3	7.1	21.4	7.1	10.7	3.6	25.0	-	10.7
国見町	49	22.4	14.3	10.2	22.4	8.2	2.0	12.2	2.0	6.1
姫島村	57	19.3	8.8	15.8	8.8	3.5	3.5	15.8	21.1	3.5
国東町	47	19.1	4.3	19.1	14.9	4.3	6.4	25.5	4.3	2.1
武蔵町	20	15.0	-	30.0	10.0	10.0	5.0	20.0	5.0	5.0
安岐町	53	3.8	17.0	32.1	15.1	1.9	3.8	20.8	5.7	-
日出町	129	6.2	3.9	18.6	6.2	6.2	1.6	34.9	17.1	5.4
山香町	14	21.4	7.1	28.6	-	7.1	7.1	14.3	-	14.3
野津原町	45	6.7	4.4	15.6	6.7	13.3	13.3	26.7	2.2	11.1
挾間町	72	5.6	5.6	26.4	15.3	6.9	2.8	15.3	11.1	11.1
庄内町	58	10.3	8.6	27.6	5.2	10.3	5.2	22.4	10.3	-
湯布院町	45	33.3	6.7	17.8	8.9	4.4	8.9	11.1	2.2	6.7
佐賀関町	45	4.4	6.7	11.1	22.2	8.9	6.7	24.4	8.9	6.7
上浦町	46	10.9	15.2	32.6	8.7	6.5	-	10.9	8.7	6.5
弥生町	46	15.2	8.7	17.4	8.7	19.6	4.3	13.0	4.3	8.7
本匠村	22	4.5	4.5	27.3	18.2	9.1	-	31.8	4.5	-
宇目町	47	19.1	10.6	27.7	10.6	6.4	4.3	14.9	4.3	2.1
直川村	53	17.0	5.7	28.3	13.2	1.9	1.9	13.2	5.7	13.2
鶴見町	38	10.5	7.9	18.4	10.5	18.4	7.9	10.5	10.5	5.3
米水津村	30	3.3	6.7	33.3	20.0	20.0	-	10.0	3.3	3.3
蒲江町	50	2.0	2.0	42.0	2.0	12.0	20.0	16.0	-	4.0
野津町	52	23.1	19.2	17.3	3.8	9.6	3.8	19.2	1.9	1.9
三重村	60	30.0	6.7	18.3	10.0	1.7	1.7	13.3	13.3	5.0
清川村	48	10.4	10.4	27.1	18.8	8.3	-	12.5	2.1	10.4
緒方町	44	13.6	6.8	15.9	18.2	15.9	2.3	22.7	-	4.5
朝地町	12	-	8.3	-	-	-	16.7	50.0	16.7	8.3
大野町	49	14.3	8.2	26.5	20.4	6.1	2.0	8.2	-	14.3
千歳村	16	12.5	6.3	18.8	12.5	12.5	12.5	18.8	6.3	-
犬飼町	40	7.5	5.0	32.5	10.0	12.5	2.5	27.5	-	2.5
荻町	59	18.6	10.2	27.1	16.9	3.4	3.4	15.3	1.7	3.4
久住町	47	25.5	10.6	29.8	17.0	4.3	-	10.6	-	2.1
直入町	31	16.1	6.5	29.0	12.9	6.5	3.2	22.6	-	3.2
九重町	55	9.1	3.6	30.9	12.7	18.2	1.8	12.7	1.8	9.1
玖珠町	42	33.3	9.5	14.3	9.5	2.4	7.1	19.0	2.4	2.4
前津江村	9	-	11.1	22.2	44.4	11.1	-	11.1	-	-
中津江村	14	-	-	14.3	21.4	7.1	14.3	28.6	-	14.3
上津江村	14	-	-	-	7.1	28.6	7.1	50.0	7.1	-
大山町	51	25.5	-	5.9	19.6	-	7.8	21.6	19.6	-
天瀬町	63	1.6	3.2	11.1	4.8	-	3.2	6.3	61.9	7.9
三光村	16	-	6.3	12.5	-	12.5	6.3	18.8	25.0	18.8
本那馬溪町	39	5.1	7.7	23.1	7.7	7.7	2.6	28.2	15.4	2.6
耶馬溪町	35	20.0	8.6	25.7	8.6	2.9	5.7	11.4	2.9	14.3
山国町	53	5.7	1.9	34.0	9.4	11.3	5.7	20.8	7.5	3.8
院内町	32	34.4	6.3	25.0	6.3	9.4	-	18.8	-	-
安心院町	53	32.1	15.1	17.0	3.8	9.4	7.5	7.5	3.8	3.8

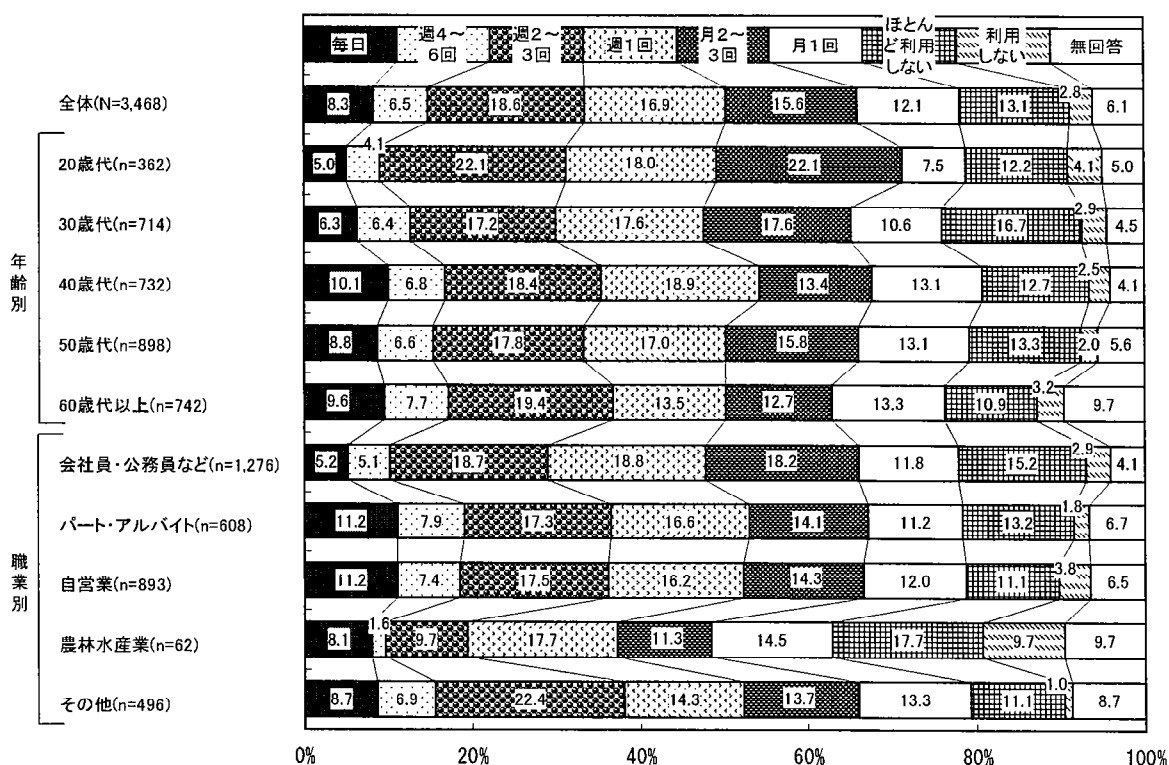
(注) **太字** は全体より5%以上高いもの(「無回答」は除く)。

(2) 中心部の大型商業施設の買い物利用頻度

中心部にある大型商業施設(デパートやスーパー)をどの程度買い物に利用するかについては、「週2～3回」が18.6%と最も高く、次いで「週1回」が16.9%、「月2～3回」が15.6%の順となっており、『月1回以上利用する』人は約8割となっている。

年齢別で大きな差はみられないが、職業別にみると、『月1回以上利用する』と回答した人が「農林水産業」が約6割と、他の職業の約8割に比べて少なくなっている。

図Ⅲ-7-2 中心部の大型商業施設の買い物利用頻度



表Ⅲ-7-2 中心部の大型商業施設の買い物利用頻度

(数値:%)

	サンプル数	毎日	週4 6回	週2 3回	週1 回	月2 3回	月1 回	ほとんど 利用しない	利用しない	無回答	
全 体	3,468	8.3	6.5	18.6	16.9	15.6	12.1	13.1	2.8	6.1	
居住市町村別 (旧市町村)	大 分 市	307	3.3	2.0	8.5	12.4	17.3	16.6	32.6	4.2	3.3
	別 府 市	232	4.7	3.4	14.2	14.7	17.7	19.4	18.1	1.3	6.5
	中 津 市	93	6.5	5.4	21.5	28.0	17.2	7.5	9.7	-	4.3
	日 田 市	171	6.4	14.0	28.7	17.0	8.2	7.6	8.2	-	9.9
	佐 伯 市	110	10.0	10.9	20.9	16.4	15.5	9.1	10.0	2.7	4.5
	臼 杵 市	108	12.0	6.5	13.9	12.0	13.9	8.3	25.0	4.6	3.7
	津 久 見 市	110	24.5	10.9	29.1	6.4	10.0	4.5	10.9	0.9	2.7
	竹 田 市	85	15.3	16.5	17.6	14.1	8.2	5.9	12.9	3.5	5.9
	豊 後 高 田 市	68	10.3	14.7	26.5	23.5	13.2	2.9	7.4	-	1.5
	杵 築 市	52	15.4	9.6	25.0	17.3	17.3	3.8	7.7	-	3.8
	宇 佐 市	142	19.7	14.8	31.0	16.9	9.2	4.2	2.8	-	1.4
	大 田 村	18	-	5.6	22.2	11.1	16.7	22.2	22.2	-	-
	真 玉 町	39	7.7	5.1	12.8	15.4	20.5	10.3	7.7	5.1	15.4
	香 々 地 町	28	-	-	14.3	14.3	32.1	14.3	14.3	-	10.7
	国 見 町	49	10.2	8.2	-	8.2	12.2	40.8	12.2	4.1	4.1
	姫 島 村	57	5.3	3.5	5.3	14.0	12.3	10.5	21.1	22.8	5.3
	国 東 町	47	12.8	12.8	27.7	21.3	10.6	6.4	6.4	-	2.1
	武 蔵 町	20	10.0	10.0	15.0	-	25.0	25.0	10.0	5.0	-
	安 岐 町	53	1.9	5.7	13.2	30.2	7.5	15.1	26.4	-	-
	日 出 町	129	10.1	12.4	20.9	9.3	15.5	14.7	10.1	1.6	5.4
	山 香 町	14	-	-	21.4	14.3	28.6	14.3	-	7.1	14.3
	野 津 原 町	45	2.2	-	22.2	11.1	15.6	17.8	22.2	2.2	6.7
	挾 間 町	72	6.9	4.2	29.2	16.7	13.9	11.1	6.9	2.8	8.3
	庄 内 町	58	1.7	5.2	27.6	24.1	24.1	3.4	5.2	1.7	6.9
	湯 布 院 町	45	13.3	2.2	22.2	13.3	15.6	15.6	4.4	2.2	11.1
	佐 賀 関 町	45	2.2	-	11.1	20.0	24.4	17.8	15.6	2.2	6.7
	上 浦 町	46	-	2.2	19.6	26.1	23.9	10.9	4.3	2.2	10.9
	弥 生 町	46	6.5	2.2	4.3	23.9	30.4	15.2	4.3	2.2	10.9
	本 匠 村	22	-	4.5	18.2	18.2	22.7	9.1	4.5	9.1	13.6
	宇 目 町	47	6.4	-	8.5	19.1	31.9	14.9	10.6	2.1	6.4
	直 川 村	53	15.1	7.5	20.8	15.1	20.8	9.4	1.9	-	9.4
	鶴 見 町	38	7.9	2.6	36.8	18.4	18.4	5.3	5.3	-	5.3
	米 水 津 村	30	-	6.7	26.7	36.7	23.3	-	3.3	-	3.3
	蒲 江 町	50	2.0	-	22.0	4.0	12.0	40.0	16.0	-	4.0
	野 津 町	52	3.8	3.8	5.8	15.4	28.8	17.3	17.3	-	7.7
	三 重 町	60	25.0	6.7	23.3	20.0	3.3	5.0	6.7	1.7	8.3
	清 川 村	48	10.4	4.2	20.8	20.8	16.7	8.3	8.3	2.1	8.3
	緒 方 町	44	11.4	-	11.4	11.4	6.8	18.2	27.3	4.5	9.1
	朝 地 町	12	-	-	-	25.0	25.0	16.7	16.7	8.3	8.3
	大 野 町	49	6.1	6.1	12.2	14.3	14.3	18.4	8.2	-	20.4
千 歳 村	16	6.3	6.3	25.0	18.8	18.8	-	12.5	-	12.5	
犬 飼 町	40	-	-	22.5	37.5	15.0	7.5	12.5	-	5.0	
荻 町	59	3.4	5.1	22.0	33.9	13.6	8.5	8.5	-	5.1	
久 住 町	47	2.1	4.3	4.3	31.9	14.9	19.1	17.0	6.4	-	
直 入 町	31	-	-	9.7	19.4	16.1	9.7	22.6	12.9	9.7	
九 重 町	55	3.6	3.6	16.4	16.4	18.2	12.7	14.5	1.8	12.7	
玖 珠 町	42	28.6	9.5	33.3	9.5	2.4	7.1	2.4	2.4	4.8	
前 津 江 村	9	-	11.1	-	22.2	11.1	33.3	11.1	-	11.1	
中 津 江 村	14	-	-	14.3	28.6	7.1	14.3	7.1	-	28.6	
上 津 江 村	14	-	-	7.1	21.4	35.7	21.4	14.3	-	-	
大 山 町	51	15.7	-	2.0	9.8	3.9	7.8	25.5	35.3	-	
天 瀬 町	63	11.1	23.8	38.1	6.3	6.3	4.8	3.2	-	6.3	
三 光 村	16	-	12.5	25.0	12.5	18.8	18.8	-	-	12.5	
本 耶 馬 溪 町	39	5.1	10.3	30.8	35.9	7.7	-	7.7	-	2.6	
耶 馬 溪 町	35	2.9	2.9	22.9	28.6	17.1	5.7	5.7	-	14.3	
山 国 町	53	-	3.8	17.0	26.4	30.2	7.5	5.7	1.9	7.5	
院 内 町	32	18.8	-	18.8	9.4	18.8	18.8	9.4	-	6.3	
安 心 院 町	53	9.4	3.8	5.7	13.2	28.3	22.6	9.4	5.7	1.9	

(注) **太字** は全体より5%以上高いもの(「無回答」は除く)。

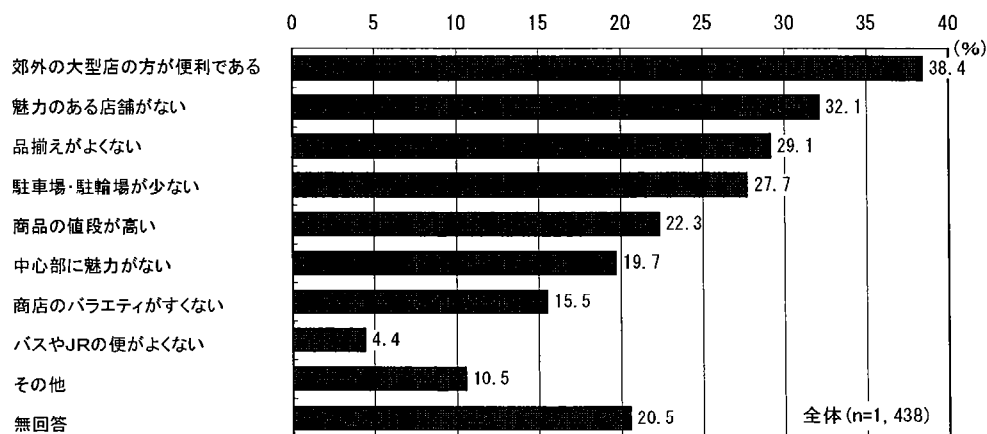
(3) 中心部の商店街や商業施設を利用しない理由

なぜ中心地にある商店街や商業施設を利用しないのかについては、「郊外の大型店の方が便利である」が38.4%と最も多く、次いで「魅力のある店舗がない」が32.1%、「品揃えがよくない」が29.1%、「駐車場・駐輪場が少ない」が27.7%、「商品の値段が高い」が22.3%の順に高くなっている。

次に年齢別にみると、20歳代は「魅力のある店舗がない」が39.9%と最も高く、30歳代から50歳代は「郊外の大型店の方が便利である」が4割以上と最も高くなっている。また60歳代以上は「品揃えがよくない」が25.3%と最も高くなっている。

職業別にみると、「会社員・公務員など」と「パート・アルバイト」などの区分では、「郊外の大型店の方が便利である」が4割以上と最も高く、また、「駐車場・駐輪場が少ない」が「自営業」や「農林水産業」と比べて高くなっており、自家用車での移動を重要視しているといえる。

図Ⅲ-7-3 中心部の商店街や大型商業施設を利用しない理由



表Ⅲ-7-3 中心部の商店街や大型商業施設を利用しない理由

		サンプル数	郊外の大型店の方が便利である	魅力のある店舗がない	品揃えがよくない	駐車場・駐輪場が少ない	商品の値段が高い	中心部に魅力がない	商店のバラエティがすくない	バスやJRの便がよくない	その他	無回答
全体		1,438	38.4	32.1	29.1	27.7	22.3	19.7	15.5	4.4	10.5	20.5
年齢別	20歳代	208	33.7	39.9	32.7	30.8	19.7	22.1	24.0	3.4	5.8	24.0
	30歳代	384	42.2	38.0	31.3	29.7	24.7	19.8	15.6	1.8	10.2	20.8
	40歳代	309	43.7	34.3	31.1	31.7	24.3	20.4	17.2	2.9	8.4	21.4
	50歳代	308	43.8	25.3	24.4	25.6	20.1	19.8	12.0	3.6	13.6	17.2
	60歳代以上	225	21.8	20.4	25.3	19.1	20.0	16.0	9.3	12.9	14.2	20.4
職業別	会社員・公務員など	626	43.9	37.1	29.2	31.8	18.7	20.8	17.9	2.4	8.0	19.0
	パート・アルバイト	275	45.8	31.6	29.5	27.6	28.7	20.7	13.8	2.9	8.0	22.9
	自営業	273	27.1	20.9	28.9	19.4	24.9	17.6	13.9	7.0	19.0	17.9
	農林水産業	22	27.3	36.4	13.6	18.2	18.2	36.4	13.6	31.8	13.6	9.1
	その他	198	26.8	31.3	30.8	28.8	20.7	15.7	15.2	6.1	11.1	25.8

(注) **太字** は全体より5%以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)。

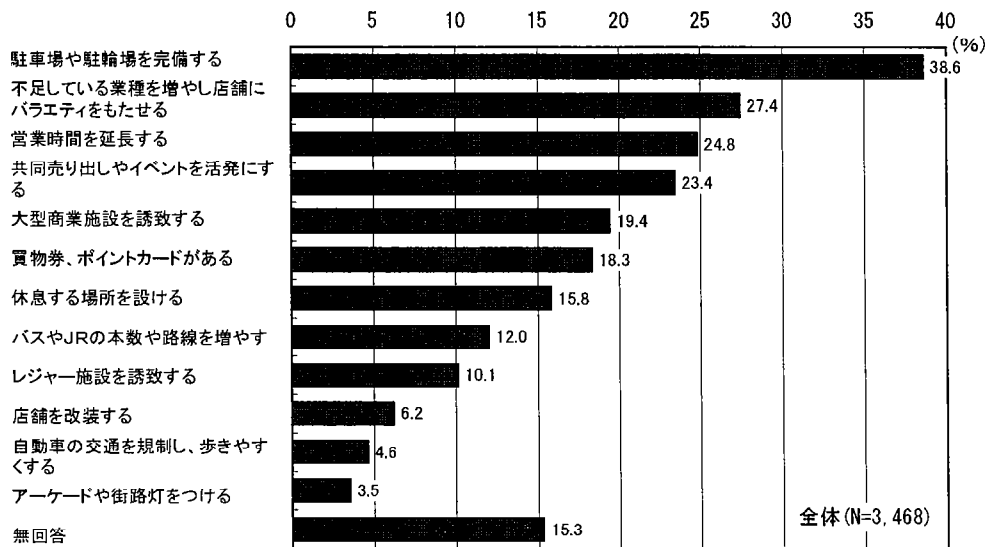
(4) 中心部の商店街や商業施設への要望

中心市街地にある商店街や大型商業施設を、もっと便利で買い物がしやすくするために取り組んで欲しいこととしては、「駐車場や駐輪場を完備する」が38.6%と最も高く、次いで「不足している業種を増やし店舗にバラエティをもたせる」が27.4%、「営業時間を延長する」が24.8%、「共同売り出しやイベントを活発にする」が23.4%の順に高くなっている。

次に年齢別にみると、いずれの年代も「駐車場や駐輪場を完備する」が最も高くなっている。また、60歳代以上では「休息する場所を設ける」が23.5%と他の年代を大きく上回っており、高齢者のニーズを示している。

職業別にみると、「農林水産業」で「大型商業施設を誘致する」が27.4%と、「営業時間を延長する」と並んで高くなっている。他の職業はいずれも「駐車場や駐輪場を完備する」が最も高くなっている。

図Ⅲ-7-4 中心部の商店街や大型商業施設への要望



表Ⅲ-7-4 中心部の商店街や大型商業施設への要望

	サンプル数	(数値:%)													
		駐車場や駐輪場を完備する	不足している業種を増やし店舗にバラエティをもたせる	営業時間を延長する	共同売り出しやイベントを活発にする	大型商業施設を誘致する	買物券、ポイントカードがある	休息する場所を設ける	バスやJRの本数や路線を増やす	レジャー施設を誘致する	店舗を改装する	自動車の交通を規制し、歩きやすくする	アーケードや街路灯をつける	無回答	
全体	3,468	38.6	27.4	24.8	23.4	19.4	18.3	15.8	12.0	10.1	6.2	4.6	3.5	15.3	
年齢別	20歳代	362	46.7	31.8	34.3	22.7	24.9	17.4	12.4	14.6	12.2	2.8	5.2	5.2	
	30歳代	714	45.8	34.2	25.8	23.1	27.0	16.2	11.9	10.1	10.8	4.5	2.4	9.1	
	40歳代	732	40.3	33.6	32.0	23.8	21.4	19.0	12.2	9.4	6.1	4.1	3.1	10.2	
	50歳代	898	37.3	25.3	24.5	25.5	15.0	18.6	16.9	11.5	7.6	3.0	3.7	17.9	
	60歳代以上	742	28.4	15.6	13.1	21.6	13.2	20.1	23.5	15.6	5.3	2.7	6.9	3.9	27.0
職業別	会社員・公務員など	1,276	46.2	31.6	29.6	23.9	24.0	14.8	13.6	9.6	11.9	7.5	4.0	3.8	10.0
	パート・アルバイト	608	38.3	28.6	24.3	23.4	19.2	21.4	12.8	13.7	11.3	6.7	4.3	2.3	13.0
	自営業	893	31.9	22.8	20.6	25.3	14.1	18.3	19.6	10.6	7.4	4.4	5.6	4.0	22.3
	農林水産業	62	25.8	25.8	27.4	14.5	27.4	19.4	22.6	21.0	1.6	9.7	3.2	11.3	17.7
	その他	496	36.3	26.6	22.4	20.4	17.9	23.4	17.9	17.3	10.1	5.0	5.2	2.4	15.5

(注) **太字** は全体より5%以上高いもの(「無回答」は除く)。

8 通販、インターネット等無店舗販売の利用状況(問8)

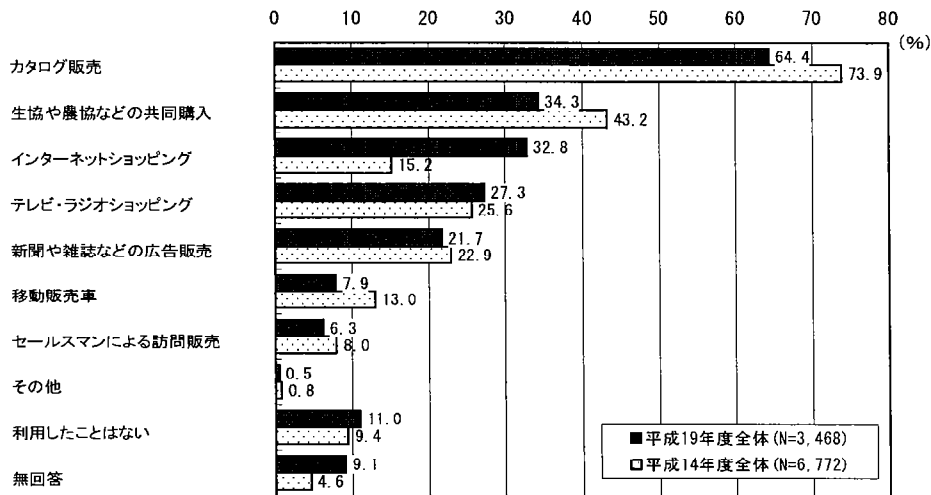
(1) 利用経験のある無店舗販売の種類

前回調査の平成14年度も今回調査も「カタログ販売」が最も高くなっているが、前回調査が73.9%なのに対して、今回調査は64.4%と利用率は下がっている。一方今回調査で大きく利用率をあげたのは「インターネットショッピング」である。前回調査では15.2%だったが、今回調査では32.8%と約2倍の利用率となっており、今後も利用率が高くなっていくと考えられる。

次に年齢別にみると、いずれの年代も「カタログ販売」が最も高くなっている。また、20歳代と30歳代では「インターネットショッピング」の利用率が半数以上となっており、2人に1人以上が利用している。その他の年代では、40歳代で「生協や農協などの共同購入」が51.0%と半数以上を占めている。また、50歳代と60歳代以上では「テレビ・ラジオショッピング」の利用率が比較的高くなっている。

職業別にみると、「農林水産業」で「インターネットショッピング」の利用率が9.7%と他の職業を大きく下回っている。

図Ⅲ-8-1 通販、インターネット等無店舗販売の利用状況



表Ⅲ-8-1 通販、インターネット等無店舗販売の利用状況

		サンプル数	カタログ販売	生協や農協などの共同購入	インターネットショッピング	テレビ・ラジオショッピング	新聞や雑誌などの広告販売	移動販売車	セールスマンによる訪問販売	その他	利用したことはない	無回答
全体		3,468	64.4	34.3	32.8	27.3	21.7	7.9	6.3	0.5	11.0	9.1
年齢別	20歳代	362	70.7	20.2	57.7	14.9	14.4	4.4	1.1	1.4	8.0	4.1
	30歳代	714	77.3	35.6	52.7	24.4	19.9	7.0	3.9	0.4	5.9	4.3
	40歳代	732	74.6	51.0	40.7	33.6	26.5	10.8	10.5	0.3	6.1	4.9
	50歳代	898	61.6	35.0	20.2	31.1	25.4	9.2	8.4	0.7	11.7	10.8
	60歳代以上	742	42.9	23.3	9.2	25.6	18.3	6.2	4.4	0.1	21.4	17.1
職業別	会社員・公務員など	1,276	70.7	35.0	45.4	26.2	22.3	7.4	6.4	0.7	8.2	6.1
	パート・アルバイト	608	75.7	43.4	31.6	29.8	24.7	9.4	7.6	0.3	4.8	8.1
	自営業	893	53.5	26.5	23.0	29.2	20.8	7.1	5.9	0.3	17.0	11.9
	農林水産業	62	35.5	32.3	9.7	12.9	14.5	11.3	4.8	-	21.0	14.5
	その他	496	60.3	36.7	25.2	29.0	20.8	9.7	5.8	0.6	13.1	10.3

(注) 太字は全体より5%以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)。

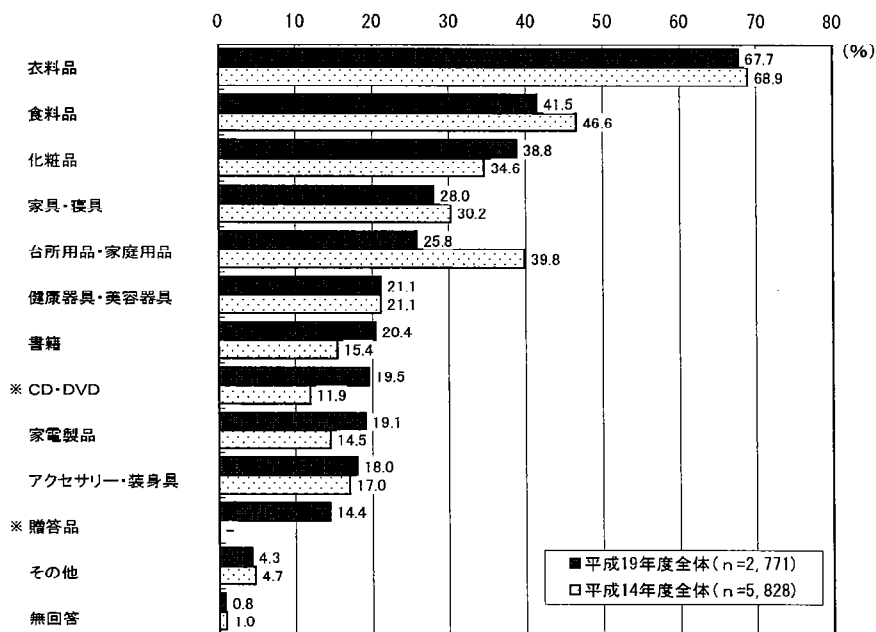
(2) 無店舗販売での購入商品

無店舗販売でどのような商品を購入したことがあるかについては、「衣料品」が67.7%と最も多く、次いで「食料品」が41.5%、「化粧品」が38.8%、「家具・寝具」が28.0%、「台所用品・家庭用品」が25.8%の順に高くなっている。

次に年齢別にみると、いずれの年代も「衣料品」が最も高くなっている。また、「CD・DVD」の購入者は年齢が低くなるほど多くなっている。20歳代では、「台所用品・家庭用品」の購入者が11.3%と他の年代に比べて低くなっている。

職業別にみると、「会社員・公務員など」は「書籍」購入者が26.9%と他の年代を大きく上回っている。

図Ⅲ-8-2 無店舗販売での購入商品



(注) 平成19年度調査から「CD・テープ等」を「CD・DVD」に変更
「贈答品」は平成19年度調査から追加

表Ⅲ-8-2 無店舗販売での購入商品

		サンプル数	衣料品	食料品	化粧品	家具・寝具	台所用品・家庭用品	健康器具・美容器具	書籍	CD・DVD	家電製品	アクセサリ・装身具	贈答品	その他	無回答
全体		2,771	67.7	41.5	38.8	28.0	25.8	21.1	20.4	19.5	19.1	18.0	14.4	4.3	0.8
年齢別	20歳代	318	70.4	26.7	40.9	24.2	11.3	17.0	25.5	30.8	15.4	27.0	11.0	3.1	0.3
	30歳代	641	77.2	43.2	47.9	32.4	25.1	21.2	25.1	25.4	19.8	21.5	18.1	4.7	-
	40歳代	651	70.0	50.5	43.8	31.5	29.3	23.7	23.8	26.3	24.6	20.3	16.9	3.8	0.6
	50歳代	696	63.1	41.8	34.5	27.3	28.3	23.4	14.8	10.9	17.8	15.2	13.5	5.3	1.1
	60歳代以上	456	56.8	36.6	24.1	20.2	27.6	16.7	13.8	6.8	14.7	7.9	9.2	3.9	1.8
職業別	会社員・公務員など	1,094	70.5	40.6	43.0	29.0	23.3	23.1	26.9	26.4	21.0	21.5	16.3	4.8	0.3
	パート・アルバイト	530	73.6	45.5	47.9	32.8	29.2	20.0	15.3	17.0	18.5	17.7	14.7	3.2	0.4
	自営業	635	59.7	38.4	27.9	26.5	27.9	22.4	16.4	14.8	19.8	15.4	12.8	4.6	1.4
	農林水産業	40	52.5	42.5	12.5	20.0	12.5	5.0	10.0	10.0	10.0	7.5	10.0	2.5	2.5
	その他	380	65.3	44.5	35.3	24.7	26.3	18.4	17.6	12.9	15.8	16.3	12.4	4.7	1.6

(注) **太字** は全体より5%以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)。

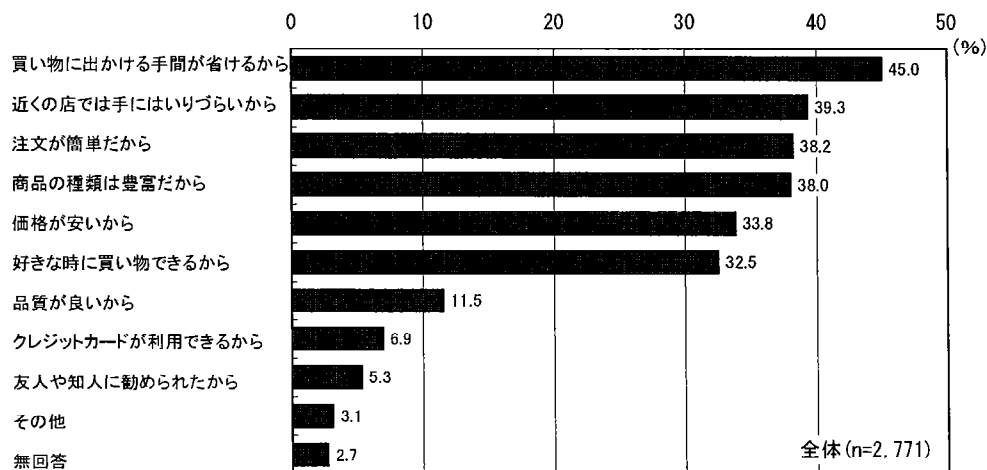
(3) 無店舗販売利用理由

無店舗販売を利用した動機については、「買い物に出かける手間が省けるから」が45.0%と最も高く、次いで「近くの店では手にはいりづらいから」が39.3%、「注文が簡単だから」が38.2%、「商品の種類は豊富だから」が38.0%、「価格が安いから」が33.8%の順で高くなっている。

次に年齢別にみると、20歳代では「近くの店では手に入りづらいから」が47.8%と最も高く、他の年代はいずれも「買い物に出かける手間が省けるから」が最も高くなっている。また、30歳代では「商品の種類は豊富だから」も49.0%と同じくトップとなっている。50歳代以上では「好きな時に買い物できるから」は他の年代と比べて低くなっている。

職業別にみると、いずれの職業も「買い物に出かける手間が省けるから」が最も高くなっている。また、「会社員・公務員など」と「パート・アルバイト」では「好きな時に買い物できるから」が他の職業と比べて高くなっている。

図Ⅲ-8-3 無店舗販売利用理由



表Ⅲ-8-3 無店舗販売利用理由

		サンプル数	省けるから	近くの店では手にはいりづらいから	注文が簡単だから	商品の種類は豊富だから	価格が安いから	好きな時に買い物できるから	品質が良いから	クレジットカードが利用できるから	友人や知人に勧められたから	その他	無回答
全体		2,771	45.0	39.3	38.2	38.0	33.8	32.5	11.5	6.9	5.3	3.1	2.7
年齢別	20歳代	318	32.4	47.8	38.1	42.8	39.0	38.1	6.9	8.8	5.3	4.4	1.9
	30歳代	641	49.0	40.7	41.2	49.0	43.1	41.7	11.1	8.1	4.8	3.0	0.8
	40歳代	651	48.4	37.9	42.4	40.6	37.6	35.3	13.2	10.3	5.1	2.3	1.7
	50歳代	696	48.6	38.1	35.3	30.7	26.3	27.7	13.8	5.5	5.5	2.7	3.0
	60歳代以上	456	37.9	35.1	32.9	26.3	23.0	19.1	9.4	1.1	6.4	4.2	6.8
職業別	会社員・公務員など	1,094	46.6	41.2	39.9	41.5	36.7	36.7	10.1	8.9	4.8	3.0	1.6
	パート・アルバイト	530	44.2	39.2	40.6	40.2	38.3	34.3	13.2	6.4	6.6	2.6	1.5
	自営業	635	48.5	40.6	34.6	33.5	26.5	27.4	12.1	4.7	4.7	3.3	3.3
	農林水産業	40	37.5	20.0	25.0	15.0	20.0	12.5	5.0	2.5	15.0	2.5	2.5
	その他	380	38.7	36.3	40.0	34.5	34.7	31.8	12.6	6.3	4.7	3.4	4.7

(注) **太字** は全体より5%以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)。

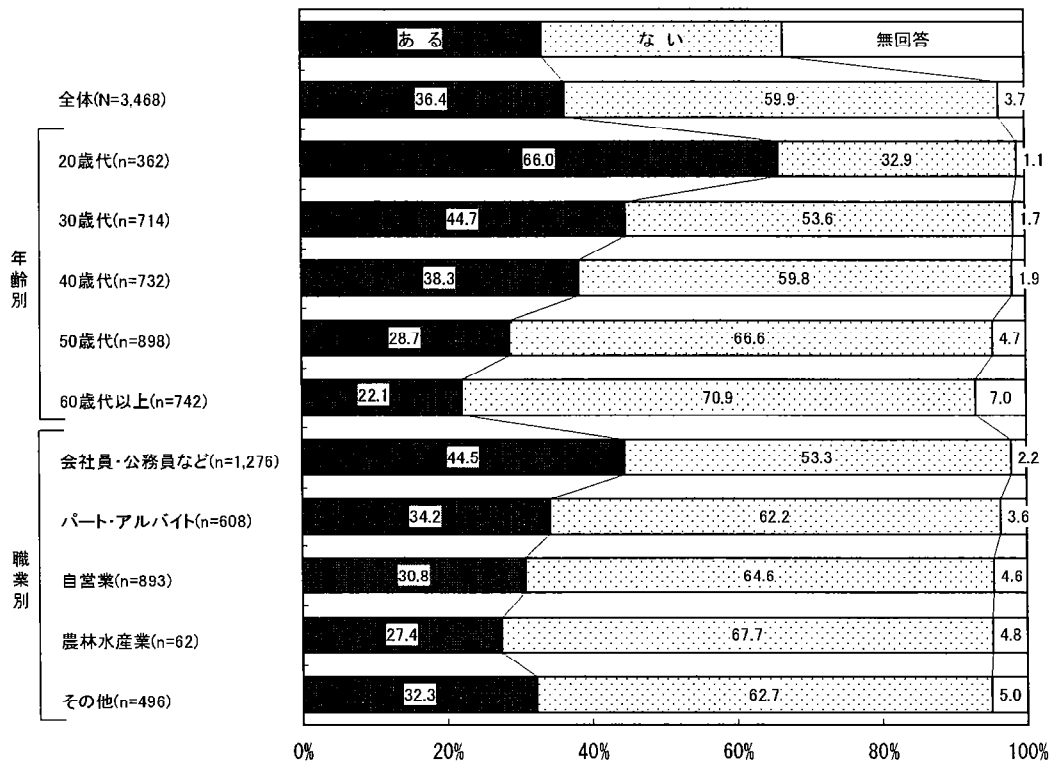
9 県外での消費行動(問9)

(1) 県外への買い物出向の有無

この1年間に買い物を目的に県外(九州内に限る)にでかけたことがあるかどうかについては、「ある」が36.4%、「ない」が59.9%と「ある」人が3人に1人以上みられる。

次に年齢別にみると、20歳代では「ある」が66.0%と「ない」の32.9%を大きく上回っており、年齢が低いほど「ある」人が多くなっている。

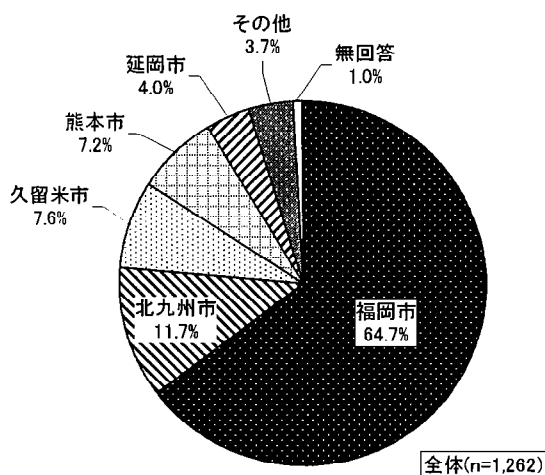
図Ⅲ-9-1 県外への買い物出向の有無



(2) 県外への買い物出向先

買い物をした場所についてみると、「福岡市」が64.7%と群を抜いて多く、次いで「北九州市」が11.7%となっている。

図Ⅲ-9-2 県外への買い物出向先



表Ⅲ-9-2 県外への買い物出向先

		(数値:%)							
	サンプル数	福岡市	北九州市	久留米市	熊本市	延岡市	その他	無回答	
全体	1,262	64.7	11.7	7.6	7.2	4.0	3.7	1.0	
居住市町村別(旧市町村)	大分市	86	84.9	2.3	2.3	4.7	-	4.7	1.2
	別府市	90	83.3	3.3	1.1	4.4	-	5.6	2.2
	中津市	62	32.3	62.9	-	-	-	4.8	-
	日田市	129	58.1	1.6	38.0	-	-	2.3	-
	佐伯市	45	80.0	-	-	4.4	8.9	2.2	4.4
	臼杵市	28	92.9	3.6	-	-	-	-	3.6
	津久見市	25	88.0	4.0	4.0	4.0	-	-	-
	竹田市	32	56.3	-	-	43.8	-	-	-
	豊後高田市	27	74.1	25.9	-	-	-	-	-
	杵築市	16	75.0	-	-	6.3	-	18.8	-
	宇佐市	73	47.9	46.6	-	-	-	4.1	1.4
	大田村	3	33.3	66.7	-	-	-	-	-
	真玉町	14	71.4	28.6	-	-	-	-	-
	香々地町	7	85.7	-	-	-	-	14.3	-
	国見町	12	83.3	8.3	-	-	-	-	8.3
	姫島村	18	83.3	11.1	-	-	-	-	5.6
国東町	6	66.7	-	-	-	-	16.7	16.7	
武蔵町	7	100.0	-	-	-	-	-	-	
安岐町	15	53.3	46.7	-	-	-	-	-	
日出町	39	79.5	10.3	-	2.6	-	7.7	-	
山香町	4	75.0	25.0	-	-	-	-	-	
野津原町	5	80.0	-	-	20.0	-	-	-	
挾間町	21	76.2	9.5	4.8	9.5	-	-	-	
庄内町	7	42.9	28.6	-	14.3	-	14.3	-	
湯布院町	11	90.9	-	-	9.1	-	-	-	
佐賀関町	15	80.0	6.7	6.7	6.7	-	-	-	

		(数値:%)							
	サンプル数	福岡市	北九州市	久留米市	熊本市	延岡市	その他	無回答	
居住市町村別(旧市町村)	上浦町	12	83.3	-	-	-	8.3	-	8.3
	弥生町	17	70.6	5.9	-	5.9	17.6	-	-
	本匠村	8	37.5	12.5	-	-	37.5	12.5	-
	宇目町	27	18.5	-	3.7	-	74.1	3.7	-
	直川村	19	31.6	-	-	5.3	63.2	-	-
	鶴見町	7	71.4	-	-	-	-	28.6	-
	米水津村	5	40.0	20.0	-	20.0	20.0	-	-
	蒲江町	7	57.1	-	-	-	42.9	-	-
	野津町	10	90.0	-	-	10.0	-	-	-
	三重町	7	71.4	-	-	14.3	14.3	-	-
	清川村	12	50.0	-	-	33.3	8.3	8.3	-
	緒方町	13	76.9	-	-	15.4	7.7	-	-
	朝地町	2	50.0	50.0	-	-	-	-	-
	大野町	6	50.0	-	-	33.3	16.7	-	-
	千歳村	3	100.0	-	-	-	-	-	-
	犬飼町	18	83.3	5.6	-	-	-	11.1	-
	荻町	27	40.7	3.7	-	51.9	-	3.7	-
	久住町	12	25.0	-	-	66.7	-	8.3	-
	直入町	5	60.0	-	-	40.0	-	-	-
	九重町	20	80.0	5.0	5.0	10.0	-	-	-
玖珠町	21	71.4	4.8	14.3	-	-	9.5	-	
前津江村	7	57.1	-	42.9	-	-	-	-	
中津江村	9	22.2	11.1	22.2	33.3	-	-	11.1	
上津江村	12	8.3	-	25.0	66.7	-	-	-	
大山町	40	52.5	5.0	17.5	20.0	-	5.0	-	
天瀬町	41	63.4	-	36.6	-	-	-	-	
三光村	4	25.0	75.0	-	-	-	-	-	
本耶馬溪町	22	50.0	31.8	-	-	-	18.2	-	
耶馬溪町	10	90.0	10.0	-	-	-	-	-	
山国町	31	67.7	12.9	16.1	-	-	3.2	-	
院内町	11	54.5	45.5	-	-	-	-	-	
安心院町	17	88.2	11.8	-	-	-	-	-	

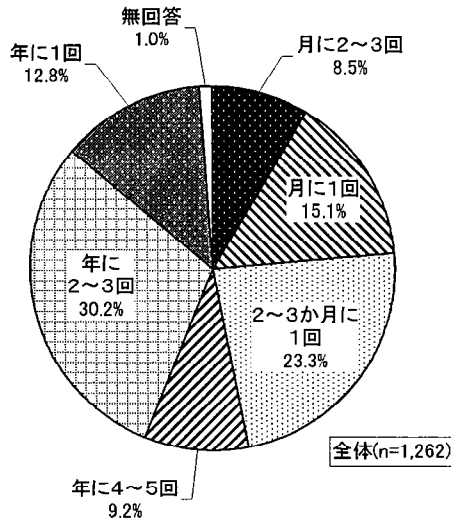
(注) **太字** は全体より5%以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)。

(3) 県外への買い物出向頻度

買い物の回数についてみると、「年に2～3回」が30.2%と最も高く、次いで「2～3か月に1回」が23.3%、「月に1回」が15.1%の順に高くなっている。

年齢別にみると、いずれの年代も「年に2～3回」が最も高くなっているが、20歳代では「月に2～3回」が15.5%と、他の年代を大きく上回っている。

図Ⅲ-9-3 県外への買い物出向頻度



表Ⅲ-9-3 県外への買い物出向頻度

(数値: %)

		サンプル数	月に2～3回	月に1回	2～3か月に1回	年に4～5回	年に2～3回	年に1回	無回答
全 体		1,262	8.5	15.1	23.3	9.2	30.2	12.8	1.0
年齢別	20歳代	239	15.5	18.4	24.3	7.9	25.1	8.4	0.4
	30歳代	319	7.2	11.6	25.7	10.3	33.2	11.6	0.3
	40歳代	280	6.8	13.2	22.1	9.3	31.8	16.1	0.7
	50歳代	258	6.2	18.6	21.3	9.7	29.8	12.8	1.6
	60歳代以上	164	7.3	14.6	22.0	7.9	29.9	15.9	2.4
職業別	会社員・公務員など	568	8.3	15.3	26.2	8.8	30.5	10.4	0.5
	パート・アルバイト	208	8.2	11.1	19.7	6.7	38.0	16.3	-
	自営業	275	9.1	20.4	20.4	14.2	23.3	10.9	1.8
	農林水産業	17	17.6	23.5	-	17.6	29.4	11.8	-
	その他	160	7.5	11.9	25.6	4.4	32.5	16.9	1.3
買物出向先別	福岡市	817	5.4	13.6	22.3	9.5	34.0	14.4	0.7
	北九州市	148	10.1	14.2	27.0	8.8	29.7	9.5	0.7
	久留米市	96	18.8	30.2	26.0	7.3	14.6	3.1	-
	熊本市	91	17.6	12.1	24.2	12.1	22.0	11.0	1.1
	延岡市	51	11.8	17.6	25.5	7.8	29.4	7.8	-
	その他	47	10.6	19.1	23.4	6.4	17.0	21.3	2.1

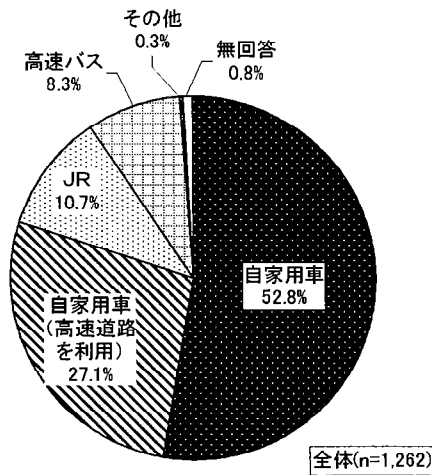
(注) **太字** は全体より5%以上高いもの(「無回答」は除く)。

(4) 県外への買い物出向時の移動手段

最もよく利用する移動手段としては、「自家用車」が52.8%と最も高く、半数以上となっている。次いで「自家用車（高速道路を利用）」が27.1%となっており、『自家用車』の利用率が8割を超えている。

年齢別にみると、いずれの年代も「自家用車」が最も多く、次いで「自家用車（高速道路を利用）」となっているが、「高速バス」の利用率は20歳代が15.5%と他の年代を上回っている。

図Ⅲ-9-4 県外への買い物出向時の移動手段



表Ⅲ-9-4 県外への買い物出向時の移動手段

(数値: %)

		サンプル数	自家用車	自家用車 (高速道路を利用)	JR	高速バス	その他	無回答
全体		1,262	52.8	27.1	10.7	8.3	0.3	0.8
年齢別	20歳代	239	49.8	20.9	13.4	15.5	0.4	-
	30歳代	319	47.0	37.9	7.8	6.6	0.3	0.3
	40歳代	280	54.3	28.6	11.1	5.7	-	0.4
	50歳代	258	60.1	22.1	10.1	6.2	-	1.6
	60歳代以上	164	53.7	20.7	12.8	9.1	1.2	2.4
職業別	会社員・公務員など	568	48.4	28.7	12.5	9.9	-	0.5
	パート・アルバイト	208	50.0	33.2	8.7	7.2	0.5	0.5
	自営業	275	61.1	22.9	8.7	6.2	0.4	0.7
	農林水産業 その他	17 160	88.2 53.8	11.8 23.8	- 11.3	- 8.8	- 1.3	- 1.3
買物出向先別	福岡市	817	39.8	33.5	13.3	12.5	0.1	0.7
	北九州市	148	68.2	17.6	13.5	-	0.7	-
	久留米市	96	79.2	18.8	2.1	-	-	-
	熊本市	91	89.0	6.6	2.2	1.1	-	1.1
	延岡市	51	88.2	7.8	2.0	-	-	2.0
	その他	47	68.1	25.5	2.1	-	4.3	-

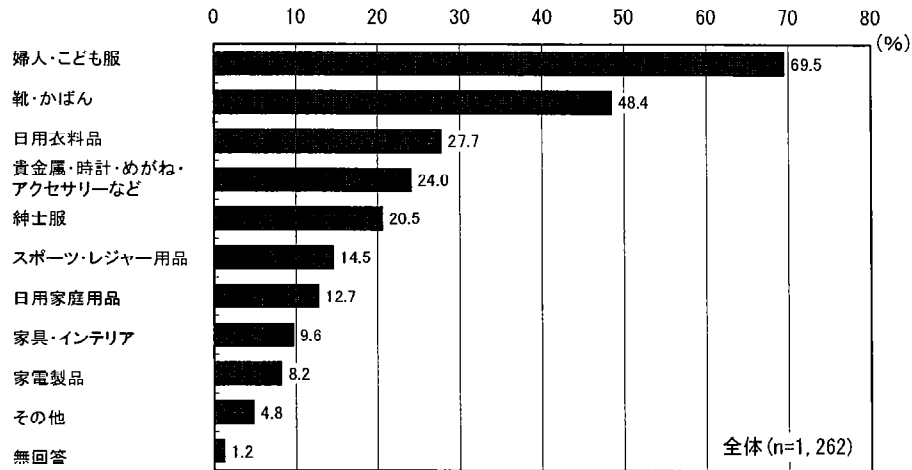
(注) **太字** は全体より5%以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)。

(5) 県外での購入商品

県外でよく買う商品についてみると、「婦人・子ども服」が69.5%と最も高く、次いで「靴・かばん」が48.4%、「日用衣料品」が27.7%、「貴金属・時計・めがね・アクセサリなど」が24.0%の順と高くなっており、服飾関連用品を県外で購入している。

次に年齢別にみると、20歳代で「貴金属・時計・めがね・アクセサリなど」が43.1%と他の年代を大きく上回っている。

図Ⅲ-9-5 県外での購入商品



表Ⅲ-9-5 県外での購入商品

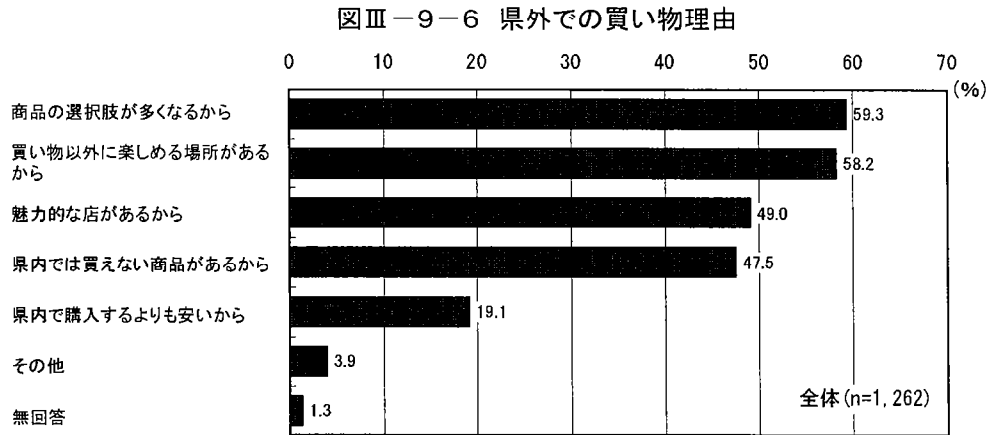
		サンプル数	婦人・子ども服	靴・かばん	日用衣料品	貴金属・時計・めがね・アクセサリなど	紳士服	スポーツ・レジャー用品	日用家庭用品	家具・インテリア	家電製品	その他	無回答
全体		1,262	69.5	48.4	27.7	24.0	20.5	14.5	12.7	9.6	8.2	4.8	1.2
年齢別	20歳代	239	70.7	63.6	33.5	43.1	12.6	8.4	7.1	7.5	2.9	2.9	-
	30歳代	319	77.1	46.7	26.3	25.4	22.3	17.6	9.4	10.7	8.8	6.3	0.3
	40歳代	280	73.9	45.4	22.5	17.9	23.6	23.2	11.1	8.2	6.8	5.4	1.4
	50歳代	258	64.0	42.6	23.6	15.5	22.1	9.7	18.2	11.2	9.7	5.4	2.3
	60歳代以上	164	54.9	43.3	36.6	17.7	21.3	10.4	21.3	10.4	15.2	3.0	2.4
職業別	会社員・公務員など	568	73.1	54.0	24.5	25.2	16.5	12.9	9.3	7.9	4.8	4.8	0.7
	パート・アルバイト	208	78.4	48.6	29.8	21.2	23.1	14.4	12.0	10.1	3.4	5.3	1.0
	自営業	275	59.3	44.0	29.1	27.6	29.5	20.0	18.5	14.5	18.9	3.6	2.5
	農林水産業	17	41.2	29.4	58.8	35.3	29.4	29.4	41.2	23.5	41.2	11.8	-
	その他	160	66.3	40.6	32.5	17.5	15.6	11.3	13.1	6.3	5.6	6.3	-
買物出向先別	福岡市	817	73.4	53.7	23.9	27.7	21.2	13.5	8.6	9.3	6.9	3.9	0.6
	北九州市	148	61.5	41.2	30.4	12.2	16.2	14.9	14.2	11.5	2.7	6.1	0.7
	久留米市	96	72.9	49.0	40.6	32.3	25.0	27.1	16.7	14.6	18.8	4.2	1.0
	熊本市	91	58.2	30.8	33.0	14.3	16.5	9.9	23.1	8.8	19.8	7.7	-
	延岡市	51	64.7	31.4	51.0	13.7	23.5	17.6	35.3	5.9	9.8	5.9	3.9
	その他	47	51.1	34.0	27.7	10.6	21.3	14.9	27.7	4.3	6.4	10.6	6.4

(注) **太字** は全体より5%以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)。

(6) 県外での買い物理由

県外に買い物に行く理由についてみると、「商品の選択肢が多くなるから」が59.3%、「買い物以外に楽しめる場所があるから」が58.2%といずれも6割弱と高く、次いで「魅力的な店があるから」が49.0%、「県内では買えない商品があるから」が47.5%となっている。

年齢別にみると、20歳代と30歳代では「商品の選択肢が多くなるから」が最も高く、40歳代以上では「買い物以外に楽しめる場所があるから」が最も高くなっている。



図Ⅲ-9-5 県外での買い物理由

(数値: %)

	サンプル数	商品の選択肢が多くなるから	買い物以外に楽しめる場所があるから	魅力的な店があるから	県内では買えない商品があるから	県内で購入するよりも安いから	その他	無回答	
全体	1,262	59.3	58.2	49.0	47.5	19.1	3.9	1.3	
年齢別	20歳代	239	67.8	56.9	58.2	60.7	13.4	2.9	-
	30歳代	319	63.3	58.3	54.5	53.6	19.1	4.1	0.3
	40歳代	280	58.2	61.1	43.9	44.6	17.9	5.0	0.4
	50歳代	258	55.4	58.9	44.2	36.0	21.7	3.1	2.3
	60歳代以上	164	47.0	53.7	41.5	39.0	25.6	4.3	4.9
職業別	会社員・公務員など	568	65.1	57.7	50.4	52.8	17.3	3.0	0.2
	パート・アルバイト	208	61.1	62.0	47.6	39.9	14.4	5.3	1.0
	自営業	275	50.9	57.8	48.4	45.5	26.5	3.6	3.6
	農林水産業	17	47.1	41.2	41.2	52.9	64.7	5.9	5.9
	その他	160	52.5	58.8	53.1	43.8	13.1	5.0	-
買物出向先別	福岡市	817	62.7	63.0	54.7	53.5	17.5	2.8	0.4
	北九州市	148	56.8	54.1	47.3	41.2	12.2	4.1	0.7
	久留米市	96	78.1	49.0	44.8	41.7	26.0	3.1	2.1
	熊本市	91	40.7	54.9	35.2	30.8	23.1	7.7	2.2
	延岡市	51	39.2	37.3	23.5	21.6	31.4	9.8	3.9
	その他	47	31.9	38.3	23.4	40.4	34.0	10.6	4.3

(注) **太字** は全体より5%以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)。

調 査 票

問1 このアンケートにお答えいただく方におたずねします。次の(1)~(4)の項目について該当する番号をひとつだけ○で囲んでください。

(1) あなたの年齢をお知らせください	1. 20歳代 2. 30歳代 3. 40歳代 4. 50歳代 6. 60歳代以上
(2) あなたのご家族はあなたを含めて何人ですか	1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人以上
(3) あなたは職業をお持ちですか	1. 会社員・公務員など 2. パート・アルバイト 3. 自営業 4. 農林水産業 5. その他()
(4) ふだんの買い物で利用している移動手段をお教えてください	1. 自家用車 2. 原付バイク・自転車 3. バス・タクシー 4. JR 5. 徒歩
(5) あなたがお住まいの地域の市町村合併前の市町村名をお教えてください	旧 市・町・村

問2 次の商品は、普段どこでお買いになりますか。別紙の「買物場所一覧表」から、商品別に主に買い物をする場所の番号を3つまで記入してください。

商 品	普段買い物する店・場所の番号		
①食料品(生鮮食品・菓子・飲料・調味料など)			
②日用雑貨品(食器・台所用品・洗濯用品・医薬品・化粧品など)			
③日用衣料品(下着・靴下・ふだん着など)			
④婦人服・子ども服・紳士服(日用衣料品を除きます)			
⑤靴・かばん・帽子・服飾品・おもちゃなど			
⑥家電製品・家具・インテリア・貴金属・時計・スポーツ用品など			
⑦贈答品(中元・歳暮・記念品など)			

問3 次の商品を購入するとき、どのような点を重視して店を選びますか。それぞれの商品について3つまで選んで番号に○をつけてください。

理由	豊富	商品の種類や量が	商品の品質が良い	の	特長(こだわり)	商品が揃っている	安全で安心できる	値段が安い	近くに	交通の便がよい	の	店主・店長や店員	なじみの店員がい	店が清潔である	ある	クレジットカードやポイントカードなど特典がある	電子マネーが使える	クレジットカードや	駐車場がある	れている	店の雰囲気が洗練さ	営業時間が長い
商品																						
生鮮食品 (野菜・果物・鮮魚・精肉など)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15							
日常生活品 (生鮮以外の食料品、日用雑貨)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15							
衣料品 (下着、靴下、ふだん着など)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15							

問4 あなたが主に買い物をする時間帯はいつ頃でしょうか。あてはまる番号に○をつけてください。

平日	1. 6時~9時	2. 9時~12時	3. 12時~15時	4. 15時~18時	5. 18時~21時	6. 21時以降
休日	1. 6時~9時	2. 9時~12時	3. 12時~15時	4. 15時~18時	5. 18時~21時	6. 21時以降

問5 深夜営業(22時以降も開店している店)や24時間営業の店を利用されていますか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. よく利用する	2. ときどき利用する	3. ほとんど利用しない	4. 利用したことがない
-----------	-------------	--------------	--------------

① 「1. よく利用する」、「2. ときどき利用する」と回答したかたにおたずねします。どのような店舗を利用されますか。もっとも利用する店舗の番号に○をつけてください。

1. コンビニエンスストア	2. スーパー	3. ディスカウントストア	5. ドラッグストア	4. その他()
---------------	---------	---------------	------------	-----------

問6 あなたがお住まいの地域での日常の買い物についておたずねします。

① 日常の買い物をする店は近く(徒歩、車などで10分以内)にありますか。

1. ある	2. ない
-------	-------

② ①で「2. ない」とお答えになった方におたずねします。日常の買い物はどうかさっていますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 商店やスーパーに頼んで配達してもらう	2. 移動販売車を利用している。	3. 宅配サービスを利用している
4. 配食サービスなど福祉サービスを利用している	5. 店のあるところまで車や公共交通機関で出かける	6. 銀行や役所、郵便局などに行ったついでにまとめがりする
7. 近所の人と車などに乗り合わせてでかける	8. 近所の人に頼んで買ってもらう	9. その他()

③ 次のうちどのようなサービスがあったら利用しようと思えますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 商品の宅配サービス(有料)	2. 移動販売車	3. 配食サービス
4. 市町村の中心部へ行くコミュニティバス	5. その他()	

(うらにつづきます)

問7 あなたがお住まいの市町村の中心部にある商店街や商業施設についておたずねします。

① 中心部にある商店街にどの程度お買い物に利用していますか。回数を教えてください。

1. 毎日 2. 週 回 3. 月 回 4. ほとんど利用しない 5. 利用しない

② 中心部にある大型商業施設(デパートやスーパー)をどの程度お買い物に利用していますか。回数を教えてください。

1. 毎日 2. 週 回 3. 月 回 4. ほとんど利用しない 5. 利用しない

③ ①、②で「4. ほとんど利用しない」「5. 利用しない」を選ばれた方におたずねします。選ばれた理由にもっとも近いものを次の番号に全て○をつけてください。

1. 商品の値段が高い	2. 品揃えがよくない	3. 駐車場・駐輪場が少ない
4. 魅力のある店舗がない	5. 商店のパラエティがすくない	6. 中心部に魅力がない
7. バスやJRの便がよくない	8. 郊外の大型店の方が便利である	9. その他()

④ 中心市街地にある商店街や大型商業施設を、もっと便利で買い物がしやすくするためには、どのようなことに取り組みばよいと思いますか。次の中から3つまで選んで番号の○印をつけてください。

1. バスやJRの本数や路線を増やす	2. 駐車場や駐輪場を完備する	3. 営業時間を延長する
4. 不足している業種を増やし店舗にバラエティをもたせる	5. 休憩する場所を設ける	6. 共同売り出しやイベントを活発にする。
7. 買物券、ポイントカードがある	8. 自動車の交通を規制し、歩きやすくする	9. 店舗を改装する
10. アーケードや街路灯をつける	11. 大型商業施設を誘致する	12. レジャー施設を誘致する

問8 通信販売やインターネットショッピングなどを利用された経験についておたずねします。次にあげた方法で商品を購入したことがありますか。利用したことがある方法すべての番号に○をつけてください。

1. テレビ・ラジオショッピング	2. カタログ販売	3. 新聞や雑誌などの広告販売	4. インターネットショッピング
5. セールスマンによる訪問販売	6. 生協や農協などの共同購入	7. 移動販売車	8. その他()
9. 利用したことはない			

① 利用したことがあると回答した方におたずねします。購入した商品はどのようなものでしょうか。あてはまる商品の番号にすべてに○をつけてください。

1. 食料品	2. 化粧品	3. 衣料品	4. 家具・寝具	5. 健康器具・美容器具	6. 家電製品	7. 書籍
8. CD・DVD	9. 贈答品	10. 台所用品・家庭用品	11. アクセサリー・装身具	12. その他()		

② 通信販売やカタログ販売などを利用された動機は何ですか。あてはまるものの番号すべてに○をつけてください。

1. 価格が安いから	2. 品質が良いから	3. 商品の種類は豊富だから	4. 注文が簡単だから
5. クレジットカードが利用できるから	6. 友人や知人に勧められたから	7. 近くの店では手にはいりづらいから	
8. 買い物に出かける手間が省けるから	9. 好きな時に買い物できるから	10. その他()	

問9 県外(九州内に限る)での買い物についておたずねします。

① この1年間に買い物を目的に県外(九州内に限る)にでかけたことがありますか。

1. ある 2. ない

② ①で「1. ある」と回答いただいた方におたずねします。買い物した場所はどこですか。もっとも訪れた回数の多いところの番号に○をつけてください。

1. 福岡市 2. 北九州市 3. 久留米市 4. 熊本市 5. 延岡市 6. その他()

③ お買い物の回数はどのくらいですか。番号に○をひとつつけてください。

1. 月に2~3回 2. 月に1回 3. 2~3か月に1回 4. 年に4~5回 5. 年に2~3回 6. 年に1回

④ 買い物でもっともよく利用する移動手段は何ですか。番号に○をひとつつけてください。

1. 自家用車 2. 自家用車(高速道路を利用) 3. JR 4. 高速バス 5. その他()

⑤ 県外ではいつもどのような商品を買われますか。よく買っている商品の番号にすべてに○をつけてください。

1. 日用家庭用品	2. 日用衣料品	3. 紳士服	4. 婦人・子供服	5. 靴・かばん	6. 家具・インテリア
7. 家電製品	8. スポーツ・レジャー用品	9. 貴金属・時計・めがね・アクセサリーなど	10. その他()		

⑥ 県外に買い物に行かれた理由をおたずねします。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 県内では買えない商品があるから	2. 商品の選択肢が多くなるから	3. 魅力的な店があるから
4. 県内で購入するよりも安いから	5. 買い物以外に楽しめる場所があるから	6. その他()

ご協力ありがとうございました。

平成 19 年度大分県中心市街地等消費者動向調査報告書

平成 20 年 3 月発行

編 集 ・ 発 行 者 大分県商工労働部商業・サービス業振興課
〒870-8501

大分市大手町 3-1-1

T E L 097-506-3285 (直通)

集 計 委 託 先 (株)西日本リサーチ・センター
〒810-0021

福岡市中央区今泉 1-4-1

T E L 092-751-7968